

2013～2014 年

ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区

第2回 キャビネット会議

議 案 書



2013 年 11 月 16 日 (土)

常任名誉顧問・RC・ZC 会議	13 : 30～15 : 00
委員長 会議	15 : 15～16 : 15
各委員会	16 : 30～17 : 30
懇親会・慰労会	17 : 45～19 : 15

2013 年 11 月 17 日 (日)

キャビネット会議	9 : 00～11 : 30
----------	----------------

場 所 : 東京第一ホテル下関

〒750-0007 山口県下関市赤間町 6-2

TEL (083) 223-7111 FAX (083) 233-1133

ライオンズクラブ国際協会

336-D 地区 キャビネット事務局

〒690-0886 島根県松江市母衣町 83-5 母衣町ビル 3F

TEL (0852) 60-1727 FAX (0852) 28-1077

E-mail : d336-matsue@lime.ocn.ne.jp

総合目次

各会議出席者名簿	1~3
----------	-----

第1回地区常任名誉顧問・RC・ZC会議

・第1回地区常任名誉顧問・RC・ZC会議次第	4
・第1回地区常任名誉顧問・RC・ZC会議席次表	5

第2回委員長会議

・第2回委員長会議次第	6
・第2回委員長会議席次表	7

各委員会

第2回PR・情報委員会議

・第2回PR・情報委員会議次第	8
・第2回PR・情報委員会議席次表	9

第2回GMT・GLT委員会議

・第2回GMT・GLT委員会議次第	10
・第2回GMT・GLT委員会議席次表	11

第2回国際関係・LCIF委員会議

・第2回国際関係・LCIF委員会議次第	12
・第2回国際関係・LCIF委員会議席次表	13

第2回YCE委員会議

・第2回YCE委員会議次第	14
・第2回YCE委員会議席次表	15

第2回保健福祉環境保全委員会議

・第2回保健福祉環境保全委員会議次第	16
・第2回保健福祉環境保全委員会議席次表	17

第2回青少年健全育成委員会議

・第2回青少年健全育成委員会議次第	18
・第2回青少年健全育成委員会議席次表	19

懇親会・祝賀会

・懇親会・祝賀会次第	20
・懇親会・祝賀会席次表	21

第2回キャビネット会議

・第2回キャビネット会議次第	22
・物故会員・献眼者ご芳名	23
・第2回キャビネット会議席次表	24

- ・ (報告 1 号) 336 複合地区 第 1 回臨時ガバナー協議会要録
- 336 複合地区 第 2 回臨時ガバナー協議会要録
- 336 複合地区 第 3 回臨時ガバナー協議会要録
- 336 複合地区 第 4 回臨時ガバナー協議会要録
- 第 1 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録
- 第 2 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録
- 第 3 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録
- 336 複合地区 LCIF コーディネーター会議要録
- 336 複合地区 第 1 回ガバナー協議会協議事項
- 336 複合地区 第 1 回ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議協議事項
- 336 複合地区 第 2 回ガバナー協議会協議事項
- 336 複合地区 第 2 回ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議協議事項
- 第 1 回複合地区国際大会委員長連絡会議要録
- 第 2 回複合地区国際大会委員長連絡会議要録
- 複合地区国際大会委員長連絡会議【小委員会】要録
- 第 1 回複合地区 Y C E 委員長連絡会議要録
- 第 1 回八複合地区 MD / GMT コーディネーター会議議事録
- 第 1 回複合地区会則委員長連絡会議要録
- 336 複合地区緊急援助資金委員会要録 (20130829)
- 336 複合地区緊急援助資金委員会要録 (20130918)
- 第 1 回 336 複合地区 GMT コーディネーター・ GMT 委員長合同会議要録
- 第 1 回 336 複合地区会則・運営マニュアル編集委員会
- 第 1 回 336 複合地区 G L T 合同会議要録
- 336 複合地区内 第 1 回環境保全・保健福祉委員長連絡会議要録
- 336 複合地区内 第 1 回 Y C E 委員長連絡会議要録
- 336 複合地区内 第 1 回 P R ・ライオンズ情報・ I T 委員長連絡会議

- ・ (報告 2 号) 2013～2014 年度 地区ガバナー公式訪問開催状況報告 118
- ・ (報告 3 号) クラブ別会員増減状況 119
- ・ (報告 4 号) クラブ別 LCIF / MJF 合計拠出 120
- ・ (報告 5 号) クラブ別献血者数 121
- ・ (報告 6 号) クラブ別献眼登録者数 122
- ・ (報告 7 号) ガバナー諮問委員会 開催状況(第 1 回ガバナー諮問委員会開催状況一覧) 123
- ・ (報告 8 号) 各委員会研修会等開催状況 124
- ・ (報告 9 号) 地区ガバナー及び副地区ガバナー立候補予定者届出規則 125～134
- ・ (報告 10 号) 7/28 8/24 豪雨災害の対応について 135
- ・ (報告 11 号) 第 23 回世界スカウトジャンボリーへの協賛について 136
- ・ (報告 12 号) 事務の専属化・事務局固定化について 137

協議提案事項 138

- ・ (提案 1 号) 山田国際第二副会長提案の会員倍増計画について 139～149
- ・ (提案 2 号) 336-D 地区緊急援助資金補填について 150
- ・ (提案 3 号) 336-D 地区費値上げについて 151
- ・ (提案 4 号) 第 60 回地区年次大会代議員分科会 3 分科会について 152
- ・ (提案 5 号) 第 60 回年次大会プログラム(案) 153
- ・ (提案 6 号) 第 60 回地区年次大会議事規則(案) 154, 155
- ・ (提案 7 号) 第 60 回地区年次大会での指名・選挙委員会について 156, 157
- ・ (提案 8 号) 第 60 回地区年次大会代議員会役員構成表 158
- ・ (提案 9 号) 第 60 回地区年次大会代議員会提出議案について 159

第2回キャビネット会議 出席者名簿

☆地区名誉顧問

氏名	役職	所属クラブ	常任名誉顧問 RC・ZC会議	委員長会議	各委員会	懇親会	キャビネット 会議	宿泊
谷野 徹	元国際理事	下関西	×	×	×	×	×	—
永井 義夫	336複合地区ガバナー協議会 元議長 地区名誉顧問	浜田亀山	×	×	×	○	○	禁
岡村 聖爾	地区名誉顧問会議長	下関北	○	○	○	○	○	—
大羽 義定	地区常任顧問	益田 あけぼの	○	○	○	○	○	禁
光貞 正明	地区常任顧問	岩国錦	×	×	×	×	×	—
組嶽 晶一	地区常任顧問	東出雲	○	○	○	○	○	禁
倉益 芳太	地区名誉顧問	山口	×	×	×	○	×	禁
村上 昭治	地区名誉顧問	山陽	×	×	×	○	×	—
山根 健	地区名誉顧問	防府 ゴールデン	×	×	×	○	○	禁
山下 薫	地区名誉顧問	山口	×	×	×	○	×	禁
前村 隆規	地区名誉顧問	宇部ときわ	×	×	×	○	○	禁
岩田 篤明	地区名誉顧問	松江葵	○	×	×	○	○	禁
浜村 悟郎	地区名誉顧問	岩国錦	×	×	×	×	×	—
加藤 哲夫	地区名誉顧問	出雲中央	×	×	×	×	×	—
緒方 正道	地区名誉顧問	宇部新川	×	×	×	×	×	—
向 正美	地区名誉顧問	浜田	×	×	×	×	×	—

16

☆キャビネット

氏名	役職	所属クラブ	常任名誉顧問 RC・ZC会議	委員長会議	各委員会	懇親会	キャビネット 会議	宿泊
坂根 勝	地区ガバナー	松江	○	○	○	○	○	禁
竹下 雅雄	第一副地区ガバナー	萩	○	○	○	○	○	禁
矢野 敏明	第二副地区ガバナー	松江葵	○	○	○	○	○	喫
大野 美雄	キャビネット幹事	松江	○	○	○	○	○	禁
野口 泰男	キャビネット会計	松江	○	○	○	○	○	禁
齊藤 幸男	キャビネット副幹事	萩	○	○	○	○	○	喫
山崎 敏弘	キャビネット副幹事	松江	×	○	○	○	○	禁
古志野 功	キャビネット副幹事	松江	×	○	○	○	○	禁
渡辺 学	キャビネット副幹事	松江	×	○	○	○	○	禁
日野 修一	キャビネット副幹事	松江葵	×	○	○	○	○	喫
足立 守	キャビネット副幹事	松江	×	○	○	○	○	喫
山根 健晃	キャビネット副幹事	松江湖城	×	○	○	○	○	禁
坪内 浩一	キャビネット副幹事	松江	×	○	○	×	×	—
岡田 浩史	キャビネット副幹事	松江	×	×	×	×	×	—
藤原 茂紀	地区年次大会委員長	松江	×	○	○	○	○	禁

15

☆リジョンチェアパーソン

氏名	役職	所属クラブ	常任名譽顧問 RC・ZC会議	委員長会議	各委員会	懇親会	キャビネット 会議	宿泊
原田 瑞樹	1Rリジョンチェアパーソン	松江	×	×	×	×	×	—
西村 正敏	2Rリジョンチェアパーソン	出雲	○	○	○	○	○	禁
喜多村 博明	3Rリジョンチェアパーソン	浜田亀山	○	○	○	○	○	禁
安永 一充	4Rリジョンチェアパーソン	岩国桜	○	○	○	○	○	禁
武内 節夫	5Rリジョンチェアパーソン	下松	○	○	○	○	○	禁
鷺見 國嗣	6Rリジョンチェアパーソン	宇部新川	○	○	○	○	○	禁
澤 辰水	7Rリジョンチェアパーソン	下関	○	○	○	○	○	—

7

☆ゾーンチェアパーソン

氏名	役職	所属クラブ	常任名譽顧問 RC・ZC会議	委員長会議	各委員会	懇親会	キャビネット 会議	宿泊
川上 博之	1R1Zゾーンチェアパーソン	安来十神	○	○	○	○	○	喫
森山 浩吉	1R2Zゾーンチェアパーソン	松江湖城	○	○	○	○	○	禁
内藤 和雄	2R1Zゾーンチェアパーソン	出雲	○	○	○	○	○	禁
高橋 義孝	2R2Zゾーンチェアパーソン	斐川	○	○	○	○	○	禁
赤穴 憲一	2R3Zゾーンチェアパーソン	赤来	○	○	○	○	○	喫
上原 謙二	3R1Zゾーンチェアパーソン	邑智大和	○	○	○	○	○	禁
堀江 成	3R2Zゾーンチェアパーソン	江津	○	○	○	×	○	—
吉村 尊雄	4R1Zゾーンチェアパーソン	由宇	○	○	○	○	○	禁
石川 春美	4R3Zゾーンチェアパーソン	大島 オレンジ	○	○	○	○	○	禁
寺岡 泰成	5R1Zゾーンチェアパーソン	周南	○	○	○	○	○	禁
平井 一正	5R3Zゾーンチェアパーソン	防府 ゴールデン	○	○	○	○	○	禁
志賀 八郎	5R4Zゾーンチェアパーソン	山口	○	○	○	○	○	禁
石原 哲男	6R1Zゾーンチェアパーソン	宇部	○	○	○	○	○	喫
村口 達美	6R2Zゾーンチェアパーソン	山陽	○	○	○	○	○	—
城一 芳文	6R3Zゾーンチェアパーソン	田万川	○	○	○	○	○	禁
古谷 好敏	7R1Zゾーンチェアパーソン	下関響灘	○	○	○	○	○	—
穴見 春美	7R2Zゾーンチェアパーソン	下関中央	○	○	○	○	○	—

17

☆地区委員長

氏名	役職	所属クラブ	常任名譽顧問 RC・ZC会議	委員長会議	各委員会	懇親会	キャビネット 会議	宿泊
小田 隆弘	PR・情報委員長	宍道	×	○	○	○	○	禁
北川 恵三	1～3RGMT委員長	松江湖城	×	○	○	○	○	禁
松浦 正人	4～7RGMT委員長	防府	×	○	○	○	×	禁
平原 正軍	GLT委員長 (兼GLTコーディネーター)	下関西	×	○	○	○	○	—
平岡 泰彦	国際関係委員長	下関北	×	○	○	○	○	—
野々村 一巳	YCE委員長	大東	×	○	○	○	○	禁
月森 和弘	保健福祉環境 保全委員長	大田	×	○	○	○	○	禁
牛尾 尚義	青少年健全育成委員長	出雲南	×	○	○	○	○	喫

8

☆地区委員

氏名	役職	所属クラブ	常任名答顧問 RC・ZC会議	委員長会議	各委員会	懇親会	キャビネット 会議	宿泊
もりやま 茂 森山 茂	2R担当GMT・GLT委員	出雲中央	×	×	○	○	○	喫
てらい よしのり 寺井 良徳	3R担当GMT・GLT委員	益田	×	×	×	×	×	—
かわはら のぶお 河原 得雄	4R担当GMT・GLT委員	由宇	×	×	○	○	○	禁
よしの はじめ 吉野 一	6R担当GMT・GLT委員	美祢	×	×	○	○	○	喫
あさだ やすひこ 浅田 保彦	7R担当GMT委員 (兼GMTコーディネーター)	下関中央	×	×	○	○	○	—
よど はじめ 淀 祥	1～3R担当 国際関係委員	隠岐海士	×	×	×	×	×	—
あきた たけし 秋田 千鶴	1～3R担当国際関係委員 (兼LCIFコーディネーター)	益田 あけぼの	×	×	×	×	×	—
かねもと まさひろ 金本 雅裕	2R担当YCE委員	出雲	×	×	○	○	○	禁
しみず まさふみ 清水 優文	3R担当YCE委員	石見	×	×	×	×	×	禁
もりかみ のりまさ 森上 憲政	4R担当YCE委員	岩国錦	×	×	○	○	○	禁
みよし のぼる 三好 昇	5R担当YCE委員	山口西京	×	×	○	○	○	喫
なかしま しげる 中島 繁	6R担当YCE委員	宇部 かたばみ	×	×	○	○	○	禁
にしむら ぶんじょう 西村 文成	7R担当YCE委員	菊川	×	×	×	×	×	—
あむら なるゆき 余村 尚之	1R担当 保健福祉環境保全委員	鹿島島根	×	×	○	○	○	喫
かわすみ くにいき 川角 邦生	2R担当 保健福祉環境保全委員	仁多	×	×	×	×	×	—
ましの かずお 増野 一男	4R担当 保健福祉環境保全委員	田布施	×	×	○	○	○	禁
まるもと ひでし 丸本 秀司	5R担当 保健福祉環境保全委員	下松中央	×	×	○	○	○	禁
いけなが ゆきお 池永 幸雄	6R担当 保健福祉環境保全委員	長門	×	×	○	○	○	禁
ながまち ゆうぞう 長町 雄造	7R担当 保健福祉環境保全委員	下関維新	×	×	○	×	×	—
たきもと りつあき 滝本 律明	4～7R担当 青少年健全育成委員	柳井	×	×	○	○	×	禁

20

☆地区会計監査委員

氏名	役職	所属クラブ	常任名答顧問 RC・ZC会議	委員長会議	各委員会	懇親会	キャビネット 会議	宿泊
あげやま けいいち 上ヶ山 慶市	地区会計監査委員	益田 あけぼの	×	×	×	○	○	禁
かねみつ あきら 兼光 暘	地区会計監査委員	由宇	×	×	×	×	×	—

2

☆オブザーバー

氏名	役職	所属クラブ	常任名答顧問 RC・ZC会議	委員長会議	各委員会	懇親会	キャビネット 会議	宿泊
たなか ひさし 田中 寿	2012～13キャビネット会計	下関北	×	×	×	○	×	—
たから よしまさ 俵 美将	6R1Zゾーン幹事	宇部	○	○	○	○	○	禁
おがた なおこ 小方 尚子	6R2Zゾーン事務局員	山陽	×	×	×	○	×	—
やまなか ひろと 山中 弘人	6R2Zゾーン幹事	山陽	○	○	○	○	○	—
ひろはた まさひろ 廣畑 雅弘		萩	×	×	×	×	○	—
みやもと なおはる 宮本 直治		萩	×	×	×	×	○	—
みよし かずとし 三好 一敏		萩	×	×	×	×	○	—
出席人数合計			35	50	64	71	68	60

第2回 地区常任名誉顧問・RC・ZC会議 次第

日時： 2013年11月16日（土）

13：30～15：00

場所： 東京第一ホテル下関 於 桜Aの間

- | | 【 司 会 】 | キャビネット幹事 | 大野 美雄 |
|--------------------------|---------|-----------|-------|
| 1. 開会のことば | | キャビネット幹事 | 大野 美雄 |
| 2. 出席者確認 | | キャビネット幹事 | 大野 美雄 |
| 3. あいさつ | | 地区ガバナー | 坂根 勝 |
| 4. 議 事 | | 地区名誉顧問会議長 | 岡村 聖爾 |
| ① 第2回キャビネット会議について | | | |
| 1) 日程 | | | |
| 2) 議事 | | | |
| ② 山田国際第二副会長提案の会員倍増計画について | | | |
| ③ 事務の専属化・事務局の固定化について | | | |
| ④ 336-D 地区緊急援助資金補填について | | | |
| ⑤ 年次大会分科会について | | | |
| 他 キャビネット会議協議提案事項について | | | |
| 5. 閉会のことば | | キャビネット幹事 | 大野 美雄 |

第 2 回 地区常任名誉顧問・R C・Z C 会議 席次表

(桜 A の間)

地区名誉顧問	地区常任名誉顧問	第一副地区ガバナー	地区名誉顧問会議長	地区ガバナー	第二副地区ガバナー	地区常任名誉顧問	キャビネット幹事	キャビネット会計
岩田 篤明	組 嶽 晶一	竹下 雅雄	岡村 聖爾	坂根 勝	矢野 敏明	大羽 義定	大野 美雄	野口 泰男

3R R・C 喜多村博明

5R R・C 武内 節夫

7R R・C 澤 辰水

2R1Z Z・C 内藤 和雄

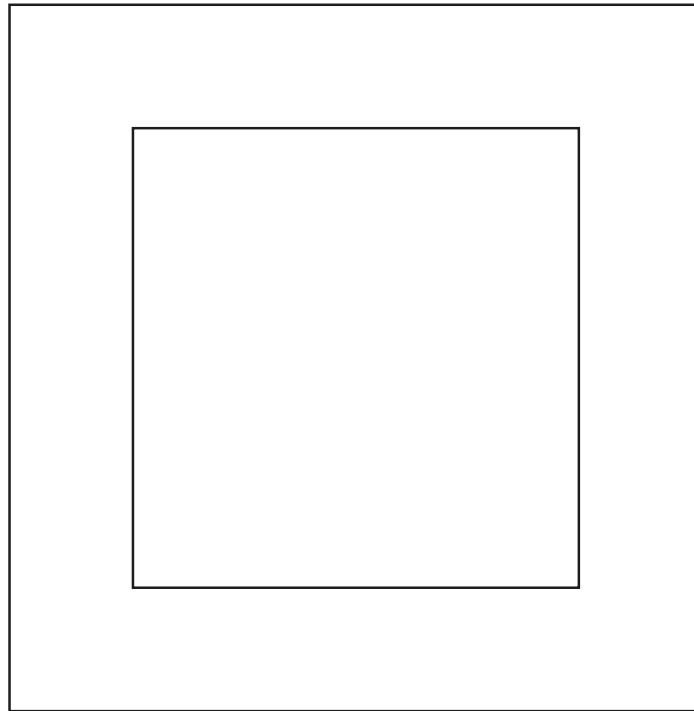
2R2Z Z・C 高橋 義孝

2R3Z Z・C 赤穴 憲一

4R1Z Z・C 吉村 尊雄

4R3Z Z・C 石川 春美

6R1Z Z・C 石原 哲男



2R R・C 西村 正敏

4R R・C 安永 一充

6R R・C 鷺見 國嗣

1R1Z Z・C 川上 博之

1R2Z Z・C 森山 浩吉

3R1Z Z・C 上原 謙二

3R2Z Z・C 堀江 成

5R1Z Z・C 寺岡 泰成

5R3Z Z・C 平井 一正

5R4Z Z・C 志賀 八郎

6R2Z Z・C	6R1Z Z・C	キャビネット副幹事	7R2Z Z・C	7R1Z Z・C	6R3Z Z・C	6R2Z Z・C
山中 弘人	俵 美将	齊藤 幸男	穴見 春美	古谷 好敏	城一 芳文	村口 達美

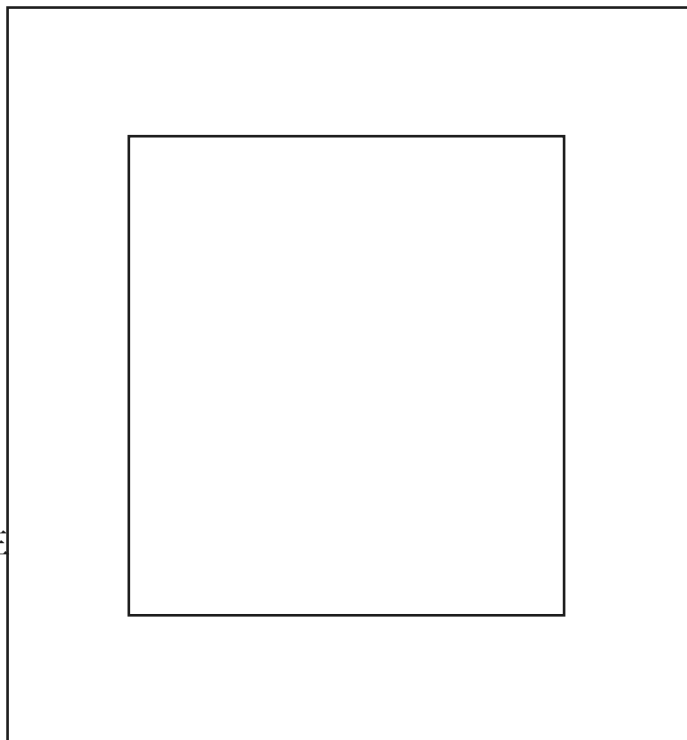
入口

第2回 委員長会議 席次表

(桜Aの間)

3 R R・C	喜多村博明
2 R R・C	西村正敏
地区常任名誉顧問	組嶽晶一
地区常任名誉顧問	大羽義定
第一副地区ガバナー	竹下雅雄
地区名誉顧問会議長	岡村聖爾
地区ガバナー	坂根勝
第二副地区ガバナー	矢野敏明
キャビネット幹事	大野美雄
キャビネット幹事	野口泰男
キャビネット会計	安永一充
4 R R・C	武内節夫
5 R R・C	

1R1Z Z・C 川上 博之
 1R2Z Z・C 森山 浩吉
 3R1Z Z・C 上原 謙二
 3R2Z Z・C 堀江 成
 5 R 1 Z Z・C 寺岡 泰成
 5 R 3 Z Z・C 平井 一正
 5 R 4 Z Z・C 志賀 八郎
 7R1Z Z・C 古谷 好敏
 7R2Z Z・C 穴見 春美
 1~3R GMT委員長 北川 恵三
 GLT委員長 平原 正軍
 YCE委員長 野々村一巳
 保健福祉環境保全委員長 月森 和弘



6R R・C 鷺見 國嗣
 7R R・C 澤 辰水
 2R1Z Z・C 内藤 和雄
 2R2Z Z・C 高橋 義孝
 2R3Z Z・C 赤穴 憲一
 4R1Z Z・C 吉村 尊雄
 4R3Z Z・C 石川 春美
 6R1Z Z・C 石原 哲男
 6R2Z Z・C 村口 達美
 6R3Z Z・C 城一 芳文
 PR・情報委員長 小田 隆弘
 4~7R GMT委員長 松浦 正人
 国際関係委員長 平岡 泰彦

青少年健全育成委員長	牛尾 尚義
キャビネット副幹事	齊藤 幸男
キャビネット副幹事	山崎 敏弘
キャビネット副幹事	古志 野功
キャビネット副幹事	渡辺 学
キャビネット副幹事	日野 修一
キャビネット副幹事	足立 守
キャビネット副幹事	山根 健晃
キャビネット副幹事	坪内 浩一
年次大会委員長	藤原 茂紀
6 R 1 Z ゾーン幹事	俵 美将
6 R 2 Z ゾーン幹事	山中 弘人

第2回 PR・情報委員会 次第

日時： 2013年11月16日（土）

16：30～17：30

場所： 東京第一ホテル下関 於 満珠の間

【 司 会 】 渡辺 学

- | | | |
|----------------|----------|-------|
| 1. 開会のことば | | 渡辺 学 |
| 2. 出席者確認 | | 渡辺 学 |
| 3. 挨拶 | PR・情報委員長 | 小田 隆弘 |
| 4. 議 事 | PR・情報委員長 | 小田 隆弘 |
| ①委員会活動報告・今後の活動 | | |
| ②質疑応答 | | |
| ③その他 | | |
| 5. 閉会のことば | | 渡辺 学 |

第2回 PR・情報委員会 席次表

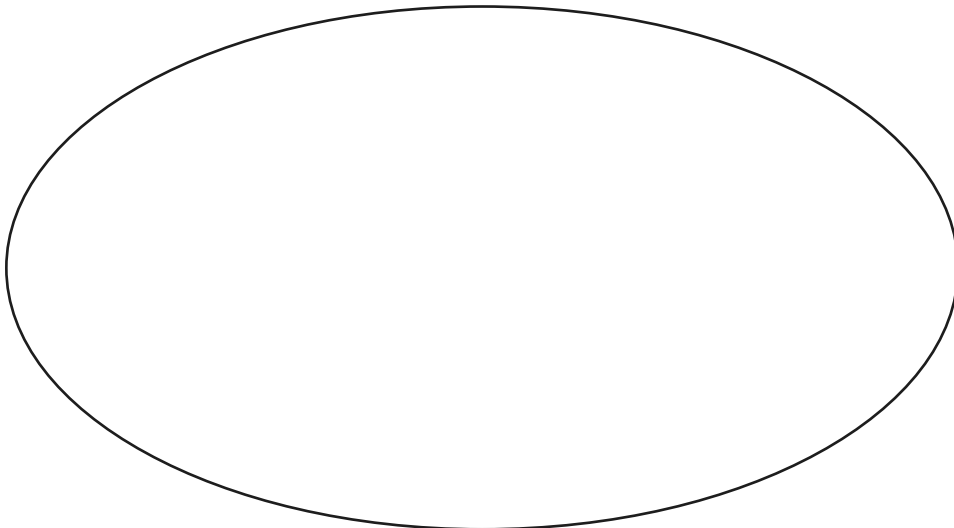
(満珠の間)

年次大会委員長

藤原 茂紀

PR・情報委員長

小田 隆弘



6 R 1 Zゾーン幹事

俵 美将

キャビネット副幹事

渡辺 学

第2回 GMT・GLT委員会 次第

日時： 2013年11月16日（土）

16：30～17：30

場所： 東京第一ホテル下関 於 ふじの間

【 司 会 】 山崎 敏弘

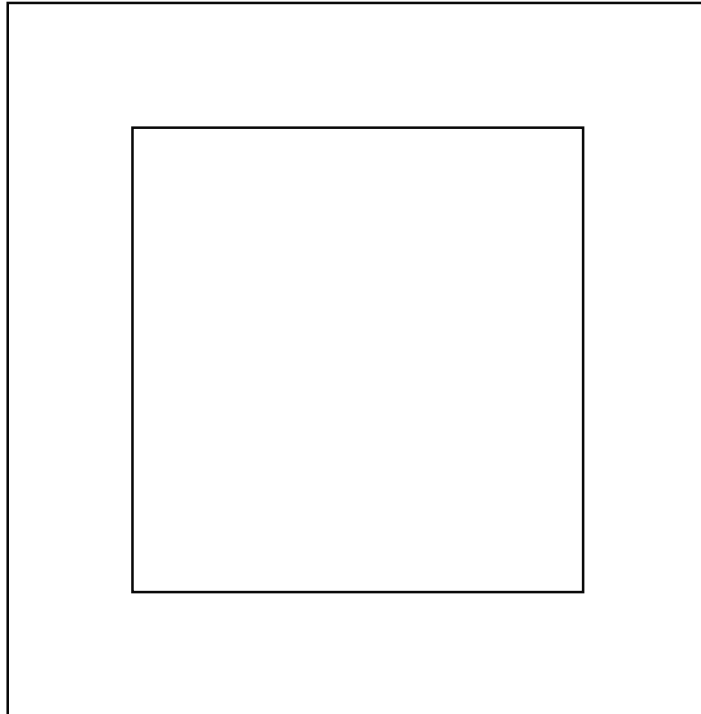
- | | | |
|-----------|----------------|-------|
| 1. 開会のことば | | 山崎 敏弘 |
| 2. 出席者確認 | | 古志野 功 |
| 3. 挨拶 | 地区名誉顧問会議長 | 岡村 聖爾 |
| | GMT 担当委員長 1～3R | 北川 恵三 |
| | GMT 担当委員長 4～7R | 松浦 正人 |
| | GLT 担当委員長 | 平原 正軍 |
| 4. 議 事 | GMT 担当委員長 4～7R | 松浦 正人 |
| | ①委員会活動報告・今後の活動 | |
| | ②質疑応答 | |
| | ③その他 | |
| 5. 閉会のことば | | 山崎 敏弘 |

第2回 GMT・GLT 委員会議 席次表

(ふじの間)

	(兼GLTコーディネーター) GLT委員長	第二副地区ガバナー	第一副地区ガバナー	地区名誉顧問会議長	地区ガバナー	4～7R GMT委員長	1～3R GMT委員長	キャビネット幹事
	平原 正軍	矢野 敏明	竹下 雅雄	岡村 聖爾	坂根 勝	松浦 正人	北川 恵三	大野 美雄

2R R・C 西村 正敏
 4R R・C 安永 一充
 6R R・C 鷺見 國嗣
 1R1Z Z・C 川上 博之
 1R2Z Z・C 森山 浩吉
 3R1Z Z・C 上原 謙二
 3R2Z Z・C 堀江 成
 5R1Z Z・C 寺岡 泰成
 5R3Z Z・C 平井 一正
 5R4Z Z・C 志賀 八郎



3R R・C 喜多村 博明
 5R R・C 武内 節夫
 7R R・C 澤 辰水
 2R1Z Z・C 内藤 和雄
 2R2Z Z・C 高橋 義孝
 2R3Z Z・C 赤穴 憲一
 4R1Z Z・C 吉村 尊雄
 4R3Z Z・C 石川 春美
 6R1Z Z・C 石原 哲男
 6R2Z Z・C 村口 達美

	(兼GMTコーディネーター) 7R担当GMT委員	2R担当GMT・GLT委員	4R担当GMT・GLT委員	6R担当GMT・GLT委員	7R2Z Z・C	7R1Z Z・C	6R3Z Z・C
	浅田 保彦	森山 茂	河原 得雄	吉野 一	穴見 春美	古谷 好敏	城一 芳文
	齊藤 幸男	山崎 敏弘	古志野 功	キャビネット副幹事	キャビネット副幹事	キャビネット副幹事	

第2回 国際関係・LCIF委員会 次第

日時： 2013年11月16日（土）

16：30～17：30

場所： 東京第一ホテル下関 於 銀扇の間

【 司 会 】 日野 修一

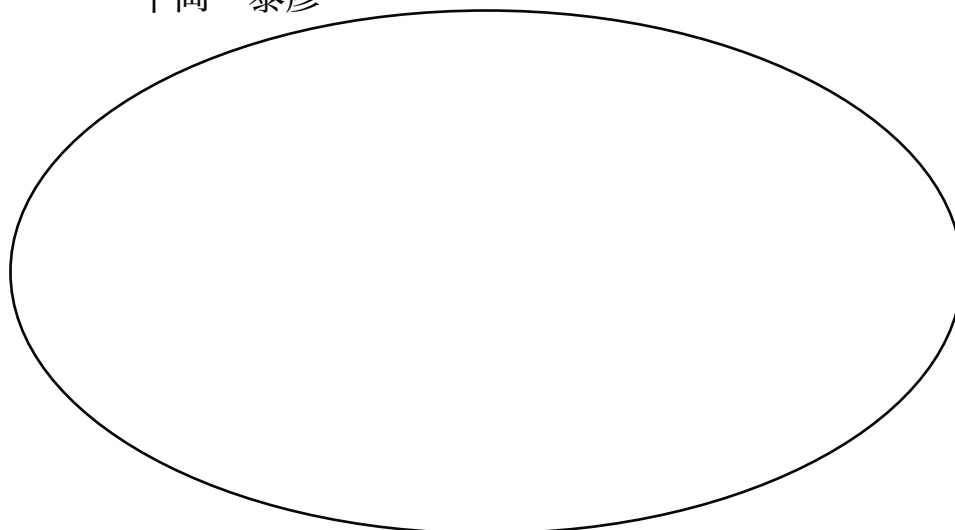
- | | |
|----------------|--------------------------------------|
| 1. 開会のことば | 日野 修一 |
| 2. 出席者確認 | 日野 修一 |
| 3. 挨拶 | 地区常任名誉顧問 大羽 義定
国際関係・LCIF委員長 平岡 泰彦 |
| 4. 議 事 | 国際関係・LCIF委員長 平岡 泰彦 |
| ①委員会活動報告・今後の活動 | |
| ②質疑応答 | |
| ③その他 | |
| 5. 閉会のことば | 日野 修一 |

第2回 国際関係・LCIF 委員会議 席次表

(銀扇の間)

国際関係委員長
(4～7R 委員兼務)
平岡 泰彦

地区常任名誉顧問
大羽 義定



6 R 2 Z ゾーン幹事
山中 弘人

キャビネット副幹事
日野 修一

第2回 YCE委員会 次第

日時： 2013年11月16日（土）

16：30～17：30

場所： 東京第一ホテル下関 於 寿の間

【 司 会 】 足立 守

- | | | |
|----------------|--------|-------|
| 1. 開会のことば | | 足立 守 |
| 2. 出席者確認 | | 足立 守 |
| 3. 挨拶 | YCE委員長 | 野々村一巳 |
| 4. 議 事 | YCE委員長 | 野々村一巳 |
| ①委員会活動報告・今後の活動 | | |
| ②質疑応答 | | |
| ③その他 | | |
| 5. 閉会のことば | | 足立 守 |

第2回 YCE 委員会議 席次表

(寿の間)

YCE 委員長
(1R 委員兼務)
野々村一巳

4RYCE 委員
森上 憲政

6RYCE 委員
中島 繁

キャビネット副幹事
足立 守

2RYCE 委員
金本 雅裕

5RYCE 委員
三好 昇

第2回 保健福祉環境保全委員会 次第

日時： 2013年11月16日（土）

16：30～17：30

場所： 東京第一ホテル下関 於 源平の間

【 司 会 】 山根 健晃

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 開会のことば | 山根 健晃 |
| 2. 出席者確認 | 山根 健晃 |
| 3. 挨拶 | 保健福祉環境保全委員長 月森 和弘 |
| 4. 議 事 | 保健福祉環境保全委員長 月森 和弘 |
| ①委員会活動報告・今後の活動 | |
| ②質疑応答 | |
| ③その他 | |
| 5. 閉会のことば | 山根 健晃 |

第2回 保健福祉環境保全委員会議 席次表

(源平の間)

保健福祉環境保全委員長

(3R 委員兼務)

月森 和弘

1R

保健福祉環境保全委員

余村 尚之

5R

保健福祉環境保全委員

丸本 秀司

7R

保健福祉環境保全委員

長町 雄造

4R

保健福祉環境保全委員

増野 一男

6R

保健福祉環境保全委員

池永 幸雄

キャビネット副幹事

山根 健晃

第2回 青少年健全育成委員会 次第

日時： 2013年11月16日(土)

16:30～17:30

場所： 東京第一ホテル下関 於 金扇

【 司 会 】 坪内 浩一

- | | | |
|----------------|------------|-------|
| 1. 開会のことば | | 坪内 浩一 |
| 2. 出席者確認 | | 坪内 浩一 |
| 3. 挨拶 | 地区常任名誉顧問 | 組嶽 晶一 |
| | 青少年健全育成委員長 | 牛尾 尚義 |
| 4. 議 事 | 青少年健全育成委員長 | 牛尾 尚義 |
| ①委員会活動報告・今後の活動 | | |
| ②質疑応答 | | |
| ③その他 | | |
| 5. 閉会のことば | | 坪内 浩一 |

第2回 青少年健全育成委員会議 席次表

(金扇)

青少年健全育成委員長 常任名誉顧問
牛尾 尚義 組嶽 晶一

青少年健全育成委員
4～7R
滝本 律明

キャビネット会計
野口 泰男

キャビネット副幹事
坪内 浩一

懇親会・祝賀会

日時： 2013年11月16日（土）

17：45～19：15

場所： 東京第一ホテル下関 於 桜の間

【 司 会 】 キャビネット幹事 大野 美雄

- | | | |
|-------------|-------------------|-------|
| 1. 開宴のあいさつ | 地区ガバナー | 坂根 勝 |
| 2. お祝のことば | 地区常任名誉顧問 | 大羽 義定 |
| 3. 記念品贈呈 | 地区ガバナー | 坂根 勝 |
| 前地区ガバナー | 岡村 聖爾 様 | |
| 4. お礼のことば | 前地区ガバナー | 岡村 聖爾 |
| 5. 祝電披露 | キャビネット副幹事 | 齊藤 幸男 |
| 6. 乾 杯 | 336複合地区ガバナー協議会元議長 | 永井 義夫 |
| 7. ライオンズローア | 地区常任名誉顧問 | 組嶽 晶一 |
| 8. 閉宴のあいさつ | キャビネット会計 | 野口 泰男 |

懇親会・祝賀会 席次表

(桜の間)

岡村 聖爾 永井 義夫

坂根 勝 大羽 義定

組嶽 晶一 竹下 雅雄

西村 正敏 喜多村 博明

安永 一充 武内 節夫

鷺見 國嗣 澤 辰水

上ヶ山 慶市 藤原 茂紀

矢野 敏明 倉益 芳太

川上 博之 森山 浩吉

内藤 和雄 高橋 義孝

赤穴 憲一 上原 謙二

小田 隆弘 北川 恵三

松浦 正人 平原 正軍

平岡 泰彦 野々村 一巳

月森 和弘 牛尾 尚義

吉村 尊雄 石川 春美

森山 茂 河原 得雄

吉野 一 浅田 保彦

金本 雅裕 森上 憲政

三好 昇 中島 繁

山根 健 村上 昭治

前村 隆規 山下 薫

大野 美雄 岩田 篤明

齊藤 幸男 野口 泰男

平井 一正 寺岡 泰成

石原 哲男 志賀 八郎

城一 芳文 村口 達美

穴見 春美 古谷 好敏

増野 一男 余村 尚之

池永 幸雄 丸本 秀司

俵 美将 滝本 律明

山中 弘人 田中 寿

山根 健晃

日野 修一 山崎 敏弘

足立 守 古志野 功

小方 尚子

渡辺 学 目黒

水口 古藤

入口

第2回 キャビネット会議 次第

日時： 2013年11月17日（日）

9：00～11：30

場所： 東京第一ホテル下関 於 桜の間

【 司 会 】 キャビネット幹事 大野 美雄

1. 開会ゴング 地区ガバナー 坂根 勝
2. 国旗に敬礼
3. 国歌、ライオンズクラブの歌斉唱
4. 336-D 地区物故会員並びに献眼者に対して黙祷
5. 出席者紹介及び確認 キャビネット幹事 大野 美雄
6. 挨拶 地区ガバナー 坂根 勝
地区名誉顧問会議長 岡村 聖爾
7. 表彰
国際会長賞 前地区ガバナー 岡村 聖爾 様
8. 議 事 【 議 長 】 地区名誉顧問会議長 岡村 聖爾
 - ① 報告事項 地区ガバナー 坂根 勝
 - ② 協議提案事項 地区ガバナー 坂根 勝
 - ③ その他
9. 委員長報告
PR・情報委員長 小田 隆弘
1～3R GMT 委員長 北川 恵三
4～7R GMT 委員長 松浦 正人
GLT 委員長 平原 正軍
国際関係・LCIF 委員長 平岡 泰彦
YCE 委員長 野々村一巳
保健福祉環境保全委員長 月森 和弘
青少年健全育成委員長 牛尾 尚義
年次大会大会委員長 藤原 茂紀
10. 質疑応答
11. 閉会ゴング 地区ガバナー 坂根 勝

物故会員

2013年6月30日～2013年10月末日

物故会員名		所属クラブ	ご逝去年月日
故	石川 寿延 様	江 津 L C	2013年6月30日
故	井上 重忠 様	桜 江 L C	2013年7月14日
故	安井 昭雄 様	松 江 湖 城 L C	2013年7月31日
故	青山 邦晴 様	邑 智 大 和 L C	2013年8月30日
故	山 崎 茂 様	大 社 L C	2013年10月31日
故	野 尻 修 様	赤 来 L C	2013年10月31日
故	大 津 幸 二 様	防 府 中 央 L C	2013年10月31日

ご生前のご功績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

献眼者ご芳名

2013年7月22日～2013年11月7日

献眼者ご芳名		担当クラブ	提供年月日
故	伊 藤 忠 明 様	小 野 田 L C	2013年7月31日
故	野 原 増 子 様	美 祢 L C	2013年9月14日
故	綾 木 忠 様	山 陽 L C	2013年11月3日

無限の愛をありがとうございます。

第二回キャビネット会議 席次表 (桜の間)

演台

キャビネット会計 野口 泰男
 キャビネット幹事 大野 美雄
 第二副地区ガバナ― 矢野 敏明
 第一副地区ガバナ― 竹下 雅雄
 地区名誉顧問会議長 岡村 聖爾
 地区ガバナ― 坂根 勝
 336複合地区ガバナ―協議会元議長 永井 義夫
 地区常任名誉顧問 大羽 義定
 地区常任名誉顧問 組嶽 晶一
 地区名誉顧問 山根 健
 地区名誉顧問 前村 隆規
 地区名誉顧問 岩田 篤明

1～3 R GMT委員長 北川 恵三 国際関係委員長 平岡 泰彦 保健福祉環境保全委員長 月森 和弘 年次大会委員長 藤原 茂紀 キャビネット副幹事 齊藤 幸男		PR・情報委員長 小田 隆弘 GLT委員長 平原 正軍 YCE委員長 野々村一巳 青少年健全育成委員長 牛尾 尚義 地区会計監査委員 上ヶ山 慶市
--	--	---

RC

西 2 村 R	喜 3 多 R
R・C	R・C
正敏	村博明

RC

安 4 永 R	武 5 内 R
R・C	R・C
一充	節夫

RC

鷺 6 見 R	澤 7 辰 R
R・C	R・C
國嗣	水

ZC

川 1 上 R	森 1 山 R
1	2
博之	浩吉

ZC

内 2 藤 R	高 2 橋 R
1	2
和雄	義孝

ZC

赤 2 穴 R	上 3 原 R
3	1
憲一	謙二

ZC

堀 3 江 R	吉 4 村 R
2	1
成	尊雄

ZC

石 4 川 R	寺 5 岡 R
3	1
春美	泰成

ZC

平 5 井 R	志 5 賀 R
3	4
一正	八郎

ZC

石 6 原 R	村 6 口 R
1	2
哲男	達美

ZC

城 6 一 R	古 7 谷 R
3	1
芳文	好敏

ZC

穴 7 見 R	春 2 美 Z
2	Z
春美	美

GMT・GLT委員

森 2 山 R	河 4 原 R
茂	得雄

GMT・GLT委員

吉 6 野 R	浅 7 田 R
一	保彦

YCE委員

金 2 本 R	森 4 上 R
雅裕	憲政

YCE委員

三 5 好 R	中 6 島 R
昇	繁

保健福祉環境保全委員

余 1 村 R	増 4 野 R
尚之	一男

保健福祉環境保全委員

丸 5 本 R	池 6 永 R
秀司	幸雄

オブザーバー

俵 6 美将 R	山 6 中 R
幹事	幹事
弘人	人

オブザーバー

廣 畑	宮 本
雅弘	直治

オブザーバー キャビネット副幹事

三 好	山 崎
一敏	敏弘

キャビネット副幹事

古 志野	渡 辺
功	学

キャビネット副幹事

日 野	足 立
修一	守

キャビネット副幹事

山 根	
健晃	

入口

報 告 事 項

報告号数	報 告 事 項	ページ
1	336 複合地区 第1回臨時ガバナー協議会要録 336 複合地区 第2回臨時ガバナー協議会要録 336 複合地区 第3回臨時ガバナー協議会要録 336 複合地区 第4回臨時ガバナー協議会要録 第1回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録 第2回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録 第3回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録 336 複合地区 LCIF コーディネーター会議要録 336 複合地区 第1回ガバナー協議会協議事項 336 複合地区 第1回ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議協議事項 336 複合地区 第2回ガバナー協議会協議事項 336 複合地区 第2回ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議協議事項 第1回複合地区国際大会委員長連絡会議要録 第2回複合地区国際大会委員長連絡会議要録 複合地区国際大会委員長連絡会議【小委員会】要録 第1回複合地区YCE委員長連絡会議要録 第1回八複合地区MD/GMTコーディネーター会議議事録 第1回複合地区会則委員長連絡会議要録 336 複合地区緊急援助資金委員会要録 (20130829) 336 複合地区緊急援助資金委員会要録 (20130918) 第1回 336 複合地区GMTコーディネーター・GMT委員長合同会議要録 第1回 336 複合地区会則・運営マニュアル編集委員会要録 第1回 336 複合地区GLT合同会議要録 336 複合地区内 第1回環境保全・保健福祉委員長連絡会議要録 336 複合地区内 第1回YCE委員長連絡会議要録 336 複合地区内 第1回PR・ライオンズ情報・IT委員長連絡会議	26～117
2	2013～2014 年度 地区ガバナー公式訪問開催状況報告	118
3	クラブ別会員増減状況	119
4	クラブ別 LCIF/MJF 合計拠出状況	120
5	クラブ別献血者数	121
6	クラブ別献眼登録者数	122
7	ガバナー諮問委員会 開催状況 (第1回ガバナー諮問委員会開催状況一覧)	123
8	各委員会研修会等開催状況	124
9	地区ガバナー及び副地区ガバナー立候補予定者届出規則	125～134
10	7/28 8/24 豪雨災害の対応	135
11	第23回世界スカウトジャンボリーへの協賛について	136
12	事務の専属化・事務局の固定化について	137

2013～2014 年度 336 複合地区第 1 回臨時ガバナー協議会要録

日 時 : 2013 年 7 月 19 日 (金) 14 : 30～16 : 30

場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局

岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F

出 席 者 :

336 複合地区ガバナー協議会	議 長	渡 部	雅 文	○
〃	副議長 (336-A 地区ガバナー)	松 前	龍 宗	○
〃	副議長 (336-B 地区ガバナー)	井 上	亮 二	○
〃	幹 事 (336-D 地区ガバナー)	坂 根	勝	○
〃	会 計 (336-C 地区ガバナー)	池 田	康 彦	×
336 複合地区ガバナー協議会事務局運営委員会	委員長	宗 像	慶 夫	○

次 第 :

1. 議長挨拶

本日は第 1 回目の臨時ガバナー協議会を開催させていただきます。

ガバナーの皆様におかれましては、先日の台湾 YCE 委員長歓迎会に引き続きの招集ですが、第 1 回ガバナー協議会の前にご協議いただきたいこともございますので、よろしく願いいたします。

2. 報告事項

(1) 複合地区議長連絡会議報告

- ① 2012-2013 年度 第 10 回複合地区議長連絡会議
 - ② 2012-2013 年度 現・次期協議会議長引継ぎ会議
 - ③ 2012-2013 年度 次期協議会議長会議
- 議長より、資料に基づき報告があった。

3. 協議事項

(1) 2013-2014 年度国際会長公式訪問について

議長連絡会議において、西の公式訪問は広島で開催することとし、MD336 がホストすることとされたため、グランドプリンスホテル広島 (11 月 22 日) を仮押さえしていることが報告された。

武久理事からの最新情報では、国際会長の来日は 11 月 21 日～25 日の予定である。24 日に東の公式訪問を開催見込みであるが、東西 1 ヶ所になる可能性もある。

議長より以上の説明があり、336 でホストすることについて了承された。

広島での開催であるので、336-C 地区が中心になって計画を進めていただくよう池田ガバナーに依頼する。

- (2) 336 複合地区第 60 回年次大会について
 ホストクラブに開催準備を依頼することを申し合わせた。第 2 回ガバナー協議会までに予算案等を提案いただく。

- (3) 複合地区委員会・準地区委員長連絡会議へのガバナーの出席について
 各委員会の担当ガバナーを決定した。
 ガバナーの出席について、担当ガバナーは極力出席、他ガバナーの出席は任意とする。

委 員 会	担当ガバナー
会則・運営マニュアル編集	(D) 坂根
GMT (会員・EXT・会員維持)	(C) 池田
GLT (指導力育成)	(B) 井上
PR・ライオンズ情報・IT	(C) 池田
YCE・国際関係	(A) 松前
青少年・ライオンズクエスト	(B) 井上
大会参加・迎接・プロトコール	(C) 池田
環境保全・保健福祉	(A) 松前
LCIF	(D) 坂根

- (4) 現在の「ガバナー協議会」と「ガバナー協議会報告会・委員長連絡会議」の運営について

ガバナー協議会へ文書で提案が出された場合、提案者は必要に応じてオブザーバーとしてガバナー協議会に出席し、提案理由の説明を加えることができることを申し合わせた。

「ガバナー協議会報告会・委員長連絡会議」の名称を第 1 回目の会議より「ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議」に変更することを決定した。

- (5) 第 52 回 OSEAL フォーラム「MD336 のタベ」登録料について
 シンガポールの物価を考慮し、12,000 円とする。

- (6) プロトコールに関する各地区の状況
 公認プロトコールで、元ガバナーはアルファベット順とされていることについて、各地区の状況が報告された。A 地区、B 地区、D 地区は従来通り年度順、C 地区のみアルファベット順としている。
 また、MD336 運営マニュアル<第 15 版>記載のプロトコールのうち、〔地区監査委員・地区委員〕をキャビネット副会計の下に記載するべきであるとの指摘があった旨説明があり、協議の結果、訂正することを申し合わせた。

- (7) 第 1 回ガバナー協議会議案について
 就業規則、給与規則の変更案、2013-2014 年度予算案を含め、ガバナー協議会協議案件を確認した。

松前ガバナーの提案事項について

- ・ 東日本大震災への追加支援の要請については、議長が他複合地区の対応状況を確認するとして、保留とされた。
- ・ ライオンズフォーラム in 高松に議長が出席する。その際の旅費は複合地区費より支出する。複合地区委員長・コーディネーターの出席は任意とする。

(8) その他

第23回世界スカウトジャンボリーへの支援について

- ・ 坂根ガバナーより、D地区で検討中の支援依頼内容について説明があった。第1回ガバナー協議会に資料を提示し、8複合地区議長連絡会議へ上程する内容を検討したいとの発言があった。

4. 閉会

2013～2014 年度 336 複合地区第 2 回臨時ガバナー協議会要録

日 時 : 2013 年 8 月 8 日 (木) 13:00～14:30

場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局

岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F

出席者 :

336 複合地区ガバナー協議会	議 長	渡 部	雅 文	○
〃	副議長 (336-A 地区ガバナー)	松 前	龍 宗	○
〃	副議長 (336-B 地区ガバナー)	井 上	亮 二	○
〃	幹 事 (336-D 地区ガバナー)	坂 根	勝	○
〃	会 計 (336-C 地区ガバナー)	池 田	康 彦	○
336 複合地区ガバナー協議会事務局運営委員会	委員長	宗 像	慶 夫	○

次 第 :

1. 議長挨拶

公式訪問等お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

本日は急なご案内ですが、山田国際第二副会長との懇談会の報告と、先日の第 1 回ガバナー協議会で継続審議となった事項についてもご協議いただきたいと思います。

2. 報告事項

(1) 山田国際第二副会長との懇話会報告 (別紙 A)

議長より、資料に基づき報告があった。

- ・ LCIF の献金額が大きい先進国の会員数は減少しているが、LCIF の献金額が少ない後進国はインドを始め大幅に会員数を伸ばしており、国際会長擁立を進める状況である。
- ・ 国際本部はこのことを危惧しており、先進国の会員増強を進めたい意向である。
- ・ 日本においても家族会員プログラムを利用して会員増強を図りたい。
MD334 では、クラブ会費、地区会費、複合地区会費、日本ライオンズ連絡事務所費を家族会員からは徴収しない計画である。

この件について、各ガバナーの意見交換があった。

B 地区 井上ガバナー

- ・ 当初の国際協会が示した家族会員プログラムは、入会費なし、国際会費半額であり、その他の会費は、クラブ、地区、複合地区で各々決定するとされていた。
- ・ 日本全体で、地区会費、複合地区会費は不要であると統一して決定されるのが望ましい。

- ・ 家族会員は正会員と同等の権利を有するが、例会出席の義務はない。
- ・ 日本では核家族が多いため、同居の親族とされている家族会員の資格が問題になる。このことについては、申請書類に添付する同居を証明する書類はクラブに提出するのみであるため、クラブ幹事が承認すればよい。

C 地区 池田ガバナー

- ・ 過去にインドが国際会長を出すために会員を増やしたが、会長任期が終了すれば会員が減少した。日本も同じやり方をすれば、同じ道を辿ることが予想される。
- ・ もっと現実的な話をしていただきたい。公式訪問では家族会員の話に触れるつもりはない。

A 地区 松前ガバナー

- ・ 家族の範囲をどこまでとするのか。
- ・ これから入会する人が、家族会員も一緒に入会しなければならないとなると、かえって入会費等の負担が増える。
- ・ クラブ事務局の事務手続きも煩雑になる。何のための家族会員か考えなければならない。

B 地区 井上ガバナー

- ・ 実際には、家族会員のうち配偶者会員が 98%を占めている。
- ・ 労力奉仕には寄与するが、献金をする際には対象から除外すると考えてはどうか。

D 地区 坂根ガバナー

- ・ 良くしようと思って発案されたプログラムであるが、結果、既存のメンバーに悪い影響がでることが危惧される。

議長より以下の発言があった。

今回は懇話会の報告をし、ガバナー各位のご意見を伺った。今後、山田国際第二副会長から直接説明を聞く機会もあるので、慎重に検討いただきたい。

今回の山田国際第二副会長からの文書の扱いは、各ガバナーに一任する。

3. 協議事項

- (1) 第 23 回スカウトジャンボリーへの支援に関する議長連絡会議案件提出について
(別紙 B)

336-D 地区から提出された支援依頼文書を確認した。

336-A,B,C 地区で会員一人当たり 2,000 円の拠出を依頼することについて、各ガバナーの了承が得られた。各地区ガバナーより地区内クラブに任意での協力を要請することを申し合わせた。

第 2 回議長連絡会議へ提案し、全国のライオンズへ協力を依頼する。

- (2) 『MD336 運営マニュアル<第 15 版>』訂正文書について（別紙 C）
訂正文、訂正内容について確認し、了承された。
- (3) 第 1 回ガバナー協議会における継続審議事項について
第 1 回ガバナー協議会で決定後に、ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議で意見があった就業規則・給与規則の改定内容について協議した。
- ・ 定年を 60 歳から 65 歳に変更することについて
 - ・ 退職金を懲戒解雇の場合は支給しないと変更したことについて
- 会則委員会に諮問し、検討いただく。
- また、旅費規定については、改定することも含めてガバナー協議会で今後検討する。
- (4) その他
- ① 会議要録について
第 1 回ガバナー協議会要録、緊急援助資金委員会要録、第 1 回ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議の各要録案が示され、確認した。
ガバナー協議会構成員の了解が得られた。
- ② 第 2 回ガバナー協議会日程（案）について
前日に山田国際第二副会長招集の会が開催される見込みであるため、10 時からの会議開始が難しいとの意見があり、ガバナー協議会（10：00-12：00）を別で開催するとし、10 月 15～17 日の間で日程調整をすることとされた。
なお、緊急の議案が生じた場合には、19 日午前に会議を開催することもある。

4. 閉 会

2013～2014 年度 336 複合地区第 3 回臨時ガバナー協議会要録

日 時 : 2013 年 9 月 18 日 (水) 13:30～15:30

場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局

岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F

出席者 :

336 複合地区ガバナー協議会	議 長	渡 部	雅 文	○
〃	副議長 (336-A 地区ガバナー)	松 前	龍 宗	○
〃	副議長 (336-B 地区ガバナー)	井 上	亮 二	○
〃	幹 事 (336-D 地区ガバナー)	坂 根	勝	○
〃	会 計 (336-C 地区ガバナー)	池 田	康 彦	×
336 複合地区大会参加・迎接・プロトコール委員長		福 永	栄 一	○
336 複合地区ガバナー協議会事務局運営委員会	委員長	宗 像	慶 夫	○

次 第 :

1. 議長挨拶

各地で甚大な災害が続いております。本日は、臨時ガバナー協議会ということでお集まりいただきました。よろしくお願い申し上げます。

2. 報告事項

(1) 第 2 回議長連絡会議報告 (別紙 A)

議長より、会議要録に基づき報告があった。

- ・ シンガポールフォーラムの登録締め切りが 9 月末まで延長された。国際会長晩餐会の登録は複合で取りまとめる。
- ・ 福岡国際大会の委員選出は第 2 回ガバナー協議会で検討する。
- ・ 世界スカウトジャンボリーの件は 336 より提案し、各 MD で検討いただくこととなった。
- ・ 国際会長公式訪問は、11/22 西、11/25 東で行われる。
- ・ LCIF 理事長来日に際し、LCIF クラシックゴルフが開催される。

(1) 臨時議長連絡会議報告 (別紙 B)

議長より、資料に基づき報告があった。

- ・ 国際第二副会長による会員倍増計画について意見交換を行っている最中に山田国際第二副会長から発信された会員倍増プランが届き、混乱の内に会議が終了したような状況であった。

3. 協議事項

(1) 山田第二副会長“会員倍増プラン”について (別紙 C, D)

各地区の現段階での“会員倍増プラン”伝達状況を確認した。

- ・ A 地区はフォーラム (9/15) での挨拶に含まれていたため、周知されている。
- ・ B 地区はガバナーチームにのみ発信している。地区名誉顧問に説明し、状況を把握した上でクラブへ発信する。
- ・ D 地区は現在のところ発信していない。

地区費、複合地区費を免除するとされていることについて、8 複合地区議長連絡会議では、プランに従わざるを得ないとの意見で合意したことが報告された。

会員倍増を否定するものではないが、家族会員プログラムについては地区によっては否決されることもある。今年度中に実行するには、臨時地区大会、臨時複合地区大会で決議される必要があるとの意見が多くあった。

ガバナー、RC、ZC、クラブ会長宛文書（別紙 D）は国際協会の正式文書であるため、各地区において早急に発信し、全国ガバナー連絡会（10/18）で詳細を確認後に説明することを申し合わせた。

- (2) バリー・パーマー国際会長公式訪問受入について（別紙 F）
福永迎接委員長より資料に基づき報告があった。
- ・ 22 日午前の行事には MD336 の議長、ガバナーは同行いただきたい。早朝からであるため、議長、ガバナー、運営委員長、事務局は前泊とする。
 - ・ 公式訪問では、議長、ガバナーは白タキシード着用とする。
 - ・ 公式訪問出席人数（A,B,D 地区 50 名、C 地区 150 名）は厳守いただき、各地区において人数分の登録料を負担願う。
- (3) 第 97 回国際大会（トロント）オフィシャルエージェントについて（別紙 G）
慣れた業者が望ましいとの意見もあり、特段の問題点もないことから、(株)近畿日本ツーリスト中国四国岡山支店とすることで合意した。
- (4) 第 52 回 OSEAL フォーラム（シンガポール）について（別紙 E）
- ① 「MD336 のタベ」会場および開催時間
11/8（金）19：30～21：00 ジュエルボックスで開催することが了承された。
議長、ガバナーは白タキシード着用とする。
 - ② 大会参加委員長、事務局運営委員長のフォーラム出席について
ガバナー協議会より、大会参加委員長、並びに事務局運営委員長に出席を要請することを申し合わせた。
旅費規定に従い、複合地区費より登録料及び旅費を負担する。
- (5) 336 複合地区緊急援助資金交付依頼について（別紙 H）
D 地区坂根ガバナーより、緊急援助資金交付依頼があった。緊急援助資金委員会で協議する。
- (6) その他
第 1 回ガバナー協議会で決議した就業規則および給与規則の改定について、会則委員会に諮問した結果、改定については小委員会で検討することとなり、学識経験者を含めた小委員会を立ち上げることを確認した。

4. 閉 会

2013～2014 年度 336 複合地区第 4 回臨時ガバナー協議会要録

日 時 : 2013 年 10 月 19 日 (土) 11:00～12:00 及び 16:30～16:40

場 所 : 紅梅亭 5F「東雲」
香川県仲多度郡琴平町 556-1

出席者 :

ガバナー協議会 議長		渡部 雅文	○
ガバナー協議会 副議長	336-A 地区ガバナー	松前 龍宗	○
ガバナー協議会 副議長	336-B 地区ガバナー	井上 亮二	○
ガバナー協議会 幹事	336-D 地区ガバナー	坂根 勝	○
ガバナー協議会 会計	336-C 地区ガバナー	池田 康彦	○
事務局運営委員長		宗像 慶夫	○
事務局運営委員	336-A 地区キャビネット幹事	平賀 将則	○
事務局運営委員	336-B 地区キャビネット幹事	斉藤 悟	○
事務局運営委員	336-C 地区キャビネット幹事	久保 行夫	○
事務局運営委員	336-D 地区キャビネット幹事	大野 美雄	○

次 第 :

1. 議長挨拶

昨日の全国ガバナー連絡会を受け、会員倍増計画について 336 複合地区としてどのように対応するか、意見交換を行いたいと思います。午後からの第 2 回ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議で複合地区役員のご意見も伺い、ガバナー協議会としての対応を早急に決定したいと思います。

2. 協議事項

(1) 次年度 LCIF 地区コーディネーターの選任について

LCIF では、地区コーディネーターは現・元ガバナーから選任されるよう通達があり、他複合地区では現・元ガバナーが地区コーディネーターとして選任されている。大羽複合地区 LCIF コーディネーターより、336 複合地区においても次年度 LCIF 地区コーディネーターを選任する際には、LCIF の通達に従っていただきたいとの依頼があった旨、報告された。

(2) 国際会長公式訪問協力金について

1 複合地区 40 万円とされている協力金について、各地区 10 万円ずつ負担することを申し合わせた。

(3) トロント国際大会登録案内について

案内文書一式を了承した。各地区キャビネットを通じてクラブヘメール配信する。

(4) 家族会員の複合地区会費減免について

山田国際第二副会長による会員倍増計画のための「日本家族会員プログラム」が3年間のパイロットプログラムとしてオーストラリア・ポートダグラス国際理事会（2013.10.6-10）で承認され、2013年10月9日から即日実行された。

複合地区としては、国際理事会の決定に従い、プログラムを推進しなければならないとの認識で一致した。

クラブがプログラムを採用する際に、複合地区としてどのように対応するか方向性を決定すべきであるとし、家族会員の複合地区会費は2014年1月1日から2016年12月31日までの3年間、徴収しないことを申し合わせた。

この複合地区会費の変更は、ガバナー協議会の決定により今期中からの実行とし、第60回複合地区年次大会代議員総会で追認される手順とする。

また、地区会費についても徴収しない方向で統一されるよう議長より要請された。

なお本件は、第2回ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議前に意見交換を行い、第2回ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議で伺った複合地区役員各位の意見を参考にし、再度臨時ガバナー協議会を開催して申し合わせたものである。

3. 閉 会

(2013-2014 年度)

第 1 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録

- ◎ 日 時: 2013 年 7 月 23 日(火) 13:30-16:00
- ◎ 会 場: 日本ライオンズ連絡事務所(東京都)
- ◎ 出席者: 330 複合地区協議会議長 佐藤 精一郎 (副世話人)
331 複合地区協議会議長 伊藤 信賢
332 複合地区協議会議長 若木 幹
333 複合地区協議会議長 小坂橋 欽也 (世話人)
334 複合地区協議会議長 柳原 宏行
335 複合地区協議会議長 森本 克幸 (副世話人)
336 複合地区協議会議長 渡部 雅文
337 複合地区協議会議長 鬼塚 俊郎
- [第Ⅱ部]
- 国際理事(2012-2014) 武久 一郎
国際理事(2013-2015) 清水 英徳

- ✓ 小坂橋世話人による開会と各議長の自己紹介あり。
- ✓ 6月14日に行われた2012-2013現・元議長引継ぎ会議要録、次期議長会議要録が配られ、内容を確認した。

◎ 議 事:

[第Ⅰ部 議長協議]

1. 「山田第二副会長と議長の懇話会」について

MD334 柳原議長から、ハンブルク国際大会で選出された山田實紘国際第二副会長への支援に対する謝意が述べられた。山田第二副会長の書簡が配られ、これからのライオンズのあり方や今後の方針について、議長との懇話会が設けられることを確認した。

- ✓ 日時・場所: 2013 年 8 月 2 日(金) 13:00-15:00 於:日本ライオンズ連絡事務所

2. パーマー国際会長公式訪問について

パーマー国際会長夫妻の来日スケジュールが変更されたとの情報あり。詳細は第Ⅱ部国際理事との懇談で確認する。

3. 第 52 回 OSEAL フォーラム(2013 年 11 月 7 日(木)-11 日(月)シンガポール)

(1) OSEAL フォーラム規則が配られ、第 4 条ステアリング委員会 4.01 構成員の条文を確認し、4 名のステアリング委員を選出した。続いて 1 名の決議委員を選出した。

正規ステアリング委員: MD333 小坂橋議長、MD334 柳原議長、
MD335 森本議長、MD337 鬼塚議長の合計 4 名
決議委員: MD330 佐藤議長

(2) フォーラム委員会からの提案事項(①本部ホテルの日本向け優先予約枠と予約方法、②フォーラム登録料 9 月 10 日までの海外送金)については、8 月 7 日の第 1 回複合地区国際大会委員長連絡会議に付託する。

4. 日本ライオンズ連絡事務所運営関係

- (1) 各種規程と基本的事項のファイル一式が配られ、説明あり。
- (2) 2012-2013年度一般会計および東日本大震災義捐金口座の会計報告案(残高証明書添付)および会議開催実績が配られ、収入および支出の内容説明あり。8月22日に各複合地区会計監査委員による監査が予定されている。
- (3) 会計監査終了後に、日本ライオンズ連絡事務所定期預金および東日本大震災義捐金の口座名義を2012-2013年度の「議長連絡会議世話人杉浦均」から、2013-2014年度「議長連絡会議世話人小板橋欽也」に変更する。
- (4) 2013-2014年度一般会計予算案(第二次)が配られた。6月末に会員数が減少したため、会費収入の予想人数を100,700名に修正したとの報告あり。

5. 2016年第99回福岡国際大会についてのお願い(MD337追加提案)

MD337 鬼塚議長から書面が配られ、福岡国際大会についての支援要請あり。

- (1) 大会支援協力金については、MD330～MD337までの大会決議や徴収方法を再確認した。MD330～MD336は総額一人5千円、MD337は総額1万円の協力金をホスト委員会の口座に振り込みをお願いしたいとの説明を聞いた。各MDまたは地区が年次大会やキャビネット会議で決定した徴収方法で支援協力金を集め、ホスト委員会指定の口座へ送金する。

◎福岡ホスト委員会指定口座:

福岡銀行 渡辺通支店 普通預金 No.2032734

「第99回国際大会ホスト委員会 委員長 不老安正」

- (2) ホスト委員会組織編成案を基に、各MDから監査委員1名、常任委員1名の推薦依頼あり。任期や職務などの詳細をまとめ、後日正式な依頼状を各MDへ送付してもらう。なお、顧問の元国際理事については、ホスト委員会から直接元国際理事宛に依頼する。

[第Ⅱ部 国際理事との懇談]

6. ハンブルク国際理事会報告

武久国際理事および清水国際理事から、ハンブルク国際大会および国際理事会の報告あり。主な内容は次のとおり。

➤ ハンブルク国際大会登録合計: 24,749人

☆ トップ5か国:

- ドイツ 5,918人
- 日本 3,725人
- アメリカ 2,099人
- フランス 1,336人
- 中国 1,298人(香港、マカオを含む。台湾は含まない。)

- 山田實紘国際第二副会長へは 3,700 票を超える賛成票があった。
- インタナショナルパレードで日本のライオンズと一緒に進み、演奏したドイツのハイスクールバンドが入賞した。賞金 500 ドルはハイスクールに寄付し、感謝された。
- LCIF への日本からの申請はすべて承認された。
- インドへ大災害支援に 10 万ドル交付。

2013-2014 年度国際理事会の所属委員会:

山田實紘第二副会長 - 執行委員会、長期計画委員会、LCIF 執行委員会

武久一郎国際理事 - 会則及び付則委員会(副委員長)、LCIF 執行委員会(副委員長)

清水英徳国際理事 - 会則及び付則委員会、LCIF 執行委員会(会計)

7. パーマー国際会長公式訪問について

武久国際理事から、韓国での公式訪問が直前に設定されたため、パーマー国際会長の来日スケジュールが 11 月 21 日(木)～26 日(火)にずれ込んだとの最新情報が報告された。そのため東の公式訪問を 11 月 25 日(月)に変更して開催する方向で会場を探している旨、ホストの MD333 小坂橋議長から説明あり。なお西の公式訪問については MD336 渡部議長から、予定通り 11 月 22 日(金)グランドプリンスホテル広島を予約済みとの報告あり。

- ✓ パーマー国際会長夫妻の来日スケジュール: 11 月 21 日(木)～26 日(火)
- ✓ 西の公式訪問: 11 月 22 日(金) グランドプリンスホテル広島
- ✓ 東の公式訪問: 11 月 25 日(月)を予定し、会場を探している。確定次第、連絡する。

8. 今後の会議予定

8 月 28 日(水)13:30-15:20 第 2 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

8 月 28 日(水)15:30-17:00 第 1 回東日本大震災復興支援対策本部会議

(上記会議場所: 日本ライオンズ連絡事務所)

以上

(2013-2014 年度)

第 2 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録

- ◎ 日 時: 2013 年 8 月 28 日(水) 13:30-15:30
- ◎ 会 場: 日本ライオンズ連絡事務所(東京都)
- ◎ 出席者: 330 複合地区協議会議長 佐藤 精一郎 (副世話人)
331 複合地区協議会議長 伊藤 信賢
332 複合地区協議会議長 若木 幹
333 複合地区協議会議長 小坂橋 欽也 (世話人)
334 複合地区協議会議長 柳原 宏行
335 複合地区協議会議長 森本 克幸 (副世話人)
336 複合地区協議会議長 渡部 雅文
337 複合地区協議会議長 鬼塚 俊郎
- [第Ⅱ部]
- 国際理事(2012-2014) 武久 一郎
国際理事(2013-2015) 清水 英徳

- ✓ 小坂橋世話人による開会。7 月 23 日に行われた第 1 回会議要録を確認。
- ✓ 第 2 回会議の会議進行は MD330 佐藤議長、要録署名人は MD337 鬼塚議長が担当する。
- ✓ 議長連絡会議終了後に、第 1 回東日本大震災復興支援対策本部会議が行われる。

◎ 議 事:

[第Ⅰ部 議長協議]

1. パーマー国際会長公式訪問について

11 月 21 日(木)来日、26 日(火)離日の会長夫妻のフライトは未定、国際理事との懇談で打ち合わせを行うことにした。

2. 第 52 回 OSEAL フォーラム(2013 年 11 月 7 日(木)-11 日(月)シンガポール)

(1) 8 月 14 日付け Lim Hon Chee フォーラム委員長書簡が配られ、フォーラム登録料(一人 120USドル)の海外送金締め切りは 9 月 30 日までに延長されたことを確認した。

(2) フォーラム本部ホテルの日本向け優先予約枠と予約方法については、第 1 回複合地区国際大会委員長連絡会議で検討された結果、議長・地区ガバナー・第一副地区ガバナー・国際大会委員長向けのツアーコースが設定された。発着地別コース料金のパンフレットが配布され、コーディネーターの旅行者から説明があり、議長との質疑応答があった。なおステアリング委員にはフォーラム委員会から所定泊分の招待があることを確認した。

3. 2016 年第 99 回福岡国際大会についてのお願い(MD337 提案)

第 1 回会議で MD330~336 に推薦依頼のあった各 MD 監査委員 1 名、常任委員 1 名の職務および任期について、8 月 12 日付け MD337 鬼塚議長および不老ホスト委員会委員長名の書簡が配られた。

◇監査委員 1 名 (2014～2016 年度大会終了後まで年 1 回の会計監査を行う。)

MDでの監査経験のある方

任期:2013 年 11 月 1 日～2016 年会計監査終了まで

◇常任委員 1 名 (ホスト委員会の状況を各MDに説明する。)

元協議会議長または元地区ガバナー

任期:2013 年 11 月 1 日～2016 年 6 月 30 日

各MDの推薦者を 10 月末までに、ホスト委員会事務局(*)宛にEメールまたはファクスで通知してほしいとの依頼を了承する。

(*)第 99 回ライオンズクラブ国際大会ホスト委員会事務局

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-17-23 ホテル日航福岡別館5F

TEL:(092) 475-2300 FAX:(092) 475-2301 E-mail : lc99intcnv@iaa.itkeeper.ne.jp

4. 第 23 回世界スカウトジャンボリーへの支援に関して(MD336 提案)

MD336 渡部議長から標記の要請書簡および資料一式が配られ、協力依頼あり。

- 会 期:平成 27 年(2015 年)7 月 28 日(火)～8 月 8 日(土) 12 日間
- 会 場: 山口県山口市きらら浜
- テーマ:「和」:WA: a spirit of unity

昭和 46 年(1971 年)の前回開催と同様に支援要請を受け、日本のライオンズクラブとして公益財団法人ボーイスカウト日本連名へ寄金を贈り、テント購入費に充てたい。336-D地区は一人 3,000 円、336-A～C地区は一人 2,000 円、他のMDは一人 1,000 円の支援をお願いしたいとの要望あり。

各議長がMDに持ち帰り、検討することにした。

5. 日本ライオンズ連絡事務所運営関係

(1) 7 月会計報告(貸借対照表、収支計算書)が配られ、事務局から説明あり。

(2) 8 月 22 日に 2012-2013 年度会計監査が終了し承認されたとの報告あり。前回会議で確認のとおり、連絡事務所定期預金および震災義捐金の口座名義人の交代届を出す。

6. 各種委員会報告:開催順

- (1) 第 1 回ライオン誌日本語版委員会(7 月 29 日)
- (2) 第 1 回国際理事候補者選挙管理委員会(8 月 6 日)
- (3) 第 1 回複合地区国際大会委員長連絡会議(8 月 7 日)

上記会議報告書、要録が提出された。

7. その他

(1) 議長連絡会議のホームページ(<http://www.japan-lionsclubs.jp/>)に、2013-2014 年度議長 8 名の写真とメッセージを掲載する。

- (2) 第1回複合地区YCE委員長連絡会議を9月13日(金)に行う。
- (3) 太平洋アジア課から送付された協議会議長ピンとデカールを各議長が受け取った。

〔第Ⅱ部 国際理事との懇談〕

武久国際理事および清水国際理事から挨拶あり。

8. パーマー国際会長公式訪問:11月21日(木)～26日(火)

国際会長夫妻のフライトは現時点で未定との説明を聞き、暫定日程案を確認した。東西の公式訪問は次のとおりとし、広島平和公園や表敬訪問、山田第二副会長案内の京都観光などが予定されている。ホストMDの336、333と迎接担当のMD330が連携して送迎の手配を行う。公式訪問協力金や出席人数割当に関しては、東西の議長間で話し合って決める。

- 西の公式訪問: 11月22日(金) グランドプリンスホテル広島(ホストMD336)
- 東の公式訪問: 11月25日(月) ホテルニューオータニ東京(ホストMD333)

8. マデンLCIF理事長来日:11月11日(月)～15日(金)

武久国際理事から、マデンLCIF理事長(前国際会長)の来日日程案とLCIFクラシックゴルフ開催の説明あり。11月14日(木)、参加資格は今年度1口以上のMJF献金(予定)者で費用は一人20,000円。LCIFステアリング委員の栢森新治元国際理事が担当されており、申し込みは10月15日(火)までにLCIF開発日本事務所(*)へ送る。

(*)LCIF開発日本事務所 FAX:(086) 214-5617 E-mail :csf2japan@office-fida.com

9. その他

GMT会則地域副リーダーの山浦晟暉元国際理事から資料が配布され、山田第二国際副会長が掲げる20万人会員倍増計画案の説明あり。家族会員および賛助会員の会費や例会出席免除について、意見交換した。

10. 次回会議予定

10月1日(火)13:30-15:30 第3回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

(同日 15:45-17:00 第2回東日本大震災復興支援対策本部会議)

会議場所: 日本ライオンズ連絡事務所

以上

(2013-2014 年度)

第3回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録

- ◎ 日 時: 2013 年 10 月 1 日(火) 13:30-15:30
- ◎ 会 場: 日本ライオンズ連絡事務所(東京都)
- ◎ 出席者: 330 複合地区協議会議長 佐藤 精一郎 (副世話人)
331 複合地区協議会議長 伊藤 信賢
332 複合地区協議会議長 若木 幹
333 複合地区協議会議長 小坂橋 欽也 (世話人)
334 複合地区協議会議長 柳原 宏行
335 複合地区協議会議長 森本 克幸 (副世話人)
336 複合地区協議会議長 渡部 雅文
337 複合地区協議会議長 鬼塚 俊郎
- [議長との懇談]
- 国際第二副会長(2013-2014) 山田 實紘
国際理事(2012-2014) 武久 一郎
国際理事(2013-2015) 清水 英徳
国際第二副会長セクレタリー(PDG) 鈴木 誓男

- ✓ 小坂橋世話人による開会。8月28日に行われた第2回会議要録を確認。
- ✓ 第3回会議の会議進行はMD332 若木議長、要録署名人はMD335 森本議長が担当する。
- ✓ 議長連絡会議終了後に、第2回東日本大震災復興支援対策本部会議が行われる。復興対策本部長である山浦晟暉元国際理事(GMT会則地域副リーダー)の議長会議オブザーバー出席要望を了承する。

◎ 議 事:

1. 山田国際第二副会長との懇談

(1) 山田副会長から会員倍増計画発案の経緯と進め方について説明あり。世界のライオンズの会員比率が変化してきて、LCIFの支援を受けているアフリカ、インドの会員数が増加している。また国際理事全体の人数を減らす提案も出ている。2017年のライオンズ百周年記念を迎え、日本の現在の会員数10万人を200%純増させて、日本の遅れている面を国際レベルに上げる。第2回目の全国ガバナー連絡会を10月18日に開き、計画の詳細を詰める。

(2) 2013年9月5日付け会員及びエクステンション部のスー・ヘイニー部長書簡「家族会員の例会出席について」が配られ、補足説明あり。会員やクラブの多様化により、国際本部としては例会の定期出席の定義はせず、クラブは会員に対して定期的出席を奨励すべきであるが、それを強制する規定は含まれていないとの見解が述べられた。

(3) 質疑応答の時間を設け、家族会員受入の状況やクラブ会費などの情報を出し合った。日本のライオンズ会員倍増計画は2014年6月末までに達成することを目標としており、クラブ会長とゾーン・チェアパーソンに理解を求めることが重要であるとの認識を共有し、山田第二副会長の案を再確認した。

(4) 期首から10月末までに会員倍増を達成したクラブを報告してほしい。11月の公式訪問の席上で、パーマー国際会長がクラブ会長を表彰する予定になっているとの追加情報あり。

(5) 12月3日(火)に第3回目となる全国ガバナー連絡会と第2回日本国際委員会を開く。会場は東京の銀座ブロッサム(中央会館)を確保したとの報告あり。

2. 国際役員の訪問について

(1) パーマー国際会長夫妻の暫定スケジュール(11月21日(木)～26日(火))を確認した。武久国際理事から、今年度から国際本部の経費負担は会長夫妻の国際航空券のみで、日本滞在中の会長夫妻の宿泊や移動費用は招待する日本のライオンズ側が全額負担することになるとの説明あり。東西のホストMDで予算を確認する。

MD336 渡部議長から、準備が進められている西の公式訪問と山田第二副会長セミナーの開催要領(案)の説明あり。

11月22日(金) 於:グランドプリンスホテル広島

西の公式訪問 15:00-16:30、晚餐会 17:00-19:00 服装:ビジネススーツ

公式訪問・晚餐会一括登録料一人 15,000円 /西の各MD協力金 40万円

出席人員は約600名。MD334・335・337は100名、MD336は300名。

同日 14:00-14:40、山田第二副会長セミナーを行う。

(2) マデン元国際会長(LCIF理事長)の名古屋到着日が、11日から12日に変更された。

11月12日(火)名古屋到着

13日(水)LCIFコーディネーター会議

14日(木)LCIFクラシックゴルフ

15日(金)出発

3. 第52回OSEALフォーラム(2013年11月7日(木)-11日(月)シンガポール)

(1) MD335 森本議長から、議長連絡会議主催で国際理事候補者を披露する「ジャパン・ナイト」を11月8日(金)17:30-18:30に開催する予定との報告あり。式次第案のとおり、地区ガバナー以上は白タキシード着用とする。招待状持参の立食形式とし、来賓の方には特別席を用意する。

(2) 「国際会長歓迎晚餐会」11月9日(土)19:00-22:00、コンベンションセンター5階
各MDの申込人数は321人。登録料US\$130×321=US\$41,730を日本ライオンズ連絡事務所からシンガポールのフォーラム事務局へ一括送金する。送金実費は後日各MD宛に請求する。了承。

4. 国際会長アワードについて

9月16日に国際会長および副会長アシスタントのダーリーン・グリーク氏が発信した「日本からの国際会長アワード推薦について」のEメール書簡コピーが配られた。

- ✓ 国際会長は、今年度日本の各準地区に対し、会長アワードを1つ、リーダーシップ・アワードを2つまで承認する。

- ✓ 地区ドリームアチーバー賞の目標を達成した地区ガバナーには会長アワードが、会長のゾーンとリジョンチェアパーソン賞に設定された要件を達成したZC、RCにはリーダーシップ・アワードが、自動的に贈られる。
- ✓ 国際会長は、奉仕活動に献身的に取り組んできた会員で、直近の3年間に受賞していない方を推薦してほしいとの意向。推薦書は各MDで一括し、本部が指定するMD内の現・元国際理事を通じて会長宛に提出する。

5. 国際理事候補者選挙管理委員会からの会議開催願い

9月18日付け菅原雅雄選挙管理委員長の標記要望書が提出された。第2回目の会議開催を検討し、その必要は認められないとの結論となった。西川義則国際理事候補者には、議長連絡会議で挨拶してもらうことにする。

6. 日本ライオンズ連絡事務所運営関係

8月、9月会計報告(貸借対照表、収支計算書)が配られ、事務局から説明あり。12月3日の銀座ブロッサム会場費用立替の会計処理を指示。

7. 各種委員会報告:開催順

- (1) 8MD/GLTコーディネーター会議(8月26日)
- (2) 8MD/GMTコーディネーター会議(9月6日)
- (3) 第1回複合地区会則委員長連絡会議(9月25日)

上記会議の議事録または要録が提出された。

8. その他

- (1) 第1回複合地区IT委員長連絡会議開催の要望あり。会議の案件などを記した要望書を提出してもらい、次回会議で検討する。
- (2) ライオン誌日本語版委員会委員長および編集長と懇談する場を設ける。

9. 次回会議予定

10月29日(火)13:30-15:30 第4回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議
(同日 15:45-17:00 第3回東日本大震災復興支援対策本部会議)

会議場所:日本ライオンズ連絡事務所

以上

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区 LCIF コーディネーター会議要録

日 時 : 2013 年 7 月 29 日 (月) 13 : 30 ~ 15 : 30
場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局
岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F

出席者 : (敬称略)

336 複合地区ガバナー協議会議長	渡 部 雅 文	○
336 複合地区ガバナー協議会副議長・336-A 地区ガバナー	松 前 龍 宗	○
336 複合地区ガバナー協議会副議長・336-B 地区ガバナー	井 上 亮 二	×
336 複合地区ガバナー協議会幹事・336-D 地区ガバナー	坂 根 勝	○
336 複合地区ガバナー協議会会計・336-C 地区ガバナー	池 田 康 彦	○
336 複合地区 LCIF コーディネーター	大 羽 義 定	○
336-A 地区 LCIF コーディネーター	三 谷 智 省	○
336-B 地区 LCIF コーディネーター	佐 藤 慎 司	○
336-C 地区 LCIF コーディネーター	野 村 惺	○
336-D 地区 LCIF コーディネーター	秋 田 千 鶴	×
336 複合地区ガバナー協議会事務局運営委員長	宗 像 慶 夫	○

次 第 :

1. 議長あいさつ 336 複合地区ガバナー協議会議長 渡部 雅文

D 地区では大変な災害が発生しているようでございます。坂根ガバナーには、この件に関する新しい情報が入りましたら連絡をお願いいたします。

本日は、LCIF について実のある協議をして 336 複合地区の方針を決めていただきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

2. MD コーディネーターあいさつ

336 複合地区 LCIF コーディネーター 大羽 義定

国際協会では LCIF コーディネーターの任期は 3 年とされていますが、日本では地区コーディネーターは 1 年任期ということを申し合わせております。

これから始まりますガバナー公式訪問でお願いしていただくよう、日本における状況、今年度の方針についてご協議いただきたいと思います。

3. 議 事

(1) LCIF の状況

- ・ LCIF ステアリング委員会構造について、大羽コーディネーターより説明があった。
- ・ 日本からの献金は世界でも高く評価されているところである。今年度は献金額 5%アップを目標にしていきたい。

(2) 今年度の取り組み

- ・ 地区コーディネーターは現・元ガバナーから選出されることが要望されている。今年度は地区ガバナーと地区コーディネーターとで対応していただきたい。
- ・ 献金のお願だけでなく、交付金の申請に関する PR が必要。100 名以上に避難勧告が出るような災害であれば申請できる。迅速に手続きをされるよう、地区コーディネーター、RC が説明できるような体制を整えていただきたい。
- ・ 東日本大震災への義捐金に関しては、震災発生当初、直接支援をする際には 332-B 地区へ義捐金を送るよう通達があったが、現状では義捐金の使途報告がない。LCIF を通じて支援することを奨励したい。

(3) ガバナー公式訪問時

- ・ ガバナー公式訪問において、LCIF に関する PR をお願いしたい。

(4) LCIF クラブ献金のお願

- ・ ゾーン・リジョンでの合同アクティビティによる献金は、ZC・RC の名前で申請し、クラブ名を記載することで最終的にはクラブの献金になることを周知していただきたい。

(5) その他（各地区状況報告）

A 地区コーディネーター

9 月 15 日に高松で開催するフォーラムの中で LCIF セミナーを行う。他地区からも出席いただきたい。

LCIF に関しては、ガバナー、地区役員が率先して献金をするべきである。交付金が承認されるためにはどのようにすべきかを勉強する必要がある。クエストには 6 年前から取り組んでいる。

C 地区コーディネーター

C 地区でもクエストに関心があり、参加した教職員からも良い感触があった。今年度は積極的に取り組みたいが、現在のところ、地区内に講師がいない。早めに申し込まなければ実施できないのが現状である。

クエストに参加した教職員の感想等、記録として残しておくべきであり、準地区間で共有することが有用である。

LCIF は寄付するばかりで交付金を受けることが少なかったが、震災の際には日本でも多くの交付金を受けたことを実感した。

B 地区コーディネーター

LCIF セミナーを 9 月 14 日にセミナーを行う予定である。

クエストに関しては、40 名規模のワークショップを予定している。クエストのセミナーも継続的に 1 年に 1 回は開催している。

臓器輸送車を寄贈するために LCIF の交付金を申請している。

D 地区ガバナー

D 地区ではこれまで 4 年間クエストに取り組んできた。今年度は LCIF に申請をしない見込みであるが、今後検討する必要がある。

C 地区ガバナー

ガバナーに就任したことで、所属クラブのメンバーが MJF をした。何かのきっかけで献金するように依頼したい。地域での奉仕も必要であるが、個人の献金がグローバルな支援に繋がることを訴えて献金のお願いをしている。

A 地区ガバナー

義捐金を受けた際の配布方法を決めておくことが必要である。

大羽コーディネーター

クエストの取り組みは単年度ではなく、継続することが重要である。複合で継続して資料を残すことをガバナー協議会で検討いただきたい。

4. 閉 会

協 議 事 項

I. 336 複合地区ガバナー協議会議長 渡 部 雅 文

1. 2013～2014 年度 336 複合地区組織表および各役員の委嘱について 別紙 1 (P. 4)

各役員の委嘱状を 7 月 9 日付で議長名にて作成し、各クラブへ発送した。

アラート委員長を委嘱していないが、必要に応じて岡村元ガバナーに対応を依頼することとした旨、渡部議長より報告があった。

委員会担当ガバナーについて

委 員 会	担当ガバナー
会則・運営マニュアル編集	(D) 坂根
GMT (会員・EXT・会員維持)	(C) 池田
GLT (指導力育成)	(B) 井上
PR・ライオンズ情報・IT	(C) 池田
YCE・国際関係	(A) 松前
青少年・ライオンズクエスト	(B) 井上
大会参加・迎接・プロトコール	(C) 池田
環境保全・保健福祉	(A) 松前
LCIF	(D) 坂根

ガバナーの委員会への出席について、担当ガバナーは極力出席、他ガバナーの出席は任意とする。

了 承

2. 336 複合地区各種規定について

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| (1) 336 複合地区旅費規定 | 別紙 2 (P. 5) |
| (2) 336 複合地区ガバナー協議会事務局運営委員会規定 | 別紙 3 (P. 6) |
| (3) 336 複合地区慶弔規定 | 別紙 4 (P. 7) |
| (4) 336 複合地区ガバナー協議会事務局規定 | 別紙 5 (P. 8) |
| (5) 336 複合地区緊急援助資金規定 | 別紙 6 (P. 9) |
| (6) 336 複合地区委員会運営内規 | 別紙 7 (P. 10) |
| (7) 336 複合地区事務局 就業規則 (案) | 別紙 8 (P. 11～12) |
| (8) 336 複合地区事務局 給与規則 (案) | 別紙 9 (P. 13～14) |

各種規定について確認した。

事務局就業規則および事務局給与規則については、前年度第 5 回ガバナー協議会、今年度第 1 回臨時ガバナー協議会での意見をまとめた改定案を確認し、了承された。

宗像運営委員長より、旅費規定の 8 に関して B 地区内で意見があったことが報告され、支給対象となる範囲について説明が求められた。この件については継続審議とされた。

一 括 了 承

3. 336 複合地区費、複合地区大会費の振込銀行について

別紙 10 (P. 15)

了 承

4. 336 複合地区第 60 回年次大会について

- (1) 開催年月日 2014 年 5 月 18 日(日)
(2) 開催場所 倉敷市民会館 (倉敷市本町 17-1)
倉敷アイビースクエア (倉敷市本町 7-2)
(3) ホストクラブ 336-B 地区 (4R2Z の 5 クラブ)
玉島 LC、倉敷水島 LC、倉敷南 LC、
倉敷西 LC、水島中央 LC
(4) 大会委員長 畑野 健三 (倉敷西 LC)

一 括 了 承

5. 2012～2013 年度 336 複合地区会計報告並びに監査報告

別紙 11 (P. 16～22)

午後からの連絡会議において前年度会計より報告いただく。

了 承

6. 336 複合地区 2013～2014 年度予算(案)について

別紙 12 (P. 23)

宗像事務局運営委員長より、予算案の説明があった。

前年度までの会計状況を勘案して作成した予算であり、収入の部の複合地区費および支出の部の連絡事務所費は期首の会員数で算出したこと、会員数の減少による会費収入減から、赤字予算を組まざるを得ない状況であることが説明された。

前年度は会議出席者を見直すことで旅費交通費の減額を図ったが、今後さらに旅費規定の改定等、支出を抑える努力をすることを積極的に検討するとし、複合地区役員の理解を求めたい。

なお、但し書きの文言のうち、「費目」を「科目」にすることについては、確認後に訂正の可能性あり。

了 承

7. 336 複合地区年間計画について

- | | | |
|----------------|----------------------|------------|
| 第 1 回ガバナー協議会 | 2013 年 8 月 1 日 (木) | [D 地区] 松江市 |
| 第 2 回ガバナー協議会 | 2013 年 10 月 19 日 (土) | [A 地区] 高松市 |
| 第 3 回ガバナー協議会 | 2014 年 1 月 25 日 (土) | [C 地区] 広島市 |
| 第 4 回ガバナー協議会 | 2014 年 3 月 28 日 (金) | [B 地区] 倉敷市 |
| (次期五役研修会・連絡会議) | 2014 年 3 月 29 日 (土) | |
| 第 5 回ガバナー協議会 | 2014 年 6 月初旬 | 倉敷市 |

ガバナー協議会出席者について、第1回～第4回はガバナー協議会構成員と事務局運営委員会、第5回は、現・次期ガバナー協議会構成員と現・次期事務局運営委員会のみとする。

第1回～第4回ガバナー協議会の午後に「ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議」を開催する。なお、この会議名は臨時ガバナー協議会での決定を受け今回より変更するものであり、複合地区役員の反対がなければ今後この会議名に決定し、会場看板（横断幕）を作成する。

了 承

8. ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議出席者について

- ・ 顧問（第1回、第2回、第3回、第4回）
- ・ 第1副地区ガバナー（第1回、第2回、第3回、第4回）
- ・ 第2副地区ガバナー（第1回、第2回、第3回、第4回）
- ・ IT専門委員（第1回目のみ）
- ・ 年次大会委員長（必要のある場合のみ）

ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議への出席要請について確認した。

ガバナー協議会へ文書で提案が出された場合、提案者は必要に応じてオブザーバーとしてガバナー協議会に出席し、提案理由の説明を加えることができることを確認した。

了 承

9. 国際会長公式訪問(西)について

- (1) 開催日程 2013年11月22日(金)
- (2) 開催場所 グランドプリンスホテル広島

国際会長公式訪問受入要項の素案をもとに議長より説明があった。現段階では国際会長のスケジュールが確定しておらず、今後継続して検討する。

今回は広島での受入であるので、336-C地区を中心に計画を進めていただくよう、あらためて議長より池田ガバナーに協力が依頼された。

了 承

10. 各委員長年間活動方針

別紙13 (P.24～25)

午後からの連絡会議において各委員長より報告いただく。

了 承

11. その他

(1) MD336 運営マニュアル《第 15 版》の活用について

今年度ガバナー協議会として「MD336 運営マニュアル《第 15 版》」を活用することを申し合わせた。

なお、P. 70 記載のプロトコール表を訂正し、〔地区監査委員・地区委員〕をキャビネット副会計の下に記載することを確認した。複合事務局より、各地区キャビネットを通じて訂正文を発信する。

了 承

(2) その他

① 第 23 回世界スカウトジャンボリーへの支援に関して (当日配布) P.1~6

資料に基づき、坂根 D 地区ガバナーより説明があった。岡村前ガバナーからの引継ぎ事項により、D 地区キャビネット会議で支援内容を協議した内容であり、次年度末までに支援金を集めたい。支援金の送金先等、詳細は今後検討する。

この件に関して、テントを購入して寄贈することはアクティビティになるため、地区も複合も関与できない、クラブから理解を得るために協力依頼の内容も精査する必要がある等の意見があった。

議長連絡会議では、全国のライオンズに協力を依頼することについては前年度議長連絡会議より引継がれており、336 複合地区で支援計画を策定して議長連絡会議へ提案することとされている。

今後継続して、前向きに検討することを申し合わせた。

了 承

② 山口・島根豪雨災害について

坂根ガバナーより、山口・島根豪雨災害の報告があり、複合地区からの支援協力の依頼があった。緊急援助資金委員会を開催し、200 万円を拠出することを決定した。

了 承

II. 336-A 地区ガバナー

松 前 龍 宗

1. 東日本大震災 LCIF の件

別紙 14 (P.26~28)

会員一人あたり 3,000 円の LCIF 指定支援金が、332 地区より各準地区へ文書で依頼された件について、他の地区は如何されるか調整願う。

議長より、332-C 地区 佐藤 前ガバナーからの追加文書が紹介され、支援依頼は取り下げられたとの認識で合意した。

了 承

2. ライオンズフォーラム in 高松 (9/15) の件

本年9月15日に「ライオンズフォーラム in 高松」を開催します。

複合地区の委員長、コーディネーター各位の派遣を願いたく、議長に依頼申し上げます。

《内容》 (カタログ・プログラムを参照ください)

- ・ 第3回女性会員フォーラム(分科会)
- ・ クラブ支部フォーラム(分科会)
- ・ LCIF セミナー(分科会)

渡部議長には全体会開会式にてご挨拶賜れば幸いです。

松前ガバナーからの依頼を受け、複合地区役員に対して積極的に参加されることを議長より依頼する。

了 承

III. 大会参加・迎接・プロトコール委員長

福 永 栄 一

1. 第52回 OSEAL フォーラムについて

(1) 案内並びに MD336 のタベ開催について

(報告事項 P. 29~41)

2013年11月7日~10日シンガポールで開催されます第52回 OSEAL フォーラムに、日本から3,500名の参加が現地ホスト委員会より要望されております。336 複合地区としてオフィシャルコースを作成し、6月末までに各クラブへご案内いたしました。

なお、このオフィシャルコースは、東洋東南アジアフォーラムについて各クラブにお知らせするもので、クラブが独自のコースを作成し、できるだけ多くの会員が参加されることを促進する意味もあります。

また、336 複合地区の参加者全員が一堂に会す MD336 のタベを11月8日に開催いたします。開催時間はジャパンレセプション開催時間決定後に検討したいと思います。各地区より多数の参加をお願いします。

(2) 国際会長歓迎晩餐会について

- ① 日 時 2013年11月9日(土) 19:00~22:00
- ② 場 所 マリーナベイサンズ・シンガポール
- ② 登録料 130 US\$

(フォーラム開催2カ月前位に MD 単位で参加者を募集予定)

午後からの連絡会議において福永委員長より説明いただく。

了 承

報 告 事 項

- I. 336 複合地区ガバナー協議会議長 渡 部 雅 文
1. 第 1 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録 当日配布 P. 7～9
 2. 336 複合地区第 1 回臨時ガバナー協議会要録 (報告事項 P. 1～3)
 3. 第 96 回国際大会報告書 (報告事項 P. 4～10)
 4. 第 99 回国際大会ホスト委員会事務局開設のご案内 (報告事項 P. 11)
 5. 国際本部からの到着文書
 - ① 国際会長からのメッセージ (地区ガバナー宛) (報告事項 P. 12～16)
 - ② 国際会長からのメッセージ (元国際理事宛) (報告事項 P. 17)
 - ③ 国際会長からのメッセージ (元地区ガバナー宛) (報告事項 P. 18)
 - ④ 国際会長からのメッセージ (会員宛) (報告事項 P. 19)
 - ⑤ ニュースワイヤー (報告事項 P. 20～25)
 - ⑥ ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト (報告事項 P. 26～27)
 - ⑦ ハンブルグ国際大会での会則改正について 当日配布 P. 10～11
 - ⑧ LCIF 理事長からの文書 当日配布 P. 12～13

渡部議長より説明があり、了承された。

以下の事項については連絡会議で報告いただく。

- II. LCIF コーディネーター 大 羽 義 定
1. 複合地区・地区 LCIF コーディネーター役員について (報告事項 P. 28)
 2. 第 1 回 336 複合地区 LCIF コーディネーター会議要録 当日配布 P. 14～16
- III. 大会参加・迎接・プロトコール委員長 福 永 栄 一
1. 第 52 回 OSEAL フォーラム案内について (報告事項 P. 29～41)
- IV. 環境保全・保健福祉委員長 菅 武 廣
1. 第 1 回準地区環境保全・保健福祉委員長連絡会議要録 当日配布 P. 17～18
- V. 国際理事支援委員長 山 地 章 靖
1. 第 1 回国際理事支援委員会要録 当日配布 P. 19～20
- VI. 前年度の報告事項
1. 第 10 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録 (報告事項 P. 42～46)
 2. 現・次期協議会議長引継ぎ会議要録 (報告事項 P. 47～48)
 3. 次期協議会議長会議要録 (報告事項 P. 49～50)
 4. 第 10 回東日本大震災復興支援対策本部会議要録 (報告事項 P. 51～53)
 5. 日本ライオンズ連絡事務所からの到着文書
 - ① 各地区活動状況一覧表 (2013 年 4～6 月分) (報告事項 P. 54～56)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| ② 2012-2013 年度下半期結成ライオンズクラブ | (報告事項 P. 57～58) |
| ③ LCIF 拠出金一覧表 (2013 年 5 月分) | (報告事項 P. 59～60) |
| ④ LCIF 拠出金一覧表 (2013 年 6 月分) | 当日配布 P. 21～22 |
| 6. 第 3 回複合地区会則委員長連絡会議要録 | (報告事項 P. 61～65) |
| 7. 第 4 回複合地区 IT 委員長【ウェブ】連絡会議要録 | (報告事項 P. 66～68) |
| 8. 第 3 回準地区 PR・情報・IT 委員長【ウェブ】連絡会議要録 | (報告事項 P. 69～73) |
| 9. 第 5 回準地区 YCE 委員長連絡会議要録 | (報告事項 P. 74～77) |
| 10. 第 11 回ライオン誌日本語版委員会報告書 | (報告事項 P. 78～80) |
| 11. 第 12 回ライオン誌日本語版委員会報告書 | (報告事項 P. 81～83) |

第 1 回ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議

3. 議長挨拶

議長 渡部 雅文

本日は足元の悪い中、遠方よりお越しいただきましてありがとうございます。

山口・島根では先週末からの豪雨により大変な被害が出ているようでございます。先ほど緊急援助資金委員会を急遽開催し、D地区へ200万円を見舞金として拠出することを決定いたしました。

今年度一年間、4名のガバナーと運営していきますのでよろしくお願いいたします。

4. 顧問ご挨拶

国際理事 武久 一郎

先日の国際理事会については、あらためて文書で報告があると思います。清水国際理事が私と同じ委員会に所属することになりましたが、これは大変異例なことでございます。10月初めにはオーストラリアで国際理事会がございまして、スペインのマルベリャ国際理事会でクラブ支部に関する改正がございました。これは即時実行ということになっております。日本で会員を増強しなければならない、第二副会長の意向は会員数を3倍にしたいということです。ご意向に沿うべく努力をしなければならないと思っております。ご理解をお願い申し上げます。

元国際理事 谷野 徹

渡部議長、新しいガバナーの皆様おめでとうございます。昨年度の議長・ガバナーの皆様にはお疲れ様でした。ハンブルグで山田元理事が第二副会長に就任されました。日本では二人目、34年ぶりのことでございます。就任されましたからには全員で支えたいと思います。336複合地区が円滑に運営されますようご協力のほどよろしくお願いいたします。

元国際理事 藤井 基博

今年度第1回目の会議でございます。運営委員長に宗像さんが就任されましたが、ベテランの方でいらっしゃるの安心しております。

会員増強の問題、支部の問題がございまして、国際協会は手法を変えて会員増強を提案してきます。日本は会員数10万人を割ろうとしております。キャビネット・クラブにおいて、会員が多かった時のやり方のままでは無理が生じます。会員が6割程度減少しているため運営を変えなければならない、どうすれば本当の意味の改革ができるか、クラブ・キャビネットに考えていただくようお願いしたいと思います。

336複合が飛躍発展できますよう皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っております。

5. 前議長・ガバナーへ記念品贈呈

渡部議長より、前年度ガバナー協議会構成員5名へ御礼が述べられ、記念品が贈呈された。

6. お礼のことば

寺越元議長より、前年度議長・ガバナーを代表して謝辞が述べられた。

ガバナー協議会 協議事項

I. 336 複合地区ガバナー協議会議長 渡 部 雅 文

1. 2013～2014 年度 336 複合地区組織表および各役員の委嘱について 別紙 1 (P. 4)

各役員の委嘱状を 7 月 9 日付で議長名にて作成し、各クラブへ発送した。

アラート委員長を委嘱していないが、必要に応じて岡村元ガバナーに対応を依頼することとした。

委員会担当ガバナーについて

委 員 会	担当ガバナー
会則・運営マニュアル編集	(D) 坂根
GMT (会員・EXT・会員維持)	(C) 池田
GLT (指導力育成)	(B) 井上
PR・ライオンズ情報・IT	(C) 池田
YCE・国際関係	(A) 松前
青少年・ライオンズクエスト	(B) 井上
大会参加・迎接・プロトコール	(C) 池田
環境保全・保健福祉	(A) 松前
LCIF	(D) 坂根

ガバナーの委員会への出席について、担当ガバナーは極力出席、他ガバナーの出席は任意とすることを臨時ガバナー協議会で申し合わせた。

2. 336 複合地区各種規定について

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| (1) 336 複合地区旅費規定 | 別紙 2 (P. 5) |
| (2) 336 複合地区ガバナー協議会事務局運営委員会規定 | 別紙 3 (P. 6) |
| (3) 336 複合地区慶弔規定 | 別紙 4 (P. 7) |
| (4) 336 複合地区ガバナー協議会事務局規定 | 別紙 5 (P. 8) |
| (5) 336 複合地区緊急援助資金規定 | 別紙 6 (P. 9) |
| (6) 336 複合地区委員会運営内規 | 別紙 7 (P. 10) |
| (7) 336 複合地区事務局 就業規則 (案) | 別紙 8 (P. 11～12) |

- ・ 職員の職制を明記する。
- ・ 欠勤・遅刻・早退の届け出方法を現状に即した記載にする。
- ・ 年次有給休暇を労働基準法に基づいた内容に変更する。
- ・ 定年年齢を労働基準法の指導に基づき変更する。

(8) 336 複合地区事務局 給与規則 (案) 別紙 9 (P. 13～14)

- ・ 退職金の支給範囲を 3 年以上勤続者に変更、また懲戒解雇の場合は支給しないことを明記する。

事務局就業規則および事務局給与規則について、前年度第 5 回ガバナー協議会、今年度第 1 回臨時ガバナー協議会での意見をまとめた改定案の説明があった。

就業規則改定案について、懲戒解雇に関する規定が明記されていないとの意見があり、就業規則改定案・給与規則改定案については再検討されることとなった。

3. 336 複合地区費、複合地区大会費の振込銀行について 別紙 10 (P. 15)
今年度振込銀行について了承した。

4. 336 複合地区第 60 回年次大会について

- (1) 開催年月日 2014 年 5 月 18 日(日)
(2) 開催場所 倉敷市民会館 (倉敷市本町 17-1)
倉敷アイビースクエア (倉敷市本町 7-2)
(3) ホストクラブ 336-B 地区 (4R2Z の 5 クラブ)
玉島 LC、倉敷水島 LC、倉敷南 LC、
倉敷西 LC、水島中央 LC
(4) 大会委員長 畑野 健三 (倉敷西 LC)
ホストクラブに開催準備を依頼することを申し合わせた。第 2 回ガバナー協議会までに予算案等を提案いただく。

5. 2012～2013 年度 336 複合地区会計報告並びに監査報告 別紙 11 (P. 16～22)
岡村前会計より報告があり、続いて、山地前年度監査委員より監査報告があった。複合地区役員の上承が得られた。

6. 336 複合地区 2013～2014 年度予算(案)について 別紙 12 (P. 23)
池田会計より、予算案の説明があった。
会員数の減少による会費収入減から、赤字予算を組まざるを得ないことが説明された。
前年度は会議出席者を見直すことで旅費交通費の減額を図ったが、今後さらに支出を抑える努力をすることを積極的に検討するとし、今年度予算案は原案どおりとすることで複合地区役員に理解を求められた。

7. 336 複合地区年間計画について

第 1 回ガバナー協議会	2013 年 8 月 1 日 (木)	[D 地区] 松江市
第 2 回ガバナー協議会	2013 年 10 月 19 日 (土)	[A 地区] 高松市
第 3 回ガバナー協議会	2014 年 1 月 25 日 (土)	[C 地区] 広島市
第 4 回ガバナー協議会	2014 年 3 月 28 日 (金)	[B 地区] 倉敷市
(次期五役研修会・報告会)	2014 年 3 月 29 日 (土)	
第 5 回ガバナー協議会	2014 年 6 月初旬	倉敷市

ガバナー協議会出席者について、第 1 回～第 4 回はガバナー協議会構成員と事務局運営委員会、第 5 回は、現・次期ガバナー協議会構成員と現・次期事務局運営委員会のみとする。

第 1 回～第 4 回ガバナー協議会の午後には「ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議」を開催する。

前年度変更された「ガバナー協議会報告会・委員長連絡会議」の名称を、今回より「ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議」に変更した。

8. ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議出席者について

- ・ 顧問（第1回、第2回、第3回、第4回）
- ・ 第1副地区ガバナー（第1回、第2回、第3回、第4回）
- ・ 第2副地区ガバナー（第1回、第2回、第3回、第4回）
- ・ IT専門委員（第1回目のみ）
- ・ 年次大会委員長（必要のある場合のみ）

複合地区役員よりガバナー協議会へ文書で提案が出された場合、提案者は必要に応じてオブザーバーとしてガバナー協議会に出席し、提案理由の説明を加えることができることを申し合わせた。

9. 国際会長公式訪問(西)について

(1) 開催日程 2013年11月22日(金)

(2) 開催場所 グランドプリンスホテル広島

現在、ガバナー協議会で素案を作成中である。国際会長のスケジュールが判明次第、今後検討し、開催案を作成して提示する。

10. 各委員長年間活動方針

別紙13 (P.24～25)

資料に基づき、各委員長より報告があった。

また、その他の委員会活動方針について各委員長より報告があった。

・岡村会則委員長

運営マニュアル第15版の記載内容について報告があった。プロトコール表の一部を訂正する。

・寺越 GMT 委員長

委員会としてはコーディネーターと協力して会員増強ができるよう施策を考えていきたい。

・一井 GLT 委員長

GLTの内容が理解されるよう努力したい。

今年度の次期五役研修会は時間を十分にとっていただきたい。

他複合地区では、年次大会で指導力育成に関する企画を考えているところもある。336でも年次大会で企画していただきたい。

・玉浦 IT 委員長

各クラブともHPの充実が図られている。まだ開設されていないクラブにはキャビネットを通じて働きかけていきたい。

今年度は4回の会議を予定しており、第1回目のみ事務局で会議をし、2回目以降はWEB会議を開催したい。各地区内においてもWEB会議の開催を計画していただきたい。

・福永大会参加委員長

OSEAL フォーラムについてはオフィシャルエージェントを決定し、今年度の案内を発送している。多数の参加を依頼する。

・管環境保全・保健福祉委員長

昨年度は9月下旬に第1回目の会議を開催したが、今年度は7月中に開催し、献血推進団体との意見交換会もすでに行われた。

ライオンズ環境保全写真コンテストへの応募が少ない。今年度は積極的に応募を呼びかけていただきたい。

・山地 GMT コーディネーター

会員増強について毎年苦慮しているところであるが、全国レベルで見れば334が家族会員の増強により大幅に伸ばしている。来月複合地区コーディネーター会議が開催される。8複合会議で得た情報を336複合地区内に提供していく。

・大羽 LCIF コーディネーター

6月に次期地区コーディネーターセミナーが行われた。今年度よりガバナー経験者を地区コーディネーターに委嘱するよう依頼されていたが、336ではA地区のみ対応されている状況である。将来的にはB,C,D地区においても対応をお願いしたい。また、ガバナー公式訪問でクラブにPRをお願いしたい。

11. その他

(1) MD336 運営マニュアル《第15版》の活用について

今年度ガバナー協議会として「MD336 運営マニュアル《第15版》」を活用することを申し合わせた。

なお、P.70記載のプロトコール表を訂正し、〔地区監査委員・地区委員〕をキャビネット副会計の下に記載する。複合事務局より、各地区キャビネットを通じて訂正文を発信する。

(2) 第23回世界スカウトジャンボリーへの支援に関して (当日配布) P.1~6

資料に基づき、岡村D地区前ガバナーより説明があった。

前回のスカウトジャンボリーの際にも、開催地区の準地区が活動方針を出し、全国へ派生した。今回のスカウトジャンボリーに関して、D地区キャビネット会議で支援内容を協議した結果、会員一人当たりの支援金を336-D地区は3,000円、336-A,B,C地区は2,000円、他MDは1,000円とし、議長連絡会議を通じて任意のアクティビティとして協力を依頼する。

日本ジャンボリーに指定口座を開設いただき、ライオンズからの支援金を直接送金されるよう申し入れる。

この件に関して、ガバナー協議会で引き続き協議する。

II. 336-A地区ガバナー

松 前 龍 宗

1. 東日本大震災 LCIF の件

別紙14 (P.26~28)

会員一人あたり3,000円のLCIF指定支援金が、332地区より各準地区へ文書で依頼された件について、他の地区は如何されるか調整願う。

議長より、332-C地区 佐藤 前ガバナーからの追加文書により、支援依頼が取り下げられたとの説明があった。

2. ライオンズフォーラム in 高松 (9/15) の件

本年 9 月 15 日に「ライオンズフォーラム in 高松」を開催します。
複合地区の委員長、コーディネーター各位の派遣を願いたく、議長に依頼申し上げます。

《内容》 (カタログ・プログラムを参照ください)

- ・ 第 3 回女性会員フォーラム(分科会)
- ・ クラブ支部フォーラム(分科会)
- ・ LCIF セミナー(分科会)

渡部議長には全体会開会式にてご挨拶賜れば幸いです。

松前 A 地区ガバナーより、複合地区役員に出席の要請があった。

III. 大会参加・迎接・プロトコール委員長

福 永 栄 一

1. 第 52 回 OSEAL フォーラムについて

(1) 案内並びに MD336 の夕べ開催について (報告事項 P. 29~41)

2013 年 11 月 7 日～10 日シンガポールで開催されます第 52 回 OSEAL フォーラムに、日本から 3,500 名の参加が現地ホスト委員会より要望されております。336 複合地区としてオフィシャルコースを作成し、6 月末までに各クラブへご案内いたしました。

なお、このオフィシャルコースは、東洋東南アジアフォーラムについて各クラブにお知らせするもので、クラブが独自のコースを作成し、できるだけ多くの会員が参加されることを促進する意味もあります。

また、336 複合地区の参加者全員が一堂に会す MD336 の夕べを 11 月 8 日に開催いたします。開催時間はジャパンレセプション開催時間決定後に検討したいと思います。各地区より多数の参加をお願いします。

(2) 国際会長歓迎晩餐会について

- ① 日 時 2013 年 11 月 9 日(土) 19:00～22:00
- ② 場 所 マリーナベイサンズ・シンガポール
- ② 登録料 130 US\$

(フォーラム開催 2 カ月前位に MD 単位で参加者を募集予定)

福永委員長より、説明があった。

- ・ オフィシャルエージェントは(株)近畿日本ツーリスト中国四国 岡山支店に決定。
 - ・ フォーラム委員会より日本から 3,500 名の参加要請があった。多数の参加をお願いしたい。
 - ・ 336 の夕べ開催時間・登録料は追って連絡する。
 - ・ 国際会長晩餐会は複合地区の割り当て人数が決定後に案内をする。
 - ・ ジャパンレセプションは開催日が決定後に連絡する。
 - ・ 複合事務局への参加者名簿提出〆切は 9/10
 - ・ オフィシャルコース申込み〆切は 9/3
- マリーナベイサンズホテルの宿泊を希望される際には申込金 50,000 円が必要。

以上、協議事項に関して渡部議長他各提案者より説明があり、意見交換が行われ了承された。

報 告 事 項

- I. 336 複合地区ガバナー協議会議長 渡 部 雅 文
1. 第 1 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録 当日配布 P. 7～9
公認プロトコールのうち、元ガバナーはアルファベット順とされていることについて、寺越元議長より他複合地区の状況が報告された。
必携の記載がアルファベット順に変更されたことを認知されていない地区も多くあり、現状では年度順のままである。
2. 336 複合地区第 1 回臨時ガバナー協議会要録 (報告事項 P. 1～3)
3. 第 96 回国際大会報告書 (報告事項 P. 4～10)
4. 第 99 回国際大会ホスト委員会事務局開設のご案内 (報告事項 P. 11)
5. 国際本部からの到着文書
- ① 国際会長からのメッセージ (地区ガバナー宛) (報告事項 P. 12～16)
- ② 国際会長からのメッセージ (元国際理事宛) (報告事項 P. 17)
- ③ 国際会長からのメッセージ (元地区ガバナー宛) (報告事項 P. 18)
- ④ 国際会長からのメッセージ (会員宛) (報告事項 P. 19)
- ⑤ ニュースワイヤー (報告事項 P. 20～25)
- ⑥ ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト (報告事項 P. 26～27)
- ⑦ ハンブルグ国際大会での会則改正について 当日配布 P. 10～11
- ⑧ LCIF 理事長からの文書 当日配布 P. 12～13
- II. LCIF コーディネーター 大 羽 義 定
1. 複合地区・地区 LCIF コーディネーター役員について (報告事項 P. 28)
2. 第 1 回 336 複合地区 LCIF コーディネーター会議要録 当日配布 P. 14～16
- III. 大会参加・迎接・プロトコール委員長 福 永 栄 一
1. 第 52 回 OSEAL フォーラム案内について (報告事項 P. 29～41)
- IV. 環境保全・保健福祉委員長 菅 武 廣
1. 第 1 回準地区環境保全・保健福祉委員長連絡会議要録 当日配布 P. 17～18
- V. 国際理事支援委員長 山 地 章 靖
1. 第 1 回国際理事支援委員会要録 当日配布 P. 19～20
国際会長公式訪問について、ガバナー協議会の計画に基づき、支援委員会として協力することを申し合わせている。また、今年度委員会の組織表を確認いただきたい。
- VI. 前年度の報告事項
1. 第 10 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録 (報告事項 P. 42～46)
2. 現・次期協議会議長引継ぎ会議要録 (報告事項 P. 47～48)

3. 次期協議会議長会議要録 (報告事項 P. 49～50)
4. 第 10 回東日本大震災復興支援対策本部会議要録 (報告事項 P. 51～53)
5. 日本ライオンズ連絡事務所からの到着文書
 - ① 各地区活動状況一覧表 (2013 年 4～6 月分) (報告事項 P. 54～56)
 - ② 2012-2013 年度下半期結成ライオンズクラブ (報告事項 P. 57～58)
 - ③ LCIF 拠出金一覧表 (2013 年 5 月分) (報告事項 P. 59～60)
 - ④ LCIF 拠出金一覧表 (2013 年 6 月分) 当日配布 P. 21～22
6. 第 3 回複合地区会則委員長連絡会議要録 (報告事項 P. 61～65)
7. 第 4 回複合地区 IT 委員長【ウェブ】連絡会議要録 (報告事項 P. 66～68)
8. 第 3 回準地区 PR・情報・IT 委員長【ウェブ】連絡会議要録 (報告事項 P. 69～73)
9. 第 5 回準地区 YCE 委員長連絡会議要録 (報告事項 P. 74～77)
台湾 YCE 委員長歓迎会を開催し、議長・ガバナーに出席いただいた。
10. 第 11 回ライオン誌日本語版委員会報告書 (報告事項 P. 78～80)
11. 第 12 回ライオン誌日本語版委員会報告書 (報告事項 P. 81～83)
ライオン誌新書「ライオンズ力を高める」(1 部 500 円)が発行された。活用いただきたい。

以上、渡部議長他関係委員長並びにコーディネーターより説明があり、了承された。

8. その他

一井委員長より、ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議に会議名が変更され、運営の在り方が大きく変更されようとしていることについては評価できるが、ガバナー協議会と連絡会議の関係、あり方について継続的に検討いただきたいとの要望があった。

協 議 事 項

I. 336 複合地区ガバナー協議会議長

渡 部 雅 文

1. 336 複合地区第 60 回年次大会について

(1) 開 催 年 月 日

- ・ 2014 年 5 月 17 日(土) 記念ゴルフ大会・前夜祭
- ・ 2014 年 5 月 18 日(日) 代議員分科会・代議員総会・大会式典

(2) 開 催 場 所

別紙 1 (P. 3～4)

- ・ 前夜祭 ……………倉敷アイビースクエア (フローラルコート)
- ・ 記念ゴルフ大会……吉備カントリークラブ、倉敷カントリー倶楽部、鬼ノ城ゴルフ倶楽部
- ・ 代議員分科会……倉敷市民会館 (第 1、第 3 分科会)
倉敷アイビースクエア (第 2 分科会)
- ・ 代議員総会・大会式典……倉敷市民会館

(3) 大会プログラム(案)

別紙 2 (P. 5)

(4) 大会運営組織構成表(案)

別紙 3 (P. 6)

(5) 大会事務局

〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F

TEL:086-234-0695 FAX:086-234-0495

E-mail: admin@lions-md336.org

[ホストクラブ事務局]

〒710-0253 岡山県倉敷市新倉敷駅前 5-203 セントイン倉敷 209 号室

TEL:086-441-8468 FAX:086-441-8469

E-mail: lc336md60th@yahoo.co.jp

[ホストクラブ]

336-B 地区 4R2Z 5 クラブ

玉島 LC、倉敷水島 LC、倉敷南 LC、倉敷西 LC、水島中央 LC

[第 60 回年次大会委員長]

畑野 健三 (倉敷西 LC)

(6) 大会予算書(案)

別紙 4 (P. 7)

全地区全クラブより、必ず定数の代議員派遣をお願いしたい。

(7) 大会登録料

なし

前夜祭登録料 11,000 円

記念ゴルフ大会登録料 5,000 円

(8) 予備登録締切

2014 年 1 月 31 日(金)

本登録締切

2014 年 3 月 28 日(金)

渡部議長より資料を基に準備状況が説明された。

複合地区大会費が値上げされたことに伴い大会登録料を無料としたことを含め、
予算案についても了承された。

一 括 了 承

2. 国際会長公式訪問(西)について

別紙5 (P. 8~11)

- (1) 開催日程 2013年11月22日(金)
- (2) 開催場所 グランドプリンスホテル広島
- (3) 参加人数 300名(A地区50名、B地区50名、C地区150名、D地区50名)
- (4) 登録料 15,000円/人
- (5) 協力金 400,000円/MD

福永迎接委員長、並びにC地区久保幹事より資料を基に準備状況の説明があり、意見交換があった。

- ・ 国際会長公式訪問が主行事である。山田第二副会長セミナーのみでなく、セミナーと公式訪問、合わせての参加をお願いしたい。
- ・ 広島平和公園、表敬訪問等の随行者を確認した。
- ・ 昼食の会費(7,000円)の徴収範囲、同席する範囲は、参加希望状況を勘案して今後検討する。
- ・ 参加者の宿泊については連休前であるため会場ホテルの空室が少なく、広島市内も含めて確保している。なるべくプロトコールを優先して配宿する。
- ・ シャトルバスの増便を予定している。利用希望数を事前に把握したい。
- ・ 公式訪問では、議長・ガバナーのみ白タキシード着用とする。
- ・ 武久理事より、国際会長は会員増強を達成したクラブ会長との意見交換を希望されているとの説明があった。各地区で1名程度、対象のクラブ会長に出席を要請する。

一括了承

3. 第1回LCIFクラシックゴルフ JAPANについて

別紙6 (P. 12~13)

- (1) 開催日程 2013年11月14日(木)
- (2) 開催場所 京和カントリークラブ(愛知県豊田市)

336複合地区からは参加希望者がなかったことが報告された。

了承

4. 第99回ライオンズクラブ国際大会ホスト委員会組織編成について

別紙7 (P. 14)

監査委員は寺越元議長に依頼、常任委員は渡部議長とすることを申し合わせた。

了承

5. 創立100周年記念計画委員長選任について

別紙8 (P. 15)

他複合地区の人選状況を確認の上、あらためて検討する。

了承

6. 2014~2015年度336複合地区ガバナー協議会議長選出地区について

議長選出地区ローテーションに従い、2014-2015年度議長は336-A地区より選出されることを確認した。

336-A 地区内で次年度議長予定者を推薦し、第 3 回ガバナー協議会までに提案する。なお、人選については複合地区会則第 5 条により、次期ガバナー（ガバナーエレクト）が会合を開いて選任または選出するとされているため、今後手順を踏んで決定する。

この件に関して、武久理事より国際理事会での協議内容が報告された。協議会議長の要件は、就任する時点で、前・元ガバナーになっていなければならないとされているが、ガバナーの中から選出されるべきであるとの意見があり、今後、協議会議長の要件は変更される見込みである。

了 承

7. 2012-2013 年度トップテン・ユースキャンプおよび交換委員長賞について

別紙9 (P. 16~18)

336-B 地区河合 前 YE 委員長、336-C 地区岡本 前委員長のどちらかを推薦することとし、B,C 地区ガバナーとで協議し決定することとされた。推薦地区において申請書を作成し、11 月 5 日までに複合事務局宛に送付する。会議後に、B 地区 河合前 YCE 委員長を推薦することを決定した。

了 承

II. GLT コーディネーター

光 貞 正 明

1. 公認ガイディングライオン、CEP の認知を図りたい

標記の件が、クラブ、ゾーン等でどれくらいどのように認知されているか。RC、ZC を通じて把握する必要があるとともに、これの普及を図っていく必要がある。

ライオンズの用語、プログラム等は、メンバーに広く周知する必要がある。連絡会議において、光貞コーディネーターより詳細な議案説明をいただく。

了 承

III. GLT 委員長

一 井 淳 治

1. 副地区ガバナーの研修について

別紙 10 (P. 19)

第二副地区ガバナー自身が、ガバナー就任までに国際本部から送付される資料を十分活用し理解を深めること、準地区での研修を充実させることも必要である、等の意見があった。

一井委員長より、次期五役研修会の内容を見直すことも検討するが、GLT 委員会において副地区ガバナー研修を計画する際には、現元国際理事、議長にも講師として協力いただきたいとの要望があった。

副地区ガバナー研修については、今後、GMT 委員長と相談して検討する。

2. 次年度からの、組織表、会計予算の改正について

別紙 11 (P. 20)

一井委員長より、第一副地区ガバナーが良いスタートを切れるように、次年度の組織、予算等を早めに提案し、検討されるべきであるとの議案説明があった。

一 括 了 承

IV. 大会参加・迎接・プロトコール委員長

福永 栄一

1. 第 52 回 OSEAL フォーラム(シンガポール)「MD336 の夕べ」次第(案)について

別紙 12 (P. 21)

福永委員長より、シンガポールフォーラムの最新情報を含め、説明があった。

- ・ 「MD336 の夕べ」式次第案は、当日の状況によって臨機応変に対応するとし、原案通り了承された。

会場はマリーナベイサンズホテルから 10 分程度の場所であるため、19:00 頃にホテルを出発し、バスで会場へ移動する予定である。

- ・ ジャパンナイトは招待制。招待状は MD10 枚、地区 5 枚ずつであり、招待状 1 枚につき 1 名（夫妻は 1 枚でよい）となっている。

2. 第 97 回国際大会(トロント)について

別紙 13 (P. 22)

2014 年 7 月 4 日～7 月 8 日、トロント（カナダ）で開催される第 97 回国際大会には、336 複合地区内より多数参加されるよう登録推進をお願いしたい。

早期登録（1 月 10 日まで）は 110US\$、普通登録（3 月 31 日まで）は 150US\$、後期登録（4 月 1 日以降）は 170US\$となるため、大会登録案内は早期登録に間に合うよう 11 月初旬までに各クラブ宛に発送する。また、現在のところ割り当てホテルが未定であるため、オフィシャルコースについてはホテル決定後に、各クラブ宛案内を発送する。

336 複合地区の参加者全員が一堂に会す MD336 の夕べを開催いたしたく、承認願いたい。各クラブへの案内文書、並びに 336 の夕べの会場および日程は、後日、ガバナー協議会構成員各位と協議の上決定する。

なお、336 複合地区オフィシャル・エージェントは、(株)近畿日本ツーリスト中国四国岡山支店とする旨、第 3 回臨時ガバナー協議会において承認済み。

福永委員長より、トロント国際大会について現時点での最新情報の説明があった。

一 括 了 承

報 告 事 項

- I. 336 複合地区ガバナー協議会議長 渡 部 雅 文
1. 第 2 回議長連絡会議要録 (報告事項 P. 1～3)
 2. 臨時議長連絡会議要録 当日配布 P.1～2
 3. 第 3 回議長連絡会議要録 当日配布 P.3～5
 4. 第 1 回東日本大震災復興支援対策本部会議要録 (報告事項 P. 4～6)
 5. 第 2 回東日本大震災復興支援対策本部会議要録 (報告事項 P. 7～8)
 6. 336 複合地区第 2 回臨時ガバナー協議会要録 (報告事項 P. 9～11)
 7. 336 複合地区第 3 回臨時ガバナー協議会要録 (報告事項 P. 12～13)
 8. 336 複合地区緊急援助資金委員会要録 (報告事項 P. 14～16)
 9. 平成 25 年 7 月山口・島根豪雨災害支援の御礼 (報告事項 P. 17)
 10. 平成 25 年岩手・秋田豪雨災害支援の御礼 (報告事項 P. 18)
 11. 山田国際第二副会長による会員倍増計画について
 - ① 第二副会長と議長との懇話会 (8/2) 資料 (報告事項 P. 19～21)
 - ② 第二副会長からの発信文書 (8/28) (報告事項 P. 22～25)
 - ③ GMT リーダーからの発信文書 (9/11) (報告事項 P. 26～30)
 - ④ GMT リーダーからの発信文書 (10/3) (報告事項 P. 31～32)
 - ⑤ 第 3 回議長連絡会議 (10/1) 配布資料 (報告事項 P. 33～37)
 12. 国際本部からの到着文書
 - ① ハンブルグ国際理事会決議事項要約 (報告事項 P. 38～42)
 - ② 2013-2014 年度アワード受賞基準について (報告事項 P. 43～47)
 - ③ 四半期ごとに授与される国際会長からの賞 (報告事項 P. 48)
 - ④ 会員増強アワード (報告事項 P. 49～50)
 - ⑤ ニュースワイヤー (報告事項 P. 51～54)
 - ⑥ LCIF 関連情報 (報告事項 P. 55～58)
 - ⑦ 国際会長より地区ガバナー宛文書 当日配布 P.6～7
 - ⑧ 国際会長よりクラブ会長宛文書 当日配布 P.8～9
 13. 日本ライオンズ連絡事務所からの到着文書
 - ① 各地区活動状況一覧表 (2013 年 6 月) (報告事項 P. 59)
 - ② 各地区活動状況一覧表 (2012-2013 年度下半期) (報告事項 P. 60)
 - ③ 各地区活動状況一覧表 (2012-2013 年度) (報告事項 P. 61)
 - ④ 2013-2014 年度上半期結成ライオンズクラブ (報告事項 P. 62)
 - ⑤ 2012-2013 年度ライオンズクラブ結成状況 (報告事項 P. 63～66)
 - ⑥ レオクラブ・ライオネスクラブ一覧表 (報告事項 P. 67～71)
 - ⑦ LCIF 拠出金一覧表 (2013 年 7～8 月分) (報告事項 P. 72～75)
 - ⑧ LCIF 拠出金一覧表 (2013 年 9 月分) 当日配布 P.10～11
- II. GMT コーディネーター 山 地 章 靖
1. 第 1 回 8 複合地区 GMT コーディネーター会議要録 (報告事項 P. 76～77)
- III. GMT 委員長 寺 越 慎 一
1. 第 1 回 336 複合地区 GMT コーディネーター・委員長合同会議要録 (報告事項 P. 78～82)

IV.	GLT コーディネーター	光 貞 正 明
1.	8 複合地区 GLT コーディネーター会議要録	(報告事項 P. 83~86)
2.	334~337 複合地区合同 GLT 会議開催について	(報告事項 P. 87)
V.	GLT 委員長	一 井 淳 治
1.	第 1 回 336 複合地区 GLT 合同会議要録	(報告事項 P. 88~91)
VI.	会則・運営マニュアル編集委員長	光 貞 正 明
1.	第 1 回複合地区会則委員長連絡会議要録	(報告事項 P. 92~95)
2.	ライオンズ必携第 53 版主な改訂箇所一覧表	(報告事項 P. 96~103)
3.	第 1 回 336 複合地区会則・運営マニュアル編集委員長連絡会議要録	(報告事項 P. 104~105)
VII.	PR・ライオンズ情報・IT 委員長	玉 浦 巖
1.	第 1 回準地区 PR・ライオンズ情報・IT 委員長連絡会議要録	(報告事項 P. 106~107)
VIII.	YCE・国際関係委員長	宇 高 昭 造
1.	第 1 回複合地区 YCE 委員長連絡会議要録	(報告事項 P. 108~111)
2.	第 1 回準地区 YCE 委員長連絡会議要録	(報告事項 P. 112~115)
IX.	大会参加・迎接・プロトコール委員長	福 永 栄 一
1.	第 1 回複合地区国際大会委員長連絡会議要録	(報告事項 P. 116~118)
2.	複合地区国際大会委員長連絡会議【小委員会】要録	(報告事項 P. 119~120)
3.	第 2 回複合地区国際大会委員長連絡会議要録	当日配布 P.12~21
4.	第 52 回 OSEAL フォーラム日程表 (10/7 現在)	(報告事項 P. 121)
5.	第 52 回 OSEAL フォーラム MD336 参加者数	(報告事項 P. 122~124)
X.	環境保全・保健福祉委員長	菅 武 廣
1.	平成 25 年度献血推進団体との意見交換会議事要旨	(報告事項 P. 125~132)
XI.	国際理事候補者選挙管理委員会委員	迫 越 正 彦
1.	第 1 回国際理事候補者選挙管理委員会会議要録	(報告事項 P. 133~138)
XII.	ライオン誌日本語版委員	組 嶽 晶 一
1.	第 1 回ライオン誌日本語版委員会報告書	(報告事項 P. 139~141)
2.	2012-2013 年度ライオン誌日本語版事務所監査委員報告	(報告事項 P. 142~143)
3.	2012-2013 年度ライオン誌日本語版委員会年次報告	(報告事項 P. 144~145)
4.	第 2 回ライオン誌日本語版委員会報告書	(報告事項 P. 146~148)
5.	第 3 回ライオン誌日本語版委員会報告書	(報告事項 P. 149~150)
XIII.	2012-2013 年度日本レベル監査委員	倉 益 芳 太
1.	2012-2013 年度日本ライオンズ連絡事務所会計報告書	(報告事項 P. 151~160)
2.	2011-2013 年度東日本大震災義捐金口座会計報告書	(報告事項 P. 161~169)
3.	2012-2013 年度日本ライオン誌日本語版事務所会計報告書	(報告事項 P. 170~175)

第2回ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議

3. 議長挨拶

議長 渡部 雅文

本日は、ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議ということで、先般の第2回ガバナー協議会の報告、複合地区役員の方からの提案事項の説明および報告等を行います。スムーズに進行できますようご協力よろしくお願いいたします。

4. 顧問ご挨拶

元国際理事 谷野 徹

第2回目のガバナー協議会・複合地区役員連絡会議です。新体制がスタートして100日ほどになりますが、各地区ともスムーズな運営をされていることと思います。

先日、現・元国際理事の会議があり、その席で山田第二副会長から会員倍増計画の話がございました。本日の会議の主な議題になると思います。理解できない部分もありましたが、今後どのようにすべきか皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。37年ぶりに日本から出る国際会長を盛り立てて、日本ライオンズの会員増強を図らなければなりません。その前に解決していかなければならない問題があると思います。この会議で素晴らしい成果が得られるよう祈念いたします。

元国際理事 藤井 基博

先ほど谷野元理事のお話にもありました現・元国際理事懇談会に出席し、その席で発言をいたしました。会員を増やすことに反対はしませんが、家族会員の出席率を問わないということに問題があります。クラブの規律が保てませんし、例会に出席しない幽霊会員を有してもクラブのためになりません。クラブ会長の理解を得られるように、どのように持っていくかということです。クラブ内規に出席率について明記できれば良いが、国際理事会が決定した形では日本のクラブでは運営ができないのではないかと思います。ガバナーはクラブを預かる立場としてどのような認識を持たれるかが重要です。クラブ内規でどのような対応ができるか検討いただきたいと思っています。

我々は本来のボランティア組織としての方向性を間違えないようお互い努力していきたいと思っています。

5. 国際会長感謝状伝達

寺越 前年度ガバナー協議会議長へ国際会長感謝状が伝達された。

協 議 事 項

I. 336 複合地区ガバナー協議会議長 渡 部 雅 文

1. 336 複合地区第 60 回年次大会について

(1) 開 催 年 月 日

- ・ 2014 年 5 月 17 日(土) 記念ゴルフ大会・前夜祭
- ・ 2014 年 5 月 18 日(日) 代議員分科会・代議員総会・大会式典

(2) 開 催 場 所

別紙 1 (P. 3~4)

- ・ 前夜祭 ……………倉敷アイビースクエア (フローラルコート)
- ・ 記念ゴルフ大会……吉備カントリークラブ、倉敷カントリー倶楽部、鬼ノ城ゴルフ倶楽部
- ・ 代議員分科会……倉敷市民会館 (第 1、第 3 分科会)
倉敷アイビースクエア (第 2 分科会)
- ・ 代議員総会・大会式典……倉敷市民会館

(3) 大会プログラム(案)

別紙 2 (P. 5)

(4) 大会運営組織構成表(案)

別紙 3 (P. 6)

(5) 大会事務局

〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F

TEL:086-234-0695 FAX:086-234-0495

E-mail: admin@lions-md336.org

[ホストクラブ事務局]

〒710-0253 岡山県倉敷市新倉敷駅前 5-203 セントイン倉敷 209 号室

TEL:086-441-8468 FAX:086-441-8469

E-mail: lc336md60th@yahoo.co.jp

[ホストクラブ]

336-B 地区 4R2Z 5 クラブ

玉島 LC、倉敷水島 LC、倉敷南 LC、倉敷西 LC、水島中央 LC

[第 60 回年次大会委員長]

畑野 健三 (倉敷西 LC)

(6) 大会予算書(案)

別紙 4 (P. 7)

全地区全クラブより、必ず定数の代議員派遣をお願いしたい。

(7) 大会登録料 なし

前夜祭登録料 11,000 円

記念ゴルフ大会登録料 5,000 円

(8) 予備登録締切 2014 年 1 月 31 日(金)

本登録締切 2014 年 3 月 28 日(金)

畑野年次大会委員長より資料を基に準備状況が説明された。

今年度より複合地区大会費を 30 円値上げしたため、大会登録料を無料としたことが報告された。

2. 国際会長公式訪問(西)について

別紙5 (P. 8~11)

- (1) 開催日程 2013年11月22日(金)
- (2) 開催場所 グランドプリンスホテル広島
- (3) 参加人数 300名(A地区50名、B地区50名、C地区150名、D地区50名)
- (4) 登録料 15,000円/人
- (5) 協力金 400,000円/MD

福永迎接委員長より資料を基に準備状況の説明があった。

- ・ 4複合で600名の参加を見込んでいる。
- ・ 国際会長公式訪問の前に同会場で山田第二副会長セミナーが開催されるが、セミナーのみの参加でなく、セミナーと公式訪問、合わせての参加をお願いしたい。
- ・ 当日は広島駅から会場までシャトルバスを運行する。
- ・ 公式訪問の午前中に国際会長には平和公園で慰霊碑に献花いただく。複合地区役員の方も都合が合えば参加いただきたい。
- ・ 昼食(7,000円)に同席希望の方は10月末までに申し込んでいただきたい。

3. 第1回LCIFクラシックゴルフ JAPANについて

別紙6 (P. 12~13)

- (1) 開催日程 2013年11月14日(木)
- (2) 開催場所 京和カントリークラブ(愛知県豊田市)

336複合地区からは参加希望者がなかった。希望があれば追加登録も可能とのこと。

4. 第99回ライオンズクラブ国際大会ホスト委員会組織編成について

別紙7 (P. 14)

監査委員は寺越元議長、常任委員は渡部議長とすることを申し合わせた。

5. 創立100周年記念計画委員長選任について

別紙8 (P. 15)

他複合地区の人選状況を確認の上、あらためて検討する。任期が2016年12月31日までとされているため複合地区役員の任期も勘案して選任する予定である。

6. 2014~2015年度336複合地区ガバナー協議会議長選出地区について

議長選出地区ローテーションに従い、2014-2015年度議長は336-A地区より選出されることを確認した。

336-A地区内で調整の上次年度議長予定者を推薦し、第3回ガバナー協議会までに提案する。なお、人選については複合地区会則第5条により、次期ガバナー(ガバナーエレクト)が会合を開いて選任または選出するとされているため、今後手順を踏んで決定する。

7. 2012-2013年度トップテン・ユースキャンプおよび交換委員長賞について

別紙9 (P. 16~18)

近年の推薦地区がA,D地区からであったため、B,C地区ガバナーとで協議し決定することを申し合わせている。

会議後に、B地区 河合前 YCE 委員長を推薦することを決定した。

II. GLT コーディネーター

光 貞 正 明

1. 公認ガイドングライオン、CEPの認知を図りたい

標記の件が、クラブ、ゾーン等でどれくらいどのように認知されているか。RC、ZCを通じて把握する必要があるとともに、これの普及を図っていく必要がある。

光貞コーディネーターより議案説明があった。

- ・ 全日本レベルの会議で、公認ガイドングライオンの研修が必要であること、CEPについてクラブへ浸透を図ることが言われている。
- ・ 新しくクラブを作るところに公認ガイドングライオンが必要であることは認識されているが、クラブの軌道修正やクラブ内の知識を高める意味では、既存クラブでガイドングライオンを設置することも必要である。
- ・ 各地区において、公認ガイドングライオンの研修の実施、CEPの周知をお願いしたい。国際協会ウェブサイトには様々な資料が掲載されていることもクラブに周知願う。

議長より、各準地区、あるいは複合レベルで研修会を計画していただきたいとの要望があった。また、GLT コーディネーターに対して、研修会を実施する際には講師として協力が依頼された。

III. GLT 委員長

一 井 淳 治

1. 副地区ガバナーの研修について

別紙 10 (P. 19)

一井委員長より、提案内容の説明があった。

- ・ 前年度、336-B 地区で会員純増が達成できたことはガバナーのリーダーシップによるものであるが、GMT、GLT 委員長の力も大きい。GLT 委員会として副地区ガバナーの研修を計画したい。

2. 次年度からの、組織表、会計予算の改正について

別紙 11 (P. 20)

一井委員長より、提案内容の説明があった。

- ・ 毎年、年度末になって、十分な審議の時間もない中で次年度の役員や会計予算を決定している。早い時期に次期ガバナーに提案し、審議に入っていたきたい。
- ・ 必携に記載されているチームの設置、不要な委員会をなくすこと、この連絡会議の出席者の見直しを図ることも検討いただきたい。
- ・ 会計予算については、準地区で支出されないような項目が複合地区では予算に含まれている。予算案作成の際には検討いただきたい。

議長より、早めに第一副地区ガバナーに審議いただくとの発言があった。

IV. 大会参加・迎接・プロトコール委員長

福 永 栄 一

1. 第 52 回 OSEAL フォーラム(シンガポール)「MD336 のタベ」次第(案)について

別紙 12 (P. 21)

福永委員長より、シンガポールフォーラムの最新情報を含め、説明があった。

- ・ フォーラム登録のメ切が、10 月 15 日まで 120 \$ に再延長された。
- ・ ジャパンナイトは招待制。招待状は MD10 枚、地区 5 枚ずつであり、招待状 1 枚につき 1 名（夫妻は 1 枚でよい）となっている。名札にシールを貼って受付を確認される。

2. 第97回国際大会(トロント)について

別紙 13 (P. 22)

2014年7月4日～7月8日、トロント(カナダ)で開催される第97回国際大会には、336複合地区内より多数参加されるよう登録推進をお願いしたい。

早期登録(1月10日まで)は110US\$、普通登録(3月31日まで)は150US\$、後期登録(4月1日以降)は170US\$となるため、大会登録案内は早期登録に間に合うよう11月初旬までに各クラブ宛に発送する。また、現在のところ割り当てホテルが未定であるため、オフィシャルコースについてはホテル決定後に、各クラブ宛案内を発送する。

336複合地区の参加者全員が一堂に会すMD336の夕べを開催いたしたく、承認願いたい。各クラブへの案内文書、並びに336の夕べの会場および日程は、後日、ガバナー協議会構成員各位と協議の上決定する。

なお、336複合地区オフィシャル・エージェントは、(株)近畿日本ツーリスト中国四国岡山支店とする旨、第3回臨時ガバナー協議会において承認済み。

福永委員長より、トロント国際大会について現時点での最新情報の説明があった。

- ・ 登録料が、後期登録は早期登録と比べて約6,000円高くなる。なるべく早期登録されたい。登録後のキャンセル、ホテル予約のキャンセル料についても説明があった。
- ・ 早急に地区キャビネットを通じてクラブ宛に登録案内を送付する。

報 告 事 項

- I. 336 複合地区ガバナー協議会議長 渡 部 雅 文
1. 第 2 回議長連絡会議要録 (報告事項 P. 1～3)
 2. 臨時議長連絡会議要録 当日配布 P.1～2
 3. 第 3 回議長連絡会議要録 当日配布 P.3～5
 4. 第 1 回東日本大震災復興支援対策本部会議要録 (報告事項 P. 4～6)
 5. 第 2 回東日本大震災復興支援対策本部会議要録 (報告事項 P. 7～8)
 6. 336 複合地区第 2 回臨時ガバナー協議会要録 (報告事項 P. 9～11)
 7. 336 複合地区第 3 回臨時ガバナー協議会要録 (報告事項 P. 12～13)
 8. 336 複合地区緊急援助資金委員会要録 (報告事項 P. 14～16)
 9. 平成 25 年 7 月山口・島根豪雨災害支援の御礼 (報告事項 P. 17)
 10. 平成 25 年岩手・秋田豪雨災害支援の御礼 (報告事項 P. 18)
 11. 山田国際第二副会長による会員倍増計画について
 - ① 第二副会長と議長との懇話会 (8/2) 資料 (報告事項 P. 19～21)
 - ② 第二副会長からの発信文書 (8/28) (報告事項 P. 22～25)
 - ③ GMT リーダーからの発信文書 (9/11) (報告事項 P. 26～30)
 - ④ GMT リーダーからの発信文書 (10/3) (報告事項 P. 31～32)
 - ⑤ 第 3 回議長連絡会議 (10/1) 配布資料 (報告事項 P. 33～37)

山田国際第二副会長による会員倍増計画のための「日本家族会員プログラム」がオーストラリア・ポートダグラス国際理事会 (2013.10.6-10) で承認された。これは、同じクラブに属する限り、住所が異なっても家族会員としての入会を認める 3 年間のパイロットプログラムであり、2013 年 10 月 9 日から即日実行された。

議長より、上記の報告と、この件に関するこれまでの経緯について説明があり、意見交換が行われた。
 12. 国際本部からの到着文書
 - ① ハンブルグ国際理事会決議事項要約 (報告事項 P. 38～42)
 - ② 2013-2014 年度アワード受賞基準について (報告事項 P. 43～47)
 - ③ 四半期ごとに授与される国際会長からの賞 (報告事項 P. 48)
 - ④ 会員増強アワード (報告事項 P. 49～50)
 - ⑤ ニュースワイヤー (報告事項 P. 51～54)
 - ⑥ LCIF 関連情報 (報告事項 P. 55～58)
 - ⑦ 国際会長より地区ガバナー宛文書 当日配布 P.6～7
 - ⑧ 国際会長よりクラブ会長宛文書 当日配布 P.8～9
 13. 日本ライオンズ連絡事務所からの到着文書
 - ① 各地区活動状況一覧表 (2013 年 6 月) (報告事項 P. 59)

- ② 各地区活動状況一覧表 (2012-2013 年度下半期) (報告事項 P. 60)
- ③ 各地区活動状況一覧表 (2012-2013 年度) (報告事項 P. 61)
- ④ 2013-2014 年度上半期結成ライオンズクラブ (報告事項 P. 62)
- ⑤ 2012-2013 年度ライオンズクラブ結成状況 (報告事項 P. 63~66)
- ⑥ レオクラブ・ライオネスクラブ一覧表 (報告事項 P. 67~71)
- ⑦ LCIF 拠出金一覧表 (2013 年 7~8 月分) (報告事項 P. 72~75)
- ⑧ LCIF 拠出金一覧表 (2013 年 9 月分) 当日配布 P.10~11

II. GMT コーディネーター 山 地 章 靖

1. 第 1 回 8 複合地区 GMT コーディネーター会議要録 (報告事項 P. 76~77)

山田第二副会長の会員倍増計画について、コーディネーター会議では推進していくことを申し合わせた。

四半期毎の会員増強計画の見直し計画案は 10 月 25 日まで複合地区 GMT コーディネーター宛 (複合事務局気付) に送付願う。書式は、エリアリーダーよりガバナー宛に送付されている。

国際理事会において、ZC を GMT チームの一員とされるよう決定されている。

III. GMT 委員長 寺 越 慎 一

1. 第 1 回 336 複合地区 GMT コーディネーター・委員長合同会議要録 (報告事項 P. 78~82)

家族会員の会費優遇は当地区では賛成しかねるという意見であった。

会員増強については、2 月以降の実績もアワードの対象になるよう各ガバナーに検討いただきたい。

IV. GLT コーディネーター 光 貞 正 明

1. 8 複合地区 GLT コーディネーター会議要録 (報告事項 P. 83~86)

2. 334~337 複合地区合同 GLT 会議開催について (報告事項 P. 87)

GLT コーディネーターには第 1 四半期の活動報告を提出いただき、先日エリアリーダーへ報告した。GMT・GLT の用語の浸透を図っていただきたい。

V. GLT 委員長 一 井 淳 治

1. 第 1 回 336 複合地区 GLT 合同会議要録 (報告事項 P. 88~91)

コーディネーターと準地区委員長との合同で会議を開催した。A,C 地区はコーディネーターと委員長が別、B,D 地区は同一の方を選任している。同一の方がやりやすいのではないか。また、用語の浸透を図ることも必要である。

VI. 会則・運営マニュアル編集委員長 岡 村 聖 爾

1. 第 1 回複合地区会則委員長連絡会議要録 (報告事項 P. 92~95)

2. ライオンズ必携第 53 版主な改訂箇所一覧表 (報告事項 P. 96~103)

3. 第 1 回 336 複合地区会則・運営マニュアル編集委員長連絡会議要録 (報告事項 P. 104~105)

国際会費の変更等、説明があった。

- VII. PR・ライオンズ情報・IT 委員長 玉 浦 巖
1. 第 1 回準地区 PR・ライオンズ情報・IT 委員長連絡会議要録 (報告事項 P. 106~107)
- VIII. YCE・国際関係委員長 宇 高 昭 造
1. 第 1 回複合地区 YCE 委員長連絡会議要録 (報告事項 P. 108~111)
 2. 第 1 回準地区 YCE 委員長連絡会議要録 (報告事項 P. 112~115)
- IX. 大会参加・迎接・プロトコール委員長 福 永 栄 一
1. 第 1 回複合地区国際大会委員長連絡会議要録 (報告事項 P. 116~118)
 2. 複合地区国際大会委員長連絡会議【小委員会】要録 (報告事項 P. 119~120)
 3. 第 2 回複合地区国際大会委員長連絡会議要録 当日配布 P.12~21
 4. 第 52 回 OSEAL フォーラム日程表 (10/7 現在) (報告事項 P. 121)
 5. 第 52 回 OSEAL フォーラム MD336 参加者数 (報告事項 P. 122~124)
- X. 環境保全・保健福祉委員長 菅 武 廣
1. 平成 25 年度献血推進団体との意見交換会議事要旨 (報告事項 P. 125~132)
日赤より届いた意見交換会の議事要旨の内容について説明があった。
今後は、2 月に第 2 回目の準地区委員長連絡会議を開催予定である。
- XI. 国際理事候補者選挙管理委員会委員 迫 越 正 彦
1. 第 1 回国際理事候補者選挙管理委員会会議要録 (報告事項 P. 133~138)
- XII. ライオン誌日本語版委員 組 嶽 晶 一
1. 第 1 回ライオン誌日本語版委員会報告書 (報告事項 P. 139~141)
 2. 2012-2013 年度ライオン誌日本語版事務所監査委員報告 (報告事項 P. 142~143)
 3. 2012-2013 年度ライオン誌日本語版委員会年次報告 (報告事項 P. 144~145)
 4. 第 2 回ライオン誌日本語版委員会報告書 (報告事項 P. 146~148)
 5. 第 3 回ライオン誌日本語版委員会報告書 (報告事項 P. 149~150)
サポーター制度を採用しており、50 名のサポーターで執行されている。
ライオンズ若手会員フォーラムの参加者募集が依頼された。
- XIII. 2012-2013 年度日本レベル監査委員 倉 益 芳 太
1. 2012-2013 年度日本ライオンズ連絡事務所会計報告書 (報告事項 P. 151~160)
 2. 2011-2013 年度東日本大震災義捐金口座会計報告書 (報告事項 P. 161~169)
 3. 2012-2013 年度日本ライオン誌日本語版事務所会計報告書 (報告事項 P. 170~175)

(2013 - 2014)

第1回複合地区国際大会委員長連絡会議要録

2013年8月7日(水) 13:30-16:30 日本ライオンズ連絡事務所〔東京都〕

330 複合地区国際大会委員長	石井 征二
331 複合地区国際大会委員長	山口 富雄
332 複合地区国際大会委員長	山口 一男
333 複合地区国際大会委員長	塚田 雅二
334 複合地区国際大会委員長	石井 博之
335 複合地区国際大会委員長	小林 登
336 複合地区国際大会委員長	福永 栄一
337 複合地区国際大会委員長	識名 安信

ガバナー協議会議長連絡会議世話人 小板橋 欽也

議事:

議事に先立ち、小板橋議長連絡会議世話人からご挨拶があり。

I. 世話人、副世話人の互選

世話人に MD333 塚田委員長、副世話人には MD334 石井委員長及び MD335 小林委員長を互選した。

II. 国際大会委員長連絡会議の任務及び実務について

本連絡会議の基本的な任務及び実務について次の通り確認した。

- (1) 任務: 国際大会、東洋東南フォーラムの意義を強調し、会員の積極的参加を促す
- (2) 実務: (国際大会) 代議員投票の促進と管理、大会参加手順の具体的指導、国際大会情報の収集、伝達
(フォーラム) フォーラム参加手順の具体的指導、フォーラム情報の収集、伝達
- (3) 関連規約の確認
 - 「MD330-337 公認 TC 規定」(別紙1)を確認した。
 - 例年9月に LCI から発行される「ツアーコーディネーター手続き規約」に従い、各MDは公認TCを決定、各MDは大会参加実務を公認TC(ツアーコーディネーター)と共に行う。

III. 第96回ハンブルグ国際大会

(1) 大会報告書

- 大会報告書を確認した。後日LCI大会部発表の大会登録数は以下の通り。
☆ハンブルグ国際大会登録数

ドイツ	5,918名
日本	3,725名
アメリカ	2,099名
フランス	1,336名
中国(香港マカオ含む、台湾を含まず)	1,298名
全世界合計数	24,749名

- 第101回国際大会は米国ネバダ州ラスベガスにて、2018年6月29日-7月3日開催予定。

IV. 第 52 回東洋東南アジア・フォーラム(シンガポール)【2013 年 11 月 7 日(木)－10 日(日)】

フォーラム規則、第 1 回ステアリング委員会報告書、フォーラム会場周辺地図等を確認した。主要行事及び会議は、本部ホテル(マリーナベイ・サンズ)並びに隣接のサンズエクスポ&コンベンションセンターにて開催される。なお、市内中心から会場までの道路は朝夕非常に混雑するので注意する。

(1) 最新暫定日程 (別紙 2)

＜主な行事の開催日時＞ 今後追加の行事等が入る可能性があります。

① 第2回ステアリング委員会

(11 月 7 日 14:00-16:00、コンベンション 3F Cassia Junior Ballroom)

② コーカス・ミーティング(11 月 7 日 22:00-23:00、コンベンション 3F)

③ 開会式 (11 月 8 日 13:30-17:00、コンベンション 5F Sands Grand Ball Room)

④ 協議会議長と地区ガバナーの会議

(11 月 8 日 8:00-9:00、11 月 9、10 日 8:30-9:30、コンベンション 3F Cassia Junior Ballroom)

⑤ 国際会長と地区ガバナーの会議(11 月 8 日 9:15-10:15、コンベンション 3F)

⑥ 国際第一副会長と副地区ガバナーの会議

(11 月 8 日 10:45-11:45、コンベンション 3F)

⑦ ジャパン・レセプション〔国際理事候補者をオセアルメンバーに紹介するレセプション〕

開催は開会式後の 11 月 8 日夕方、人数は全体で 500 名位を予定。詳細は設営担当 MD335 が打合せ後、追って報告する。

⑧ 「奉仕における連結性」国際プログラム・セミナー

(11 月 9 日 13:30-15:00、コンベンション 3F)

⑨ 国際会長歓迎晩餐会

(11 月 9 日 19:00-22:00、コンベンション 3F、事前申込制、登録料 130 米ドル)

例年通り、日本は当連絡会議を通じて各 MD 参加申込み数合計を一括申込みする。

⑩ 閉会式 (11 月 10 日 10:00-12:00、コンベンション 3F)

(2) フォーラム参加について

去る 3 月に開催された第 1 回ステアリング委員会において、日本の努力目標登録数 3,500 名が要請されている。各 MD においてもより多くの参加推進を呼びかける。

(3) フォーラム組織委員会提案:本部ホテルの優先予約について

議長連絡会議から当委員会に申し送られ検討した。

日本向けに 100 室の特別優先予約枠を設けており、現地 JTB シンガポール支店を指定窓口として、早期に日本側の旅行業者代表と交渉してもらいたいとの提案があり。各会議出席要請のあるステアリング委員や議長、地区ガバナー等、本部ホテル宿泊で便宜がはかられるメンバーを対象に優先枠を利用したパッケージツアーの設定案に一同同意した。については至急交渉を行うために、国際大会委員長連絡会議世話人の所属 MD333 の公認ツアーコーディネーターである、(株)JTBコーポレートセールス船橋支店に依頼することを了承した。諸条件を確認の上、至急当会議を通じて見積もり案を作成してもらおう。

フォーラム事前登録について

締め切り日(登録及び送金)は 9 月 10 日であるが、より多くの参加が要請されてい

るので、日本向けに特別に **9月30日(月)**迄延長してもらえよう、現地委員会と交渉し了承が得られた。については指定の登録用紙(日本語版)を使用して登録申し込みを行う。

<登録について>

登録料： 120US\$ (注意:シンガポール\$ではありません)

支払い方法： 指定口座あて銀行振込 (手数料は送金人負担)

事前登録および送金締切日： 2013年9月30日(月)

<注意事項>

- 必ず別紙3の指定登録用紙(日本語版)にて、送金写しとともにメールまたはファックス送信し申し込む。
- 送金方法は銀行電信送金のみで手数料は送金者負担。なるべくグループでまとめて送金することが望ましい。
- 現地登録も可能だが、フォーラムキットのフルセットが受け取れない場合があるので、事前登録を推奨。

第52回フォーラム公式サイト(英語のみ)： <http://www.52oseal2013.org>

V. 第97回トロント国際大会 【2014年7月4日(金)ー8日(火)カナダ・トロント】

(1) 大会最新日程 (別紙4)

LCI公式ホームページに発表されている大会最新日程を確認した。昨年度同様、金曜から火曜までの開催となる。

(2) LCI割り当てオフィシャルホテル

LCIから日本向けのオフィシャル・ホテルルーム配分案が入り次第、各MD間で割当調整を行う。

VI. 次回会議予定

➤ 小委員会 [8月下旬～9月初旬、日時及び会場未定]

検討事項: 第52回オセアルフォーラム(シンガポール)のジャパンレセプション設営について

出席予定者: 塚田世話人、副世話人(MD334、MD335)、国際理事候補支援関係者

尚、次回の全体連絡会議については、10月7日午後を開催予備日として申し合わせた。

小委員会後、各委員長宛に開催有無の連絡予定。

以上

(2013-2014)

第2回複合地区国際大会委員長連絡会議要録

日時：2013年10月7日(月)13:30-16:30

場所：日本ライオンズ連絡事務所〔東京都〕

出席者：330 複合地区国際大会委員長	石井 征二
331 複合地区国際大会委員長	山口 富雄
332 複合地区国際大会委員長	山口 一男
333 複合地区国際大会委員長	塚田 雅二 (世話人)
334 複合地区国際大会委員長	石井 博之 (副世話人)
335 複合地区国際大会委員長	小林 登 (副世話人)
336 複合地区国際大会委員長	福永 栄一
337 複合地区国際大会委員長	識名 安信

オブザーバー

国際第二副会長セクレタリー 元地区ガバナー 鈴木 誓男

各複合地区公認ツアーコーディネーター

議事：

議事に先立ち、世話人から鈴木元地区ガバナーのご紹介があり、第97回国際大会(カナダ、トロント)に日本から多くの代議員を出してほしいという強い要望が、現在国際理事会に出席中の山田国際第二副会長からの重要なお願いであることが伝えられた。

第1部：(13:30 - 15:00) 委員長会議

O S E A L

I. 第52回東洋東南アジア・フォーラム (シンガポール)

【2013年11月7日(木) - 10日(日)】

(1) 最新フォーラム日程の確認 [別紙1]

フォーラム組織委員会(FOC)発表の日程及び最新情報を確認した。開会式と同日(11/8)の11:20-12:00に「山田国際第二副会長と第二副地区ガバナーの会議」が新たに設定される予定。

(2) フォーラム登録の延長について

FOC発表の日本の各地区登録数(10/7現在、合計約1,600名)を確認した。また、リン・フォーラム委員長から10/15までにフォーラム参加登録申込み、かつ1週間以内に振込すれば登録料US\$120はそのまま維持するとの申し出があり、MD内に至急周知、更なる登録を当連絡会議として推進する。

(3) 各行事について [☆印：最新の変更事項]

行事は全てMBSコンベンションセンターで開催される。各会場のドア付近のテレビモニターに開催イベント名が表示されているので注意する。

① 第2回ステアリング委員会

(11月7日13:00-15:00、コンベンションセンター3F、Heliconia Main Ballroom)

・ 正規、名誉ステアリング委員が出席対象となる。

- ・ フォーラム組織委員会から、地区ガバナーの第二回ステアリング委員会への出欠確認依頼があり、連絡事務所から地区宛て確認予定。
- ② **コーカス・ミーティング**
(11月7日 22:00-23:00、コンベンションセンター3F、Heliconia Main Ballroom)
入場自由。オセアルからの次期国際役員候補者の紹介など、オセアル地域共通の話題等を話しあう場。非公式会議のため、通訳はつかない。
- ③ **協議会議長と地区ガバナーの会議**〔3日連続〕
(11月8日 8:00-9:00、9日及び10日 8:30-9:30、コンベンションセンター3F Heliconia Main Ballroom)
毎朝本部ホテルで開催される。初日は当日午後の開会式進行についての情報もあるので出席対象者は必ず出席する。各資料の配布、同時通訳もあり。
- ④ **国際会長と地区ガバナーの会議**
(11月8日 9:15-10:15、コンベンションセンター3F、Heliconia Main Ballroom)
議長及び地区ガバナーの名札と席が用意される。資料配布、同時通訳あり。
- ⑤ **国際第一副会長と第一副地区ガバナーの会議**
(11月8日 10:45-12:00、コンベンションセンター3F、Heliconia Main Ballroom)
第一副地区ガバナーの名札と席が用意される。資料配布、同時通訳あり。
- ⑥ **山田国際第二副会長と第二副地区ガバナーの会議☆**
(11月8日 11:20-12:00、コンベンションセンター3F、Heliconia Main Ballroom)
第二副地区ガバナーの名札と席が用意される。資料配布、同時通訳あり。
- ⑦ **開会式** (11月8日 13:30-17:00、コンベンションセンター5F、Sands Grand Ballroom)
議長及び地区ガバナーはMD毎に入場予定。シンガポール大統領の出席が予定されているので、途中退席は控える。
- ⑧ **ジャパン・ナイト**(11月8日(金)17:30-18:30、コンベンションセンター4F Sinpor)
〔オセアルメンバー向け 日本の国際理事候補者紹介行事、招待制〕
詳細は後述参照。
- ⑨ **「連結性とライオニズムの奉仕」セミナー**(Dr.ウインクン・タム元国際会長)
(11月9日 10:00-11:30、コンベンションセンター3F、Hibiscus)
- ⑩ **「奉仕における連結性」セミナー**(オセアルのライオンズクラブの奉仕計画プレゼンテーション)
(11月9日 13:30-15:00、コンベンションセンター3F、Hibiscus)
- ⑪ **LCIF セミナー**(LCIF理事長ウエイン・マデン前国際会長)
(11月9日 15:00-17:00、コンベンションセンター3F、Hibiscus)
- ⑫ **レディースプログラム**(アート体験)
(11月9日 14:00-15:00、コンベンションセンター3F、Hibiscus)
- ⑬ **レディースセミナー & ワークショップ**〔WINGS〕
(11月9日 15:30-17:00、コンベンションセンター3F、Hibiscus)
- ⑭ **韓国ナイト(次回フォーラム開催地)**
(11月9日 18:00-19:00、コンベンションセンター3F、Hibiscus Junior Ballroom)
次回フォーラム開催地(韓国、仁川)のレセプション。韓国の国際理事候補のレセプションを兼ねて開催予定。
- ⑮ **国際会長歓迎晩餐会**〔有料行事〕
(11月9日 19:00-22:00、コンベンションセンター5F、Sands Grand Ballroom)
詳細は後述参照。
- ⑯ **閉会式** (11月10日 10:00-12:00、コンベンションセンター3F、Hibiscus)
フォーラム登録者数の発表、決議委員会の報告、国際役員候補者の紹介及び次回フォーラムの PR などが予定されている。最後に記念の

各 MD 旗贈呈がされるので、議長が閉会式不在の場合は国際大会委員長が代わりに受け取る。

(4) **ジャパン・ナイトについて**—オセアル会員向け国際理事候補者紹介行事

(11月8日(金)17:30-18:30、コンベンションセンター4F、Sinpor 4801AB-4804 4901AB-4904)

① **主催：議長連絡会議**

② **形式：カクテルレセプション (招待制)**

③ **受付開始：17時00分**

- ・ 入口前のスペースに MD 受付用[8]、VIP 用[1]、オセアルからの来賓用[3]計12卓のデスクを設置する。各 MD から2名の受付係を出し、当日 MD の名簿を持参、受付にあたる。オセアルからの多くの来場が予想され、オセアル及びVIP受付係6名は、なるべく語学(英語、中国語、韓国語など)に堪能なメンバーをMD335から輩出する。
- ・ 招待制のため、受付を済ませた来場者の名札にシールを貼るなど入場時確認の目印となるものを配布する予定あり。

④ **ドア・オープン：17時00分以降**、受付を済ませた方から入っていただく。

⑤ **会場：コンベンションセンター4F、Sinpor 4801AB-4804 4901AB-4904**

会場レイアウトを確認した。ステージ前に海外VIP専用テーブル4卓及びイス椅子スペースを設置し、登壇を待つ間着席していただく。

⑥ **会場設営および受付担当(各MDおよび海外VIP)：**

国際理事候補所属MD支援委員会(MD335)

日本以外のメンバーの動線、VIPの誘導に特に配慮する。開会式後にVIPがグループで来場することが予想される。議長及び国際理事候補所属MD担当者は入り口外にレシービング・ラインを作り、会場内へ誘導する。

⑦ **式次第について** [別紙2]

- ・ 第3回議長会議にて了承された式次第を確認した。開会挨拶から乾杯までを15分以内に収める予定。
- ・ 司会進行は塚田国際大会委員長連絡会議世話人、石井博之副世話人、小林副世話人。
- ・ 入場と同時にドリンクバー・フードオープンとする

⑧ **招待者数：**合計約500名(海外分約200名含む)

- ・ 第3回議長会議で了承された招待状案を確認した。
- ・ 日本国内では各地区5枚、各MD10枚の招待状が送付される。
- ・ 開会式後に参加予定者が一気に来場する可能性があり。海外及び国内からの招待者のみ参加可能なレセプションであり、原則招待状1枚で1人入場可、但し夫妻の場合は1枚で入場可能。

⑨ **服装**

第3回議長会議での申し合わせの通り、地区ガバナー以上は白タキシード、一般参加者は平服(ビジネススーツ)、女性は男性に準じた服装。

⑩ **その他**

通訳は国際役員候補者所属MD側で用意する。

(5) **国際会長歓迎晩餐会(有料行事)**

(11月9日 19:00-22:00、コンベンションセンター3F、Sands Grand Ballroom)

① **日本からの登録、参加券、席割りについて**

- ・ 第3回議長会議にて了承された以下各MDの参加申し込み数(計321名)を確認した。議長連絡会議の指示のもと、すでに連絡事務所から現地FOCへ申込み、送金完了。各MD分をMDあて請求済み。フロアプランがFOCから来次第、各MDからの参加者名簿に基づき席割予定。チケットは連絡事務所から各MD分を事前送付する予定。

(国際会長晩餐会－参加申し込み数－計321名)

MD330	MD331	MD332	MD333	MD334	MD335	MD336	MD337
43	20	29	32	36	100	30	31

(名)

- ・ 現国際役員、元国際理事は別途FOC割当ての Protokol 席が用意されるため、MD内の人数に含めない。

② **現地でのチケット追加購入について**

空席がある場合は登録ブースで販売されるが、日本の団体予約分とは別の席となる。

③ **出席者の服装について**

第3回議長連絡会議の申し合わせを受け、平服着用(役職者、一般参加者ともにビジネススーツ、役職者はタキシードも着用可)を申し合わせた。女性は男性に準じた服装とする。

(6) **その他**

会場入口前に日本のMD受付を設営予定、各MDからの担当者がMD内の受付を担当する。

第II部:(15:10-16:30) MD公認ツアーコーディネーター(TC)との協議

II. フォーラム(シンガポール)の確認事項【2013年11月7日(木)－10日(日)】

(1) フォーラム参加登録について

各MDTCから現時点の登録状況の報告があり、MDTCはMD内各地区登録数を確認し、最新の登録数をMD事務局を通じて連絡事務所あて **10/18(金)まで**に報告する。

① **開会式** (11月8日 13:30-17:00、コンベンションセンター5F、Sands Grand Ballroom)

- ・ 入場する議長及び地区ガバナーを日本の参加者が応援できるよう、なるべくTCは役員が入場する中央通路横の席を確保する。障がい者用の席を誤って抑えることのないよう十分注意する。
- ・ シンガポール大統領の出席が予定されているのでセキュリティが厳しくなる。そのため、式を途中退席しないよう注意する。

② **国際会長歓迎晩餐会**

(11月9日 19:00-22:00、コンベンションセンター5F、Sands Grand Ballroom)

日本のブロック席については、議長、地区ガバナー、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナーの席割りをを行う。その他MD別にまとまって座れるよう案を作成予定。また、過去に日本の国際役員の席札

が誤って外され、着席に支障を来したケースがあり。プロトコル席の参加者には当日早めの来場を各MDで呼び掛ける。

III. 第 97 回トロント国際大会【2014 年 7 月 4 日(金)-8 日(火)カナダ・トロント】

(1) 暫定国際大会日程〔別紙 3〕

LCI 発表の大会日程を確認した。

(2) 2013-14 各 MD ツアーコーディネーター(TC)リスト

各MDから報告のあったトロント大会用のMD公認TCリストを確認した。

(3) 8 複合地区公認ツアーコーディネーター規定〔別紙 4〕

同規定が配布された。

(4) トロント大会用LCIツアーコーディネーター規約

LCI 大会部からトロント大会用の「ツアー・コーディネーター規則」が届き次第、各MDは公認TC承認書に記入の上、LCI大会部へ報告し、写しを連絡事務所に送る。先般開催されたハンブルグ国際理事会大会委員会にて早期大会登録のメ切が 2 週間延長されることが決議されたので、同規約にも反映される予定。

(5) LCIホテル割り当てについて

LCI本部ホテルを含めたハイクラスのオフィシャルホテルが日本へ割り当てられているが、LCI から部屋の割り当て実数等の連絡が来次第、MD335 公認TC神姫バスツアーズ藤尾氏をMD間調整役として配分割当してもらうことを了承した。

IV. 今後の会議予定

年内に小委員会を開催、第 97 回国際大会(カナダ、トロント)パレード用品、代議員会ジャパン・レセプション設営について検討する。

- ・日時: 2013 年 12 月 19 日(木)13:30-16:00
- ・会場: 日本ライオンズ連絡事務所(東京都)
- ・出席者: 世話人、副世話人、国際役員候補者及び支援委員会代表他

また、第 3 回連絡会議 97 回国際大会(カナダ、トロント)関連情報について検討予定。

- ・日時: 2014 年 1 月 30 日(木)13:30-16:30 (2 部制)
- ・会場: 日本ライオンズ連絡事務所(東京都)
- ☆ 8MD国際大会委員長、8MD公認TC

以上

(2013 - 2014)

複合地区国際大会委員長連絡会議【小委員会】要録

日時： 2013年9月5日(木) 13:30-16:00
場所： 日本ライオンズ連絡事務所〔東京都〕
出席者： 333 複合地区国際大会委員長 塚田 雅二(世話人)
334 複合地区国際大会委員長 石井 博之(副世話人)
335 複合地区国際大会委員長 小林 登(副世話人)

議事に先立ち、塚田世話人から本小委員会開催の主案件について説明があり、シンガポールの下見を終えた小林副世話人からの報告を受けて、ジャパン・ナイト設営準備を中心に検討する。また、例年国際大会におけるジャパン・レセプション(代議員会を兼ねる登録料制レセプション)とオセアル・フォーラムにおける日本のレセプションとの混同を避けるために、フォーラムでは「ジャパン・ナイト」という呼称を用いて区別する旨説明があり。議長連絡会議においても了解していただく方向であることが伝えられた。

I. 第52回 OSEAL フォーラム【2013年11月7日(木) - 10日(日)シンガポール】

A. 本部ホテル(MBS)優先予約枠利用ツアーコースについて

第3回議長連絡会議にて発信許可を得て案内済みの推奨8MD共通コース(申込任意)について、複数のMDから同様な内容でありながら、より安価なMBS宿泊ツアーの案内が出ているとのことで、旅行代金再検討の要請があり。担当の(株)JTBコーポレートセールス法人営業船橋支店側で再検討、折り返しの回答を待つ。

なお、フォーラム組織委員会からガバナー宛に届いた第二回ステアリング委員会案内に関連したMBSの予約に関しては、優先枠とは別のものであり、現地組織委員会へ直接各自で問い合わせさせていただきようお願いします。

B. フォーラム・プログラム(会場はすべて“サンズエキスポ&コンベンションセンター”)

日本に関連した次の2つの行事について検討した。

(1) ジャパン・ナイト(11月8日(金)17:30-18:30、コンベンション 4Fにて開催予定)

2014-16 オセアル地域の国際理事候補者として、日本の西川義規候補者を広くオセアル地域の会員に紹介する議長連会義主催の行事。

以下、小林副世話人から現地視察状況の報告があり。

① 開催日時： 11月8日(金)17:30-18:30

・開会式後の同一建物内の会場となるために、多くの来場が見込まれる。

② 会場： サンズエキスポ&コンベンションセンター4F(部屋名未定)

・500名設定のフロアレイアウトを確認した。ステージ前方に海外VIP用テーブル及びイスを別途用意する。

③ 形式： カクテル・レセプション。軽食、ドリンクの提供

④ 招待者数： 約650名(国内分約350名、海外分約300名)

⑤ 設営担当： 候補者所属MD335

・招待状案の作成及び国内外への発送、フロア及び受付プランの作成。

・具体的な設営に関する役割分担については MD335 内で検討する。

☆招待状見本については次回議長連絡会議に提案予定。式次第案については主催である同連絡会議が協議の上、作成する。

(2) 国際会長晩餐会(11月9日 19:00-22:00、コンベンション 3F)

過去データを参照に作成した MD 別参加配分案を複合地区国際大会委員長へ別途案内するので、各 MD 内で議長及びガバナーと相談の上、決定した申込み数を9月25日(水)までに連絡事務所まで知らせる。

第3回議長連絡会議(10月1日開催)において最終人数、一括送金及び日本円での登録料額(130 米ドル)を決定後、現地フォーラム委員会へ申し込む。日本のブロック分の席割を行うため、各 MD は参加者名簿(第二副地区ガバナー以上の役職者、配偶者及び一般参加者)を10月4日(金)までに連絡事務所まで知らせる。

II. 第 97 回国際大会【2014 年 7 月 4 日(金)ー8 日(火)カナダ・トロント】

A. LCI公式ホームページ掲載最新日程

LCI発表の最新の大会日程が配布された。日本に割り当てられた LCI オフィシャルホテルは全てハイグレードのホテルで、割り当てルーム数は今秋理事会で検討され、その後 LCI 大会部から発表のある予定。

III. 次回会議

2013 年 10 月 7 日 (月) 13 : 30 - 16 : 30 日本ライオンズ連絡事務所にて

出席者 (予定) : 各 MD 国際大会委員長

各 MD 公認ツアーコーディネーター

以上

第1回複合地区YCE委員長連絡会議要録

◎ 日 時： 2013年9月13日（金）13：30－16：30

◎ 場 所： 日本ライオンズ連絡事務所（東京都）

出席者：	330 複合地区YCE委員長	河合 悦子
	331 複合地区YCE委員長	古谷野 環
	332 複合地区YCE委員長	佐々木 光幸
	333 複合地区YCE委員長	金井 一夫
	334 複合地区YCE委員長	松倉 勇記
	335 複合地区YCE委員長	津田 祐司
	336 複合地区YCE委員長	宇高 昭造
	337 複合地区YCE委員長	大塚 豊三郎

ガバナー協議会議長連絡会議世話人 小板橋 欽也

◎ 議 事：

会議に先立ち、小板橋議長連絡会議世話人からご挨拶があり。

1. 世話人の互選

各委員長から自己紹介の後、世話人にMD333 金井委員長、副世話人にMD330 河合委員長及び MD336 宇高委員長が互選された。

2. 複合地区 YCE 委員長の手引き

上記手引きを確認した。

3. 本年度活動計画について

本年度活動計画を確認した。

4. 海外通信窓口担当地区の確認と業務内容について

- ・ 上記を確認した。
- ・ 過去3年間交換実績のある窓口と、交換のない窓口とを書体を変更して判別できるようにする提案がMD334 松倉委員長からあり、一同了承。（別紙1）

5. 各地区旅行代理店の確認と業務内容について

各地区旅行代理店（前年度夏期分）とその業務内容、共通見積もりフォームを一同で確認した。各地区旅行代理店に変更が生じた際は、連絡事務所あて報告する。

6. 前年度からの申し送り事項について

前年度の申し送りを確認し、以下が検討された。

派遣生旅費

旅行代金のほか、現地及び帰国後の支払い額も高いことが多いとの意見が複数のMDからあり。窓口 MD 内での見積もり精査及び各MD内における派遣生への事前説明の徹底が再度呼びかけられた。旅程見積もりについて、窓口MD 毎に別の会社で設定するよりも、全日本で1社の旅行会社に一括依頼する方が割安となる可能性が高いとの意見がMD335 津田委員長からあり。また、長年YCEを担当する幹事会社の適切できめ細かい対応が、交換成功につながっており、

見積もり内容との両面から選定をしているとの意見が複数あり。また、近年ホスト家庭不足に伴い、国際キャンプ実施に重点を置く地域が多くなっているが、ホームステイはYCEプログラムの基本的な一つの在り方として維持すべきとの意見があり。

ユースキャンプ及び交換プログラム・ディレクトリへのキャンプ情報掲載について

キャンプ情報を地区ガバナーの署名を付してYCEプログラム報告書に記載し提出することは、地区としての掲載内容に責任を持つことを意味する。日本では8MDの連絡会議により、担当窓口MDを通じて交換実施することが申し合されており、その点をガバナーにも十分にご理解頂いた上で、慎重に署名及び提出されることをMDYCE委員長はお願いし、地区YCE委員長へも十分説明することが再度申し合わされた。

来日生のオリエンテーション及び保険加入

自国でYCEプログラムや日本について十分な説明を受けずに参加する来日生が近年度々見られ、海外旅行傷害保険の加入不備も多いとの意見多数。本年度も担当窓口から相手国に事前のオリエンテーションと保険加入を呼びかけ来日前の保険証券番号、保険種類などの確認を徹底する。

ウェブ会議の利用推進について

ウェブ会議開催について、昨年度のテスト結果を踏まえ、今後検討予定。

7. 2012-2013 YE 委員長連絡会議収支会計報告

別紙2の通り確認され了承された。前年度繰越収支差額から年度初めに必要な用品(荷物シールなど)を購入する。

8. 冬期交換

A) 派遣生

(1) 派遣日程と人数調整

各窓口からの配分情報(別紙3)が配布され、以下の発表があり。

【春期】

<MD330 窓口タイ (別紙3A)>:

タイ: 派遣予定数(5名)以上の派遣も可能との説明があり。

【冬期】

各MDから以下配分について概ね了承された。

<MD333 窓口メキシコ、MD5(別紙3B)>

メキシコ: MD337から配分1名が打診され、了承された。

<MD334 窓口ヨーロッパ(別紙3C)>

- ・ 派遣生の共通言語である英語力強化のお願いがあり。
- ・ アレルギーの有無及び内容について事前連絡がお願いされた。
- ・ **イタリア:** 追加派遣のお願いがMD336 宇高委員長からあり、他MDからキャンセルが出た場合了承される予定。

<MD335 窓口マレーシア、ペルー(別紙3D)>

- ・ **マレーシア:** 各MDからの派遣希望人数(計48名)が確認され、現時点からの派遣可能人数(計40名)からの増員は今後の交渉によ

り問題ない見込みとの説明がMD335 津田委員長からあり。

<そのほか>

MD337 窓口シンガポールについて、冬期派遣の打診がMD335 からあり。追って返答するとのことだった。

(2) 共通経費について

近年派遣人数、用品作成、海外送料が減少傾向にあることから、共通経費（派遣生一人あたり 1,500 円）を、一人あたり **1,000 円**に見直す提案があり、了承。

(3) 冬期派遣事務手続き要領

冬期派遣事務手続きの流れを確認、以下の締切日を決定した。

冬期派遣候補者の名簿の締切：2013年9月30日(月)連絡事務所必着

冬期派遣生アプリケーション・フォーム締切：2013年10月15日(火)窓口必着

(4) 名簿作成要領

交換生情報を記入する各種フォームと記入要領を確認した。

(5) 派遣生用ユニフォーム

昨年度同様ユニフォームは青のジャケットを基本着用、YCEエンブレム、YCEネクタイ(またはYCEリボン)の装用が申し合わされた。後日案内予定。

<ジャケット>

設定は昨年度同様、業者〔榊佐田〕扱いとし、別途案内予定。申し込みは各地区から業者あて直接行い、納品には約1カ月を要するので注意する。同ジャケットは他の業者から購入しても良いが同じ青色に合わせる。

<YCEエンブレム、ネクタイ、リボン>

昨年度と同設定にて業者〔榊グローリーシバタ〕扱いとし、追って案内予定。

B) 来日生

(1) 来日日程と人数調整

本年度の来日生情報(別紙 4)が配布された。また以下の情報提示があり。

【春期】

<MD330 窓口タイ (別紙 4A) > :

<MD333 窓口メキシコ(別紙 4B) > :

<MD334 窓口ヨーロッパ(別紙 4C) > :

<MD335 窓口オーストラリア、マレーシア、ペルー(別紙 4D) > :

- ・ マレーシア： MD336 への配分2名について計4名に、MD335 への配分12名は計10名に変更となった。

<MD337 窓口 308-A地区[シンガポール・マレーシア(ホルネオ島)](別紙 4E) > :

- ・ 308-A地区： 来日合計18名。滞在期間の前半はMD337、後半は割当されたMDでホストされる予定。

(2) 来日事務手続きの流れ

- ・ 来日事務手続きの流れを確認され、以下の締切日が決定された。

冬期来日ホスト家庭名簿締切：2013年10月15日(火)窓口必着

冬期来日ホストファミリーフォーム締切：2013年10月31日(木)窓口必着

* 上記2点の書類に記載するメールアドレスはホストクラブのものではなく、個人のメールアドレスを記載する。

9. その他

<中国との交換について：MD337 大塚委員長からの報告>

一昨年から限定的にクラブ単位で来日の受け入れを行っており、現地窓口は引き続き交換を希望、現時点では派遣希望がなく、来日受入のみ実施されている。

10. 次回会議

日 時： 2013年12月6日(金) 13:30-16:30

場 所： 日本ライオンズ連絡事務所

出席者： 複合地区YCE委員長

主要案件： 1. 冬、春期交換直前情報

2. 夏期交換最新情報

3. 夏期派遣各締切の決定

4. 夏期頒布品の検討

- 冬期派遣担当幹事旅行会社からの冬期派遣旅程・見積については、別途複合地区内で了承の得られたものを各担当通信窓口MDから各MDへメール送信予定。
(写し：日本ライオンズ連絡事務所)

以上

第1回八複合地区MD/GMTコーディネーター会議 議事録

日 時：2013年9月6日(金)
13:30～16:30
場 所：日本ライオンズ連絡事務所

出席者

国際第二副会長	山田 實 紘 (欠)
GMT会則地域副リーダー(日本)	PID 山 浦 晟 暉
GMTエリアリーダー(西日本)	PID 高 田 順 一
GMTエリアリーダー(東日本)	PCC 後 藤 忍
GLTエリアリーダー(西日本)	PDG 鈴 木 誓 男
家族会員開発エリアリーダー(東日本)	PCC 石 井 征 二
家族会員開発エリアリーダー(西日本)	PCC 奥 村 仁 志
女性会員開発エリアリーダー(東日本)	PCC 河 合 悦 子
女性会員開発エリアリーダー(西日本)	PDG 松 井 和 子 (欠)

【MD GMTコーディネーター】

MD 330 PDG 金 子 正 之	MD 331 PDG 茂 尾 実
332-B PDG 種 市 一 二	MD 333 PDG 佐 藤 和 正
MD 334 PDG 青 木 重 臣	MD 335 PDG 足 達 靖 彦
MD 336 PDG 山 地 章 靖	MD 337 PCC 北 島 建 則

◎配布資料

*バンコクGMT/GLT会議資料

(山浦会則地域副リーダー、高田・後藤両エリアリーダーの活動報告)

*2012-2013年度四半期会員増減状況一覧表(全日本)

*2013年9月3日現在の全日本会員増減表

*バンコクGMT/GLT会議決議事項

*2013-2014年度GMT組織表

*山田国際第二副会長方針に基づくGMT会員増強計画(山浦会則地域副リーダー)

*山田国際第二副会長書簡

*家族会員の例会出席に関する質問に対するスコット・ドラムヘラー幹事の回答

*2013-2014年度GMTコーディネーター名簿

議 事

1. 後藤 忍GMTエリアリーダーの司会で開会と資料説明

2. 山浦晟暉会則地域副リーダー挨拶

3. 鈴木誓男GLTエリアリーダーより山田實紘国際第二副会長欠席の事情説明

4. 後藤 忍GMTエリアリーダーより出席者の紹介

※山浦晟暉会則地域副リーダーより家族会員開発エリアリーダー、女性会員開発エリアリーダーの新設の経過説明

※新設ポストの呼称を今後「家族会員開発エリアリーダー」、「女性会員開発エリアリーダー」に統一する。

5. バンコク・GMT/GLT会議報告

1) 山浦晟暉会則地域副リーダーより資料に基づき発表内容の報告

※会員増強計画(10万人→20万人)、女性会員12%→15%、家族会員開発エリアリーダー、女性会員開発エリアリーダーの新設、全日本ガバナー会議年4回開催

2) 高田エリアリーダーよりGMT決議の説明

※テアサップ・リー元国際会長から交代したウインクン・タム(元国際会長)会則地域リーダーの要請で、各地区ガバナーが提出した四半期毎の会員増強計画が現実的な数字でない地区が多いので見直しを求める決議をした。

同計画案の提出期限を本年10月末までとし(この期限は最終的にウインクン・タムリーダーと協議して決定)、現実に即し、且つ日本では急拠家族会員招聘による倍増計画が出来たのでこれにも合わせて検討・見直しをしてもらうこととした。

6. 家族会員について

1) 家族会員(二人目以降)の例会出席

高田エリアリーダーより、スコット・ドラムヘラー幹事からの回答書により、国際協会の考え方の説明

※クラブが適正な手続きで認めていれば出席義務はなしでもよい。

2) 山田實紘国際第二副会長の考え方

家族会員(二人目以降)は、入会金と国際会費 US\$21.5 の負担のみとし、複合・準地区・クラブの会費をすべて無料としてもらいたい。そのための会則の変更等必要措置をとってもらいたい。その家族会員によって会員倍増(10万人→20万人)計画を実現したい。

3) 山浦晟暉会則地域副リーダーより、上記山田国際第二副会長の考えに沿った家族会員の在り方と会員増強計画及び賛助会員の説明

* 質問(石井 PCC) 家族会員を eMMR ServannA(サバンナ)で登録すると正確な住所の記載が必要だが「同居」の要件の対応は？

回答 —同居の要件を固く考える必要なし。クラブ住所の記載でもよい。

* 質問(河合 PCC) マンスリーレポートに出席率欄への記載は？

回答 —今後その記載をなくす方向でいく。

* 質問(茂尾 PDG) 家族会員(二人目以降)に例会出席義務なしと言い切るのは不適當ではないか？

回答 —可能なきのみ出席、と変更する

7. 山浦晟暉会則地域副リーダーより、GMT新組織図についての説明

8. 会員増強計画(10万人→20万人)の達成期限

「本年度末(2014年6月末)までに倍増」とする。

9. その他

1) 全国GMT/GLT研修会を2月1日(土)～2日(日)に行う。

出席者はGMT・GLT各エリアリーダー、GMT・GLT各複合地区コーディネーター、第一・第二副地区ガバナーを予定。

2) 次回八複合地区MD/GMTコーディネーター会議は、12月中旬開催の全国ガバナー連絡会の前後日のいずれかで開催する。

以上

(2013-2014 年度)

第 1 回複合地区会則委員長連絡会議要録

◎日 時: 2013 年 9 月 25 日(水) 13:30-16:30

◎場 所: 日本ライオンズ連絡事務所(東京都)

◎出席者:

330 複合地区会則委員長	秋山 詔樹 (副世話人)
331 複合地区会則委員長	井ノ浦 義明
332 複合地区会則委員長	外崎 勲
333 複合地区会則委員長	大竹 伸一
334 複合地区会則委員長	宮下 満栄 (世話人)
335 複合地区会則委員長	菅 春水
336 複合地区会則委員	福永 栄一
337 複合地区会則委員長	増田 敏雄
議長連絡会議世話人	小板橋 欽也
議長連絡会議副世話人	佐藤 精一郎

秋山委員長は交通事情により遅れるとの連絡が入り、会議招集者の小板橋議長連絡会議世話人が定刻で開会した。佐藤副議長会世話人から会則会議開催を急いだ経緯の説明あり。議事に先立ち、出席者の自己紹介あり。

◎議 事:

1. 連絡会議世話人、副世話人の互選

複合地区連絡会議規定第 4 条に基づき、MD334 宮下委員長を世話人に互選し、MD330 秋山委員長が到着した後、秋山委員長を副世話人に互選した。

2. 2013 年会則・付則改正の確認

(1) 2013 年 7 月ハンブルク国際大会で 2 つの改正案がすべて可決された。

①国際会則第 5 条 1 項・8 項、国際付則第 3 条 3 項

「国際本部長」から「事務総長」に役職名を復活し、上席事務総長/事務総長の 2 つの役職とする。本部役員名の個別表記を「運営役員」に統一する。

②国際付則第 11 条 7 項

終身会員の一括納入金を 500 ドルから 650 ドルに増額する。

また 2011 年 7 月シアトル国際大会で改正された国際付則第 12 条 2 項会費値上げが 2013 年 7 月 1 日より実施された。家族会員登録の子会員は半期分国際会費の半額 10.75 ドル、年額は 21.50 ドルとなる。

7 月 1 日より	半期分国際会費(米ドル)	一人年額
2012-2013 年度	20.50	US\$41.00
2013 年 7 月以降	21.50	US\$43.00

(2) 第 59 回各複合地区年次大会決議抜粋を確認し、MD337 大会で第 7 条 3 項(複合地区年次大会・定足数)および第 20 条 3 項(地区年次大会・定足数)が採択され、8 つの MD で当該条文が共通となった。MD336 大会では、大会費が月 50 円から 80 円に値上げされた。

(3) 標準版クラブ会則および付則の改正された条文を確認した。

①2012 年 11 月インディアナポリス国際理事会改正(クラブ支部の規定)

②2013 年 7 月ハンブルク国際理事会改正(会員委員長、会員委員会)

①クラブ支部は親クラブの委員会から一つの「付設組織」となり、支部は独自の金銭口座を持ち会費を集めてから親クラブに国際・複合地区・準地区の会費を支払う形となり、より自由な組織運営ができるようになった。また、支部解散は親クラブ理事会の 2/3 の決議から、支部会員も含めた親クラブ会員全員の過半数の決議に変更された。

②「会員委員長」は選挙により選ばれ、クラブ役員としてクラブ理事会メンバーを務める。その際「会員理事」の役職名とはせずに「会員委員長」の名称を使う。また、3 年任期の 3 人で構成していた会員委員会は、会員委員長が会員増強やクラブ会員満足度を高めるために適した構成とすることができるようになった。

(4) ライオンズ必携第 53 版見本刷りと 2013-2014 ライオンズ必携第 53 版主な改訂箇所一覧を基に、(1)～(3)の改正された条文を確認した。

3. 2013 年ハンブルク国際理事会決議事項の確認

ドイツのハンブルク国際大会直前の 6 月 30 日～7 月 3 日に行われた国際理事会決議事項要約(本部ウェブサイト掲載)を確認した。

地区及びクラブ・サービス委員会

決議 3.ステータスクオ処分を受けたクラブに対する公認ガイディング・ライオン任命を義務付ける。

決議 4.地区ガバナーが地区大会または複合地区大会の 90 日前までクラブをステータスクオ処分とする要請ができるように方針改定。※従来は 12 月末までを勧告可能な期限としていた。

決議 5.会費や他の納入金請求に対して 10 米ドル以下の未納残高があるクラブが他の義務についてグッドスタンディングである限り、グッドスタンディングとみなされるよう方針改定。

決議 7.地区再編成案には会員増強及び指導力育成に向けた計画が含まれなければならないとともに、再編成案の考察は 10 月の理事会決議において行われるよう方針改定。

決議 8.グローバル会員増強チーム(GMT)とグローバル指導力育成チーム(GLT)におけるエリアリーダー数を 40 名から 41 名に変更。※2013-2014 年度 GMT/GLT のリーダー一覧を確認。

リーダーシップ委員会

決議 1.ゾーン・チェアパーソンとリジョン・チェアパーソン(設置された場合)を地区レベルのグローバル指導力育成チーム(地区 GLT)に追加。

会員増強委員会

決議 1.レオ・ライオンズクラブ結成に際して、チャーター費免除の対象となるためには、10 名以上のレオ・ライオンが少なくとも 1 年と 1 日レオクラブに所属していなければならない(即時発効)。

決議 2.家族会員の入会費再導入及び証明手順への変更(2013 年 7 月 1 日発効)。※国際理事会方針書第 18 章の改正された家族会員プログラム 4 項に、国際会費を全額支払う一人目(世帯主)の家族会員が終身会員の資格対象となることが明記されたことを確認した。

決議 3.ゾーン・チェアパーソンを地区 GMT コーディネーター・チームのメンバーに追加(即時発効)。

効)。

決議 4.地区のGMT/GLT体制活用のため、クラブ会員委員長の責任及び職務を更新(即時発効)。クラブが会員増強と会員の満足度向上を優先事項とし、その取り組みをリードするクラブチームの結束に役立つ。

決議 5.クラブ支部プログラムへの変更が資金、会費、解散、会員招聘、クラブ出席の規定等において、クラブ支部の自立性を高めるものであることを確認。

奉仕事業委員会

決議 4.レオの新会員入会費に言及する箇所を削除(2014年2月1日発効)。※標準版レオクラブ会則第11条会費Aの条文改正。

4. 前年度連絡会議からの申し送り事項

(1) 2012-2013年度第3回会則委員長連絡会議要録抜粋が配られ、申し送り事項(*)を確認した。GMTが2008年から、GLTが2011年から開始され、コーディネーターは3年任期となっているため、2014年に新たに次のコーディネーターが任命されることになっている。GMT/GLTを地区キャビネットの構成に加えるほうが活動しやすいのではないかと意見もあった。

前年度申し送り事項を議長連絡会議に報告し、複合地区会則改正案作成を検討することにした。

(*)申し送り事項

GMT/GLT 地区コーディネーターを投票権のある地区キャビネット構成員に加えるため、複合地区会則の改正案を作成する。

(2) 次の事務報告を聞いた。

①333-C地区四街道順天クラブスポンサーにより神津島クラブ誕生(2013/6/22 認証)により、複合地区会則別表1の333-C地区千葉県に神津島(東京都)を含めて掲載する必要あり。

②2013年7月より、YEからYCE委員会に8つのMDが名称を統一したため、複合地区会則中の「YE委員長」を「YCE委員長」に変更する必要あり。

③2013-2014役員必携P.211付表26の国際会費月割り請求額は国際本部資料を基に掲載したが、7月以降の請求書では $21.5 \text{ドル} \div 6 \text{ヵ月} = 3.58333\dots$ の端数を切り上げた額に訂正されているとの報告あり。新入会員の国際会費はクラブ口座に請求されてから振り込むようお願いする。

5. 臨時議長連絡会議から付託された事項

(1) 9月11日に行われた臨時議長連絡会議から付託された事項について、佐藤議長連絡会議副世話人から説明を聞いた。

(2) ①2013年8月吉日付け山田實紘国際第二副会長書簡(My Family My Club、家族で会員倍増を)および、②同年9月11日付け高田順一GMTリーダー・元国際理事Eメール書簡(家族会員の例会出席に関する質問について)のコピーが配られ、各会則委員長にMDや地区の状況を報告してもらった。MDにおいてガバナー協議会で検討中、地区においてはガバナー公式訪問中のため保留中、あるいは詳細は説明せずに会員増強の通知を出したところなど、その対応はまちまちであった。

日本のライオンズのみが正会員である家族会員の例会出席義務にこだわっているとの見解や今後「例会」の翻訳を見直すこと、また家族子会員のMD・地区会費免除案や定期的会合の出席義務の免除等の方針について意見交換した。

(3) クラブ例会(regular club meeting)を今後国際本部が別な用語に翻訳することになった場合には、ライオンズ必携をはじめ国内のすべての出版物を変更しなければならなくなるため、今年度会則委員長連絡会議で継続して検討すべきとの提案あり。

6. ライオンズ必携、ライオンズクラブ役員必携の製作

(1) ライオンズ必携注文部数と会員数比率、印刷部数一覧や役員必携の地区注文部数一覧が提出された。ライオンズ必携第53版のクラブ注文部数は78,231部、単価160円で頒布し、9月末発送。役員必携は地区が役員セミナーのテキスト等に購入し、12,000～13,000部の注文があり、単価450円で頒布しているとの補足説明あり。

(2) 2014-2015年度用のライオンズ必携・役員必携の改訂版を製作することを申し合わせ、議長連絡会議に提案することにした。

7. 次回会議

第2回会議 2013年12月3日(火) 13:30-16:30 場所:日本ライオンズ連絡事務所

以上

2013～2014 年度 336 複合地区緊急援助資金委員会要録

日 時 : 2013 年 8 月 29 日 (木)
(電話連絡による持ち回り委員会)

出席者 :

役 職	氏 名
336 複合地区緊急援助資金委員会 委員長	渡 部 雅 文
〃 委 員 (336-A 地区ガバナー)	松 前 龍 宗
〃 委 員 (336-B 地区ガバナー)	井 上 亮 二
〃 委 員 (336-D 地区ガバナー)	坂 根 勝
〃 委 員 (336-C 地区ガバナー)	池 田 康 彦

議 事 :

1. 「平成 25 年 8 月岩手・秋田豪雨災害」への緊急援助資金拠出依頼について
336-D 地区坂根ガバナーより、緊急援助資金拠出が提案されたことを受け、緊急審議を行いたい。

坂根ガバナーによる発案を受け、8 月 29 日、電話連絡による緊急援助資金委員会で審議した結果、緊急援助資金委員会全員の賛成により、336 複合地区緊急援助資金から 200 万円を拠出することを決定した。

なお、岩手・秋田両県で 8 月 9 日に災害救助法が適用されたことを確認した。

承 認

2. 「平成 25 年 8 月島根県豪雨災害」への緊急援助資金交付依頼について
336-D 地区坂根ガバナーより、緊急援助資金の交付が依頼されたことを受け、緊急審議を行いたい。

坂根ガバナーより、8 月 24 日からの豪雨により島根県浜田市・江津市を中心として甚大な被害が報告されている。雨量は 7 月 28 日の山口・島根豪雨に匹敵するものであるとして援助の発案があった。

8 月 29 日、電話連絡による緊急援助資金委員会で審議した結果、336 複合地区緊急援助資金より 50 万円を拠出することで合意したが、平成 25 年 7 月豪雨災害への義捐金に対する報告がなされていないこと、災害救助法が適用されていないことから、現段階での拠出決定は見送られた。

この件については引き続き臨時ガバナー協議会で検討する。

承 認

2013～2014 年度 336 複合地区緊急援助資金委員会要録

日 時 : 2013 年 9 月 18 日 (水) 15 : 30～16 : 00

場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局

出 席 者 :

役 職	氏 名	出欠
ガバナー協議会 議 長	渡 部 雅 文	○
ガバナー協議会 副議長 336-A 地区ガバナー	松 前 龍 宗	○
ガバナー協議会 副議長 336-B 地区ガバナー	井 上 亮 二	○
ガバナー協議会 幹 事 336-D 地区ガバナー	坂 根 勝	○
ガバナー協議会 会 計 336-C 地区ガバナー	池 田 康 彦	×
事務局運営委員長	宗 像 慶 夫	○

議 事 :

1. 「平成 25 年 8 月島根県豪雨災害」への緊急援助資金交付依頼について

坂根ガバナーより、8 月 29 日の電話連絡による緊急援助資金委員会で拠出を見送られた件について、災害救助法が適用されたことから再度交付を依頼するとして資料をもとに説明があった。

坂根ガバナーによる援助の発案を受け、336-D 地区で発生した災害に対して、見舞金として 50 万円を拠出することを決定した。

緊急援助資金規定そのものの見直しが必要であるとの意見もあった。

LCIF 交付金は現金を配布するのではなく物資を支援することとされている。商品券の配布も現金と同じ意味である。

複合地区からの支援金についても、市町村や新聞社に渡すのではなく、ライオンズからライオンズへ渡されるべきであることを確認した。

承 _____ 認

2013-2014 年度 第 1 回 336 複合地区 GMT コーディネーター・GMT 委員長 合同会議要録

日 時 : 2013 年 8 月 8 日 (水) 14:30~17:00
場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局
岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F

出席者 :

336 複合地区ガバナー協議会議長	渡 部 雅 文	○
336 複合地区ガバナー協議会副議長・A 地区ガバナー	松 前 龍 宗	○
336 複合地区ガバナー協議会副議長・B 地区ガバナー	井 上 亮 二	○
336 複合地区ガバナー協議会幹事・D 地区ガバナー	坂 根 勝	○
336 複合地区ガバナー協議会会計・C 地区ガバナー	池 田 康 彦	○
336 複合地区 GMT (会員・EXT・会員維持) 委員長	寺 越 慎 一	○
336 複合地区 GMT コーディネーター	山 地 章 靖	○
336-A 地区 GMT コーディネーター	山 田 守 雄	○
336-A 地区 GMT 委員長	多 田 登 美 子	○
336-B 地区 GMT コーディネーター・336-B 地区 GMT 委員長	上 原 正 樹	○
336-C 地区 GMT コーディネーター	久 保 行 夫	○
336-C 地区 GMT・GLT 委員長	高 田 忠 明	○
336-D 地区 GMT コーディネーター	浅 田 保 彦	○
336-D 地区 1~3R GMT 委員長	北 川 恵 三	○
336-D 地区 4~7R GMT 委員長	松 浦 正 人	○
336 複合地区ガバナー協議会事務局運営委員長	宗 像 慶 夫	○

次 第 :

- 議長あいさつ 336 複合地区ガバナー協議会 議長 渡 部 雅 文
 先般、山田国際第 2 副会長との懇話会がございました。現在 10 万人の会員を 20 万人に増強するようにとのことでした。
 GMT の皆様には大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。
- 委員長あいさつ 336 複合地区 GMT (会員・EXT・会員維持) 委員長 寺 越 慎 一
 今年度は GMT 委員長として期首の早いうちから会議を開催して会員増強を目指したいと考えました。会員増強はお願いするだけでなく、自分自身が率先して進めていただきたいと思えます。是非ともこの一年間よろしくお願いいたします。
- GMT コーディネーターあいさつ GMT コーディネーター 山 地 章 靖
 複合地区 GMT コーディネーターとして 3 年目を迎えました。会員数の動きは捗々しくありません。本日の資料の中にも私が作成したものも用意しましたので、後程ご説明いたします。
 また、昨年度 3 月に開催された 8 複合地区 GMT コーディネーター会議の要録に各地区における会員増強の取り組み方をまとめております。参考にさせていただきたいと思えます。
 ガバナー宛の山田国際第二副会長からの文書では、家族会員プログラムを積極的に取り入れて会員増強をすすめることが提唱されています。これには異論もあると思えますが、334 では家族会員を増強して実際に会員数を大幅に伸ばしています。地域の事情もありますが、参考になることもあると思えます。

4. 資料確認

- ① MD336 地区別会員増強計画・実績対比表（2013年7月現在）
- ② 8 複合地区 GMT/MD コーディネーター会議（2013/3/22）要録
- ③ 336 複合地区内準地区会員数推移（過去4年間）
- ④ 日本のライオンズ「eMMR ServannA 報告」（2013年6月末現在）
- ⑤ 2012-2013 年度会員増強目標実績最終結果（2013/7/19）
- ⑥ 2013-2014 年度会員増強目標

寺越委員長、山地コーディネーターより資料の説明があった。

寺越委員長

336 複合地区の GMT は、会員増強のために委員長を設置し、コーディネーターにはアドバイスをいただくということで組織を構成した。本日は第 1 回目の会議であるため、ガバナーにも出席いただいている。

国際協会は、女性会員、家族会員の増強を進めているが、336-C 地区では家族会員に反対意見が多くあり、昨年度 336 複合地区 GMT 委員長から家族会員プログラムの件で提案があったが、ガバナー協議会としては家族会員には触れないとの結論になった。本日は、主に「336 複合地区内準地区会員数推移」をもとに会議を進めていく。この資料では、4 年間のうち、昨年度の 336-B 地区のみがプラスであったことがわかる。支部会員増強に積極的に取り組んだことが要因であるが、この件については後程 B 地区担当者より説明いただく。

会員はただ増やすだけでなく、会員の質も重要視した上で勧誘しなければ、結果的に数年で退会してしまうということにもなるので、注意いただきたい。

山地コーディネーター

「336 複合地区内準地区会員数推移」では 6 月一か月間のみの会員動向にも注目していただきたい。毎年、5 月末時点ではプラスであっても 6 月一か月間の退会者数が大きく、結果、会員減となっている。ガバナーには会員増強に関するアワードについて検討いただきたい。

会員増強に関するアワードの対象（各地区の現状）

- ・B,D 地区 ⇒ 年次大会以降も後期アワードとして 6 月末までを対象にする。
- ・A,C 地区 ⇒ 2 月からの実績は翌年度のアワードの対象とする。

5. 協 議

(1) 昨年度の反省

(2) 今年度の各地区会員増強目標と達成するための手段

A 地区 松前ガバナー

6 月末に 2 クラブが解散し、40 名弱の退会になったが、ガバナーに報告された時点では対応できない状況であった。早く情報を得られるようにしなければならない。会員の自然減はあるが自然増はない。公式訪問では、入会式と同様に退会式も行うことを表明すること、70 歳を過ぎたら二世に入会していただくことをお願いしている。

A 地区 多田委員長

今期ガバナー方針で会長自身が率先して会員増強をしていただくことを依頼したところ、7 月のマンスリーで良い結果がでており、7 月末で 5,370 名である。期末まで気を緩めずに取り組みたい。

A 地区 山田コーディネーター

6 月 20 日に第 1 号のクラブ支部が編成できたことが良い景気づけになった。今期、ガバナーはクラブ支部編成を最重点項目に挙げており、27 名の ZC に一人当たり 2 つのクラブ支部編成を依頼している。これが実現すれば 54 のクラブ支部ができる。9 月にライオンズフォーラム in 高松を開催する。クラブ支部の分科会も計画している。

B 地区 井上ガバナー

昨年度は、B 地区はプラスであった。昨年度第一副地区ガバナーとして、GMT コーディネーターと協力してクラブ支部のいろはを全クラブに徹底するよう取り組み、7 支部が編成できた。結果的に 18 名増で終えられたのはクラブ支部の編成が大きな要因であったと思われる。4 月末時点では 30 名増で終える見通しであったが、6 月の退会者数が想像以上に多かった。5 月が重要であると考え、5 月初旬に 6 月末の退会防止を図るためクラブ宛に文書を発送した。

B 地区 上原コーディネーター・委員長

今年度ガバナーは 300 名増、66 名純増、15 の支部クラブ編成を目標に掲げている。ゾーンレベル会員委員会等の活動が盛んであり、クラブの会員一人一人が会員増強を念頭に活動していただく。1 クラブ 1 名の純増を最低限度の目標とするようお願いしている。若年者にはライオンズクラブは理解されにくい。入会の勧誘ではなく、ライオンズクラブの活動の PR に重点を置いてもらう。アクティビティに参加していただきライオンズクラブの活動に理解を得たい。支部クラブには地区内にも温度差がある。理解を得るために活動していきたい。

C 地区 池田ガバナー

4 月まではプラスであったが、5 月にマイナスに転じて結果的には 76 名減であった。一昨年は 51 名減であったことを考えれば下げ止まり感がある。本年度の目標は、1 クラブ 1 名の純増、支部は 1 リジョン 1 支部で 7 支部の編成。B 地区より講師を招き支部クラブ編成を検討したい。336 は女性会員の割合が 6%であり全国的に見ても少ない。C 地区は 10%を目標にしている。

C 地区 久保コーディネーター

コーディネーターをアドバイザーとして位置付けた。過去の会員数推移から下げ止まり感はあるが対策が必要である。少数クラブの解散の可能性が大きい。今後のことを考えてゾーン・リジョンの再編成推進協議会を立ち上げた。統計により、女性会員の構成比は東が高く西が低いことが分かった。今年度は女性会員増強を図る。

C 地区 高田委員長

女性会員増強、クラブ支部編成を重点項目にしている。8 月 21 日に研修会を開催し、B 地区から講師を招き支部の作り方の説明をいただく予定である。会員 1 人が 2 名以上に入会の勧誘をすること、リジョンごとに会員増強・支部編成の委員会をつくることをお願いしている。

D 地区 坂根ガバナー

基本方針は会員維持に重点を置いている。会員減少が喫緊の課題であり、各クラブ純増 1 名とリジョンで最低 1 つの支部を編成することでプラスを目指す。退会防止に繋がるような情報は早期に入手して手を打つよう依頼している。

D 地区 浅田コーディネーター

昨年一年間は 4~7R GMT 委員長として GLT 委員長とともに活動した。平均年齢が高い、過疎地のため活動が続けられないという理由で 2 クラブの解散があった。クラブ会長・幹事が動かなければ会員増強はできないと実感している。会員増強より会員維持が重要であると考え、入会后 3 年未満の会員を対象にオリエンテーションを行い、好評であった。月二回の例会を楽しいものにする、新しいアクティビティのやり方等を模索することが会員増強に繋がる。

D 地区 北川委員長

島根県の 43 クラブが対象であり、エクステンションと会員増強が大きな目標である。RC、ZC と連携して、支部を立ち上げるところから始めたい。島根県では理解を得られにくい、実践地区の例を参考にしてもらおうよう依頼している。例会を楽しく魅力あるものにすることが会員維持、会員増強に繋がる。また、スポンサーゼロなし運動として、一人ひとりがその気になって声をかけていただくことをお願いしている。20 名以下のクラブでは、クラブ解散、会員減少に危機感を抱いている。

D 地区 松浦委員長

なぜライオンズクラブに入会するのか、せっかく入会したのになぜ退会するのか、6 月になぜ退会が集中するのか、また支部とは何か、基本的なところをお聞きしたい。3 年前に会長をしたときに 22 名の会員増強をした。入会させた人を辞めさせないようにする努力を怠った場合は退会に繋がるが多い。スポンサーが退会防止に全力を尽くすことが、消極的ではあるが一つの方法である。ガバナー諮問委員会において支部クラブについて説明された際に、消極的な意見が多かった。レオ会員がライオンズにもロータリーにも入会しない場合があるのは、経費の問題である場合が多い。支部というやり方を打ち出しても理解されにくい。支部はエクステンションに繋がる人達を集めようとしているのか、支部編成にかかる費用・維持する費用はどこが負うのか、ライオンズクラブのメンバーが辞めていく主たる原因は何であるかを複合地区ではどのように考えているのか、入会金・会費が現在の経済情勢にマッチしないのか、他複合地区の成功例等もさらに掘り起こした説明をいただき、今後の活動の糧にしたい。

(3) その他

クラブ支部について（渡部議長による B 地区の現況報告）

- ・二世会員を集めた支部を作ることは、会員の子息がロータリー等の他奉仕団体へ入会をすることを防ぐのに有効な方法である。また、これ以上会員を掘り起こす余地がないような地域では、親族・知人等、女性を主とした支部を編成するケースもある。
- ・クラブ支部はライオンズクラブの委員会組織という認識を持っていただきたい。
- ・月 1 回の支部会を開催し、月会費は 3,000～5,000 円の場合が多い。
- ・支部会員は親クラブの正会員である。
- ・クラブ支部は 5 名以上で編成できる。地域社会に奉仕するメンバーを増やすために、5 名からでも編成できる。

2013-2014 年度会員増強目標（ガバナーによる説明）

A 地区 松前ガバナー

エレクトセミナー期間中に考えた数字であるが、目標数以上を目指して会員増強に努める。4～5 月の退会防止策を早急に立案したい。

B 地区 井上ガバナー

エクステンションより支部編成が急務と考えた。前年度 7 支部が編成できたことから今年度は 15 支部を編成し、300 名増の試算とした。退会者をいかに抑えるかに重点を置きたい。実現可能な範囲で考え、純増 66 名を目標にする。

C 地区 池田ガバナー

1 クラブ 1 名純増、1R1 支部編成、女性会員 10%の目標を依頼している。過去 4 年間の実績をもとに作成した数字であるが、目標数以上の結果になるよう努力する。ライオンズクラブは楽しくなければならぬと考えている。自分のクラブが自慢できること、親友あるいは親友の子息を勧誘することを訴えている。

D 地区 坂根ガバナー

熟慮して出した数字であるが、6月1か月の退会者を考慮すれば、この数字では目標は達成できない。1クラブ1名の純増を目標に、最終的にはエレクトセミナーで立てた目標を達成できるよう努力したい。

まとめ

寺越委員長

クラブ支部編成、女性会員増強は、会員増強の有効手段である。

ライオンズクラブは異業種の方が集まるところが良い点でもある。

具体的に声をかける相手を絞って招請していただきたい。

2015年に山口県で世界スカウトジャンボリーが開催される。支援協力することは青少年健全育成のアクティビティにもなり、ライオンズのPRにも繋がる。

山地コーディネーター

会員増強は地区ガバナー・チームが中心となって進めていくが、委員会、コーディネーターも協力して取り組んでいただきたい。

実働はクラブである。クラブ会長の考えひとつでクラブの盛衰が決まる。会員増強は永遠と続いてきた課題であり、また、妙案はない。

支部クラブからエクステンションする際には、シニアクラブ、センチュリークラブとして安価な会費で結成すれば経費負担が少ない。

本日の話を地区へ持ち帰り、リジョン、ゾーン、クラブへ通達し、会員増強・維持に繋げていただきたい。情報を早急にクラブに流し、クラブが即実行できるような取り組みが必要である。

複合地区コーディネーター会議が9月6日に予定されている。資料はいち早く報告できるようにする。

国際協会は、将来的には男女比を等しくすることを目標にしている。日本では来年は10万人を切るという危機感が持たれている。

他地区の取り組みを参考にいただき、情報交換をし、この会を有効に利用していただきたい。

6. 次回会議について

次回会議は1月頃に開催する。

7. 閉会

2013～2014 年度第 1 回

336 複合地区会則・運営マニュアル編集委員会要録

日 時 : 2013 年 9 月 18 日 (水) 10:30～12:00

場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局

岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F

出席者 :

336 複合地区ガバナー協議会議長	渡部 雅文	○
336 複合地区ガバナー協議会副議長・A 地区ガバナー	松前 龍宗	×
336 複合地区ガバナー協議会副議長・B 地区ガバナー	井上 亮二	○
336 複合地区ガバナー協議会幹事・D 地区ガバナー	坂根 勝	○
336 複合地区ガバナー協議会会計・C 地区ガバナー	池田 康彦	×
336 複合地区会則・運営マニュアル編集委員長	岡村 聖爾	○
336 複合地区会則・運営マニュアル編集委員長 (2012-2013 年度)	光貞 正明	○
336 複合地区運営マニュアル編集副委員長	中本 博泰	○
336 複合地区運営マニュアル編集委員	長谷川 憲男	○
336 複合地区運営マニュアル編集委員	福永 栄一	○
336 複合地区運営マニュアル編集委員	菅 武廣	○
336 複合地区ガバナー協議会事務局運営委員長	宗像 慶夫	○

次 第 :

1. 議長挨拶 336 複合地区ガバナー協議会議長 渡部 雅文
必携が会則に相違があるということも言われています。必携が変更されれば、必携に準じて運営マニュアルも改定しなければならないと思います。本日はよろしく願いいたします。
2. 担当ガバナー挨拶 336 複合地区ガバナー協議会幹事 坂根 勝
先般は 336-D 地区の災害に対して支援金を拠出いただきましてありがとうございます。8 月末に再度豪雨災害が発生し、再度支援をお願いしているところでございます。
3. 委員長挨拶 336 複合地区会則・運営マニュアル編集委員長 岡村 聖爾
本日は第 1 回の会議です。運営マニュアルと必携との問題、会則変更に伴う変更もありますので、前年度の光貞委員長にもご同席いただき、第 15 版発行の際の経緯をお話しいただきたいと思っております。第 16 版の作成についても協議しなければなりません。ガバナー協議会からの諮問事項もございます。よろしく願いいたします。
4. 報告事項
 - (1) 第 1 回ガバナー協議会後の報告 〔協議会議長〕
第 1 回ガバナー協議会において就業規則および給与規則の改定を決定後、連絡会議で意見があり、会則委員会へ諮問した経緯が説明された。
 - (2) 第 1 回複合地区会則委員長連絡会議開催案内 (10/25) 〔協議会議長〕
岡村委員長が出席できないため、福永委員に代理出席いただくことが報告された。

- (3) MD336 運営マニュアル第 15 版編集の経緯 [前編集委員長]
光貞前委員長より説明があった。
運営マニュアルは、各地区の次期三役研修で使用するため 4 月発行を目指して作成している。第 15 版改定の際には、キャビネットを通じて各クラブからの意見を集め、また、日本レベルでの協議内容を含めて内容を精査して編集した。変更箇所のみの変更、インターネットからのダウンロードという方法もあったが、やはり紙媒体での発行が望ましいとの結論に至った。

- (4) MD336 運営マニュアル第 15 版の発行予算並びに収支経緯 (別紙 A)
岡村委員長より、資料に基づき説明があった。

5. 協議事項 (別紙 B)

- (1) ガバナー協議会からの諮問事項
岡村委員長より、給与規則に関する現状の問題点が示された。
定年については、定年年齢の引き上げに関する制度の説明があり、満 65 歳に引き上げ、退職金は 60 歳時基本給によることを明記すべきとの発言もあった。
今後、小委員会で諮問事項について検討し、原案を作成することとされた。
- (2) 昨年度よりの継続審議事項
昨年度からの継続審議事項について岡村委員長より説明があり、内容を確認した。
引き続きガバナー協議会で検討することとされた。
- (3) MD336 運営マニュアル第 15 版発行後に寄せられた意見並びに質問事項
- ① メルビン・ジョーンズ会員増強プログラムについて
「メルビン・ジョーンズ会員増強プログラム」ではなく、メルビン・ジョーンズ会員を増強するよう努めることであると解釈する。
- ② ドネーションの用途について
会員からのドネーションは、基本的には事業費会計に入れるべきであるが、会員から用途指定がない場合は、理事会の決定により運営費会計に繰り入れても良い。役員必携 132 頁「会員寄付収入（ドネーション）」記載通りであることを確認した。

- (4) MD336 運営マニュアル第 15 版編集後の会則変更事項

6. 審議事項

- (1) MD336 運営マニュアル第 16 版の発行に関して
発行の是非、発行の時期、発行のスタイル、発行の部数
第 16 版を発行することで合意した。

7. 今後の編集委員会の活動スケジュール並びに開催予定について
今後の活動スケジュールは、全国ガバナー会後に決定する。

8. 閉 会

2013-2014 年度
第 1 回 336 複合地区 GLT 合同会議要録

日 時 : 2013 年 9 月 30 日 (月) 13:30~16:10
場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局
岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F
出席者 :

336 複合地区ガバナー協議会議長	渡部 雅文	○
336 複合地区ガバナー協議会副議長・A 地区ガバナー	松前 龍宗	×
336 複合地区ガバナー協議会副議長・B 地区ガバナー	井上 亮二	○
336 複合地区ガバナー協議会幹事・D 地区ガバナー	坂根 勝	×
336 複合地区ガバナー協議会会計・C 地区ガバナー	池田 康彦	○
336 複合地区 GLT 委員 (336-A 地区第二副地区ガバナー)	橋本 充好	○
336 複合地区 GLT 委員 (336-B 地区第二副地区ガバナー)	尾崎 博	○
336 複合地区 GLT 委員 (336-C 地区第二副地区ガバナー)	片岡 文彰	○
336 複合地区 GLT 委員 (336-D 地区第二副地区ガバナー)	矢野 敏明	○
336 複合地区 GLT (指導力育成) 委員長	一井 淳治	○
336 複合地区 GLT コーディネーター	光貞 正明	○
336-A 地区 GLT 地区コーディネーター	松岡 豊	○
336-A 地区 GLT ・会則・プロトコル委員長	正木 一志	○
336-B 地区 GLT 地区コーディネーター・GLT 委員長	釜田 理	○
336-C 地区 GLT 地区コーディネーター	占部 裕	○
336-C 地区 GMT ・GLT 委員長	高田 忠明	○
336-D 地区 GLT 地区コーディネーター・GLT 担当委員長	平原 正軍	○
336 複合地区ガバナー協議会事務局運営委員長	宗像 慶夫	○

次 第 :

- 議長あいさつ 336 複合地区ガバナー協議会 議長 渡部 雅文
お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。山田第二副会長の会員倍増計画に GLT 委員会としてどのように対応していくか、大きな問題となっております。慎重審議の程よろしくお願い申し上げます。
- GLT コーディネーターあいさつ GLT コーディネーター 光貞 正明
GLT 複合地区コーディネーターまでが国際会長の任命をいただいております。現在 3 年目であり、集大成の年になりました。次年度への GLT の橋渡しとして後任に引き継いでいきたいと思っております。質の高いリーダーの育成が重要です。GMT と協力して進めていかなければなりません。
- 委員長あいさつ 336 複合地区 GLT (指導力育成) 委員長 一井 淳治
リーダーは必死にやらなければならないということです。
今年度、B 地区と D 地区がコーディネーターと委員長を兼任されていることは前進であると思っております。

4. 議 事 (336 複合地区 GLT コーディネーター進行) 13:35-15:15

(1) 日本レベルの報告

- ① 国際会長から 「夢を追いかけよう」 ドリーム・アチーバー賞 (別紙①)
光貞コーディネーターより資料について説明があった。
リジョンチェアパーソン、ゾーンチェアパーソンが、GMT・GLT コーディネーターの取り組みに参加し活動できるよう研修を行う必要がある。
- ② 日本レベル (別紙②)
GMT・GLT の組織図を確認した。最新の組織は、女性会員開発エリア・リーダーが東西に分かれていることが報告された。
各複合地区コーディネーター8名は、エリア・リーダーの下に入る。
各地区では、ガバナー、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナーを中心としたガバナーチームを組織し、推進することとされている。
- ③ 西日本レベル GLT 会議 11月26日 岡山市にて
第一副地区ガバナー研修会、GLT 合同会議について、光貞コーディネーターより案内があった。(各地区宛すでに発信済)

(2) 各準地区でのセミナー開催

- ① CEP について (別紙③)
光貞コーディネーターより説明があった。
アワードの受賞条件のひとつに、CEP の参加がある。
一般会員には、CEP をはじめ、GMT・GLT 等、用語が理解されていないのが現実である。わかりやすく説明し理解が得られるよう努力すべきであるとの意見があった。
- ② 公認ガイディングライオンについて
光貞コーディネーターより、CEP とともに公認ガイディングライオンについても認知されるべく研修が必要であるとの発言があった。
- ③ 若い方のリーダー育成

(3) 各準地区の展望や報告

A 地区

- ・ CEP、GMT、GLT の用語については理解が十分でないと思う。これまでに地区・クラブで推進されているという実感はない。今年度中に研修会等で理解を深めること、組織を明確にすることを進めるべきである。
- ・ 上に立つリーダーこそ、ライオンズクラブの原点に立ち返るべきである。
- ・ GLT という言葉を聞いたのは今年度に入ってからであり、委員長として何をすべきかを調べるころから始めた。CEP についてもクラブへ発信はしているが自信を持って説明できないのが現状である。

B 地区

- ・ B 地区ではガバナーチームは確実に機能しており、コーディネーターの意見も反映されている。
- ・ 支部の結成には、家族会員、賛助会員が問題になってくる。会員倍增計画が決定事項であるなら、早急に地区での対応を検討する必要がある。

C 地区

- ・ クラブ会長・幹事を対象に CEP ワークショップを予定している。
- ・ 充実した会議になるためには、会議資料を事前に送付されたい。

D 地区

- ・ ガバナー方針で、クラブ支部を作ることを進めている。
- ・ 山田第二副会長の会員倍増計画について、地区内で質問された時に説明できるよう状況を報告いただきたい。
- ・ 昨年度は各クラブに GMT・GLT 委員会がなかったため、次年度には委員会を作るよう依頼していたところ、今年度はほとんどのクラブが対応してくれた。
- ・ 例会時にはライオンズの歌を三番まで歌うこと、ライオンズ綱領を掲げて唱和すること、また各クラブの中で問題を提起し、それについて一つずつ検討することを訴えている。

(4) 問題点の提起

要望 行動目標と報告書 3 カ月（年間 4 回）

各準地区として

地区コーディネーターに対して、四半期ごとの活動報告書の提出が求められた。

(5) その他

- ① コーディネーターと委員長の関係について
昨年度の委員会でコーディネーターと委員長の関係について質問したが、その後報告がなされていないとの指摘があった。
この件に関して、全日本レベルでは、GMT・GLT はチームであり委員会の設置は必要ない、したがって委員長の設置は不要であるとされている旨、光貞コーディネーターより報告があった。
- ② 会員倍増計画について
山田第二副会長による説明として、家族会員プログラムについては国際会長の許可を得て会員倍増計画を進めているものであること、また、家族会員の会費減免は今年度中に決定し年次大会で追認するよう求められていること等、渡部議長より報告があった。
全国で統一したルールで進んでいくということであれば、各地区キャビネット会議で対応を検討しなければならない。

池田ガバナーより、C 地区での対応について説明があった。
山田第二副会長からの文書をクラブへ発信したところ多数の質問があったが、ガバナー公式訪問等で、現時点ではガバナー方針を優先されるよう依頼している。全国ガバナー連絡会、ガバナー協議会での協議によって今後の方針を決定する。また、日本の会員の意見を聞かずに会員倍増計画が進められていることは問題である、議論がなされていないとの発言もあった。

～ 5 分 休 憩 ～

5. 議 事 （336 複合地区 GLT 委員長進行） 15 : 25-16 : 10

- (1) 次の 336 複合地区次期五役研修会について
一井委員長より、昨年度の複合地区次期五役研修会次第をもとに、今年度は内容を一部変更することが提案され、了解を得た。
- (2) 次の 336 複合地区年次大会の機会に何か企画するか
複合地区内の会員が集まる機会に、CEP、家族会員等の研修会をするなど、各地区の意見を伺いたい。

- (3) 新人研修、新人対策について
年二回の研修を推奨されていることについて、地区の状況希望を伺いたい。
- (4) 今年度の当委員会の活動などについての提案
各地区の意見を伺いたい。

上記(2)～(4)について各地区の状況報告並びに意見交換があった。

A 地区

- ・ 新人研修はリジョン単位で行っている。名誉顧問、各リジョンチェアパーソンによる講習が行われているが、複合で統一したマニュアルがあるのかお聞きしたい。
- ・ 複合地区年次大会への参加者は年配者が多い。若い人が参加することで勉強になるのではないか。

B 地区

- ・ 複合地区内の各準地区同士、他地区の研修会へ参加するなど勉強する機会を共有することを希望する。
- ・ 国際会則が日本流に解釈されている部分もあると聞く。複合地区年次大会時に研修を行う等、会則について勉強する機会を作ってはどうか。
- ・ 新人研修の内容はゾーンチェアパーソンに一任している。また、入会后3年未満が対象という認識もあるが、会員研修ということにすれば、より多くの会員を対象にできる。
- ・ 複合地区での研修会は、地区と重複する部分も多いため不要ではないか。

C 地区

- ・ 複合地区年次大会は、前日に前夜祭、当日は代議員会と式典というスケジュールであるが、イベントとして、多数の参加が得られるよう考えなければならない。
- ・ 新人研修は、西部・東部に分けて比較的若い名誉顧問によるパワーポイントを使用しての講習が行われており、毎年好評を得ている。
- ・ 新人研修は、入会后5年未満の会員が対象であり、1回だけでなく複数回受けられている。
- ・ 複合地区年次大会は参加者からはお祭りと思えられており、前夜祭に参加し翌朝には帰る場合が多い。会員にとっては分科会での研修会は興味がないのではないか。

D 地区

- ・ 研修会は地区で行っているため、複合で行う必要はないと思う。

以上の皆様のご意見をお聞きし、一井委員長が次の2件を取りまとめた。

- ① 準地区の開催する研修会に他地区のメンバーも参加できるよう研修会の情報を集める
- ② 新人研修について各地区の内容を取り寄せ、他地区の参考となるように情報としてお知らせする

(以上は、委員長の方で行います。)

6. 次回会議について

今後の会議開催については、GMT・GLTの組織に関する前年度からの申し送り事項の件もあるため適当な時期に開催するとして、GMT委員長と相談して決定される。

7. 閉 会

2013-2014 年度 336 複合地区内準地区 第 1 回環境保全・保健福祉委員長連絡会議要録

日 時 : 2013 年 7 月 25 日 (木) 13 : 30～15 : 30
 場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局
 岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F
 出席者 :

336 複合地区環境保全・保健福祉委員長	菅 武 廣	○
336-A 地区環境保全・保健福祉・アラート委員長	竹 内 麗 子	○
336-B 地区保健福祉委員長	小 野 綜 時	○
336-C 地区環境保全・保健福祉委員長	二 矢 川 謙 吉	○
336-D 地区保健福祉・環境保全委員長	月 森 和 弘	○

次 第 :

1. 委員長あいさつ 336 複合地区環境保全・保健福祉委員長 菅 武廣
 本日は今期始まって間もない時期に、各地区の方針を伺うためにお集まりいただきました。地区委員長の皆様におかれましては年間を通じてお忙しいと思いますが、一年間の任期でございますので、よろしく願いいたします。

協議の前に、各地区委員長の自己紹介があった。

2. 協 議

- ① ライオンズ環境保全写真コンテストについて

参考資料として昨年度の要項が示された。

菅委員長より、昨年はB地区からの応募がなかったが、今年度は積極的にクラブへ周知し、4 地区とも参加していただきたいとの要望があった。

各地区の最優秀作品を 2014 年 1 月 15 日までに複合事務局へ送付する。

2 月中に委員会で審査会を開催し、複合地区最優秀賞を決定する。

- ② 献血推進団体との意見交換会について

開 催 日 : 2013 年 7 月 30 日 (火)

開催場所 : 日本赤十字社血液事業本部兼中四国ブロック血液センター

〔広島市中区千田町 2-5-5〕

意見交換会出席者を確認した。参加者によっては日帰りが難しい場合もあるとの意見があった。

献血について、各地区とも推進が依頼された。

③ 今年度の取り組みについて

・各地区状況報告

事前に各地区委員長より提出された今年度方針をもとに意見交換があった。委員会が担当する内容が地区によって違う、地区内クラブでも委員会の担当事業が統一されていない、また取り組み状況にも温度差がある等の状況が報告された。複合レベルの会議で、各準地区の取り組みをある程度統一していただきたいとの意見もあった。

現・次期委員長の引継ぎ、資料保存が重要である。

各地区委員長間で連絡を取り合い、他地区の情報を取り入れるようにしていただきたい。

A 地区では今年度よりアラートの取り組みが始まった。アラートは他地区でも関心があるため、A 地区での取り組みの経過を報告いただきたい。

④ その他

3. 閉 会

2013-2014 年度 336 複合地区内準地区 第 1 回 YCE 委員長連絡会議要録

日 時 : 2013 年 9 月 26 日 (木) 15:00~17:00
 場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局
 岡山県岡山市北区下石井二丁目 1 番 18 号
 ORIX 岡山下石井ビル 9 階
 出席者 :

336 複合地区ガバナー協議会 議長	渡 部 雅 文	○
336 複合地区ガバナー協議会 副議長・A 地区ガバナー	松 前 龍 宗	○
336 複合地区 YCE・国際関係委員長	宇 高 昭 造	○
336-A 地区 YCE・国際関係委員長	蔵 本 守 雄	○
336-B 地区 YCE・国際関係委員長	北 山 寛 親	○
336-C 地区 YCE・国際関係委員長	高 橋 淳	○
336-D 地区 YCE 委員長	野々村 一巳	×
(オブザーバー) 336-A 地区キャビネット副幹事	三 原 主 幹	○
(代理) 336-D 地区キャビネット副幹事	足 立 守	○

次 第 :

1. 議長あいさつ 336 複合地区ガバナー協議会議長 渡 部 雅 文
 グローバルな考えを持って、また世界の各国との受入、派遣がありますので、事故のないよう細かい点まで考え、進めていただければと思います。
 よろしく願いいたします。
2. 担当ガバナーあいさつ 336 複合地区ガバナー協議会副議長 松 前 龍 宗
 夏が終われば冬が始まり、忙しくご負担の多い委員会ですが、皆さんに感謝申し上げます。遠くからお集まりいただいておりますので、よい会議になればと思います。よろしく願いいたします。
3. 委員長あいさつ 336 複合地区 YCE・国際関係委員長 宇 高 昭 造
 本年度第 1 回目の会議です。1 年間頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。
4. 協 議
 - (1) 2013~2014 年度 336 複合地区 YCE 委員長活動方針…………… (別紙 A)
 宇高委員長より、資料に基づき今年度の活動方針について説明があった。
 - (2) 第 1 回複合地区 YCE 委員長連絡会議報告……………《日本連絡事務所資料》
 宇高委員長より、資料に基づき報告があった。
 - (3) 336 複合地区 YCE 担当旅行社について
 今年度も引き続き、(株)近畿日本ツーリスト中国四国 岡山支店とすることを申し合わせた。

各委員長の意見交換があった。

- ・ YCE の旅行代金が高額であると言われているが、YCE は安心安全を優先するためいたしかたない点もある。
- ・ 来日生の帰国時の荷物が毎年重量オーバーし出国手続き時にトラブルになる点について、オリエンテーションの充実を図る必要がある。
- ・ オリエンテーションの際の説明、急な旅程変更に対応する場合にも、担当旅行社に依頼する方が安心できる。

(4) 2013～2014 年度冬期派遣について

① 派遣生割り当て・派遣希望者名簿 …………… (別紙 B-1', 2')

派遣候補者は 別紙 B-1'、B-2' のとおり決定した。

但し、イタリア派遣候補者については英語力が求められていることを希望者に再度確認のうえ派遣先を決定し、結果を複合事務局へ報告する。

② 派遣日程並びに費用一覧 …………… (別紙 C')

派遣費用は、現地移動費をプール計算で後日精算されるものもあるため、十分説明しておく必要がある。

③ 事務手続の〆切

➤ 派遣候補者名簿<別添①②> : 〆切 9/25 (水)

- ・ 9/18 メール送信済の派遣候補者名簿 (和文、英文) を地区キャビネットで作成し、〆切までに複合事務局へ提出する。
- ・ 派遣先は略号で記載 (No.は空欄) 略号は YE プログラムマニュアル P.76,77 参照
- ・ 氏名 (ふりがな)、年令 (出発時)、性別
- ・ 住所 (派遣生が出発後も連絡が取れる連絡先)
下宿中の場合、名簿には実家を記載する。参考として現住所を確認しておく。
- ・ 電話番号、ファックス、E-mail (データ受信もできるもの)
- ・ 学校名、学年 (現在)
- ・ スポンサークラブ名 (英文は国際本部登録の名称)

➤ 派遣生アプリケーションフォーム<別添③④>

電子アプリケーションフォーム<別添⑤⑥⑦> : 〆切 10/10 (木)

- ・ マレーシア派遣生は、アプリケーションフォームを YE プログラムマニュアル P.54,55 を参考にパソコン (英文) で作成し、キャビネットを確認後、〆切までに複合事務局へ提出する。
様式は MD336 のホームページ (www.lions-md336.org/) からダウンロードしてください。
- ・ イタリア派遣生は、電子アプリケーションフォームにてデータで提出する。
様式は 9/18 メールでお送りしております。
※派遣先によって使用する様式が異なりますので、ご注意ください。

➤ 添付書類 : 〆切 10/10 (木)

- ・ 診断書 (健康調査記入用紙)
様式は MD336 のホームページ (www.lions-md336.org/) からダウンロードしてください。

- ・英作文（ホストファミリー向け自己紹介／A4で1～3枚）
- ・パスポートのコピー
- ・顔写真（笑顔のもの1枚）、家族写真（1枚）

※ 派遣候補生に変更等が生じた場合は、所定の変更届《別添⑩～⑬》を複合事務局に提出すること

- ④ 派遣生ユニフォームについて……………（別紙 D）
- ▶ 男女とも青のブレザーに YCE エンブレムを胸ポケットにつけたスタイルで統一
 - ・ブレザーの注文はキャビネットに取りまとめて **11 月初旬頃までに直接業者〔株佐田〕へ**（仕上がり期間約 4 週間）
 - ▶ ネクタイ（男子用）・リボン（女子用）は規定のもの
 - ・エンブレム・ネクタイ・リボンの注文はキャビネットに取りまとめて **11/26（火）までに日本ライオンズ連絡事務所へ**
 - ▶ スポン・スカートは紺またはグレー（自前可）
- ※ 注文については **9/24 メール送信済**。
注文申し込みの写しを複合事務局へも送付してください。

⑤ 共通経費（1 名 1,000 円：後日複合事務局より請求）

⑥ 名刺について
派遣生に名刺を持たせて下さい。（統一しては作成しない）

⑦ 冬期は頒布品がないので、お土産を持たせて下さい。

(5) 2013～2014 年度冬期来日について

① 各地区への配分、並びに来日期間（期間は昨年度参考含む）……（別紙 E'）
来日生受入配分は 別紙 E' のとおり決定した。

② 事務手続きの〆切

- ▶ ホスト家庭名簿《別添⑧》：〆切 10/10（木）
 - ・メールアドレスは必ず記載すること。（ホスト家庭のメールアドレスがない場合は、ホストクラブ等に代行をお願いする）
- ▶ ホストファミリーフォーム《別添⑨》：〆切 10/25（金）
 - ・ホストファミリーフォーム（1 部）はパソコン（英文）で作成し、キャビネットで確認後〆切迄に複合事務局へ提出する。

※ 上記資料は MD336 のホームページ (www.lions-md336.org/) からダウンロードして必ず所定の様式でご提出ください。

- ▶ 添付書類：〆切 10/25（金）
 - ・家族写真（1 枚 データの場合は jpg か PDF 形式）

(6) 2012～2013 年度冬期交換実績（参考）……………（別紙 F）

(7) 2012～2013 年度夏期交換事業報告

① 準地区委員長からの報告……………（別紙 G）

各地区より提出された報告書をもとに報告・意見交換があった。

- ・一部クラブではYCEのために積立をするなど積極的に取り組んでいる。
- ・キャンプ後ユース同士で連絡を取り合い、会いたがったがどこまで対応したものか苦慮した。
- ・派遣からの帰国時、同行のYCE生と比較しても荷物が多いとは思えなかったにもかかわらず、荷物重量超過で追加徴収となり、ホストファミリーと本人が料金を支払ったケースもある。
派遣、来日受入のいずれも荷物重量超過については、問題となっている。
- ・基本的に費用はホスト負担であるが、例えば来日生の希望でディズニーランドへ行った際の入場料を本人負担とすることは許される範囲である。
- ・来日生受入にはホストファミリーだけでなくホストクラブの協力が必要。サポーター制度、OB制度も有効である。また、同世代との交流は重要である。ホストファミリーも予め用意されるとよい。
- ・派遣生からキャンプ時宿泊の部屋が狭い、洗濯機がなく不便だった等感想があったが、それぞれの国の事情を知ることもYCEの意義である。

(8) その他

① 国際理事会方針書（第23章青少年プログラム抜粋）……………（参考資料Ⅰ）

② ユースキャンプ及び交換プログラム
（ライオンズクラブ国際協会ホームページ抜粋）……………（参考資料Ⅱ）

③ その他

- ・オリエンテーションは各地区が近畿日本ツーリストに依頼する。
費用は25,000円。
- ・交換の記録を残すため、感想文、写真等をデータで複合事務局に提出されたい。

(9) 次回会議について

2013年 12月 12日（木） 15:00～17:00

2013-2014 年度 336 複合地区内準地区 第 1 回 PR・ライオンズ情報・IT 委員長連絡会議要録

1. 日 時 : 2013 年 10 月 8 日 (火) 13:30~15:30
 2. 場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局
 岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F
 3. 出席者 :

336 複合地区ガバナー協議会議長	渡 部 雅 文	×
336 複合地区ガバナー協議会会計・C 地区ガバナー	池 田 康 彦	○
336 複合地区 PR・ライオンズ情報・IT 委員長・IT 専門委員	玉 浦 巖	○
336 複合地区 IT 専門委員	松 岡 寛	○
336 複合地区 IT 専門委員	滝 口 広 志	○
336-A 地区 PR・ライオンズ情報・大会参加委員長	富 田 隆 二	×
336-A 地区 IT 特別委員会副委員長	長 尾 和 彦	×
336-B 地区広報委員長	兼 田 隆 生	○
336-C 地区 PR・ライオンズ情報・IT 委員長	濱 井 雅 彦	○
336-D 地区 PR・情報委員長	小 田 隆 弘	○
336 複合地区ガバナー協議会事務局運営院長	宗 像 慶 夫	○

次 第 :

1. 担当ガバナーあいさつ 336 複合地区ガバナー協議会会計 池田 康彦
 本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。ウェブ会議が利用できるよくなれば、これまでの会議に要した費用が節約されるのではないかと思います。各地区ともウェブ会議の推進を図っていただきたいと思います。
2. 委員長あいさつ 336 複合地区 PR・ライオンズ情報・IT 委員長 玉浦 巖
 今日の目的は、本日参加の方々が SOBA CITY を使い、ウェブ会議の運営の仕方をマスターすることです。その次に、キャビネット事務局が使えるようになること、各クラブの対応状況を確認いただきたいと思います。
3. 議 事
- (1) 各地区の WEB 会議推進について
- ① WEB 会議のソフト
- ・SOBA CITY (無料)
 - ・PC ソフトは windows しか対応して無い
- ② SOBA CITY の運用 (別紙 1)
- ③ 各地区での運用について
- ・キャビネット事務局と各クラブ事務局のアクセス

- ・会議環境のルール設定
 - イヤークホーン
 - マイク
 - スピーカー
 - WEB カメラ

出席者各位のパソコンに SOBA CITY をインストールし、ログイン後、会議に参加するところまでを確認した。

ウェブ会議実施の際の注意事項

- ・ 予め会議内容を通知しておくこと
- ・ ログイン名は会議中にわかりやすいものにすること
- ・ 会議中はマイクをオフにして、指名された時のみオンにすること

松岡、滝口 両 IT 専門委員が作成された SOBA CITY 運用マニュアルを、複合事務局を通じて各地区へ送付する。

(2) 協議事項

① 各地区委員長活動方針について

② 各地区における HP について

③ IT の促進について

今年度の第 2 回目以降の 336 複合地区 IT 委員長連絡会議は、SOBA CITY を利用したウェブ会議とする。

次回会議までに、各地区内クラブにウェブ会議の推進を図り、SOBA CITY インストール状況、ウェブ会議の運用状況を確認しておく。

(3) その他

4. 次回委員会開催予定

2014 年 1 月 21 日 (火) 13 : 30 ~ ウェブ会議とする。

各地区委員長活動方針、各地区における HP については、次回会議の議題とする。

5. 閉 会

公式訪問開催状況報告

2013～2014年

R	Z	月	日	曜	公式訪問クラブ	ホストクラブ ZC所属	ZC氏名
1	1	8	20	火	安来・出雲広瀬・東出雲・安来十神・伯太・八雲	安来十神	川上 博之
	2	9	5	木	松江・松江湖城・大東・宍道・鹿島島根・美保関・松江葵・隠岐海士	松江湖城	森山 浩吉
2	1	8	24	土	出雲・平田・大社・佐田・多伎町	出雲	内藤 和雄
	2	8	3	土	出雲中央・斐川・出雲南・出雲レークヒル	斐川	高橋 義孝
	3	8	4	日	木次・三刀屋・加茂島根・仁多・掛合・赤来・頓原・横田	赤来	赤穴 憲一
3	1	8	17	土	大田・石見・邑智大和・瑞穂	邑智大和	青山 邦晴
	2	8	18	日	浜田・江津・益田・浜田亀山・益田あけぼの・金城抱月・桜江・浜田マリン	江津	堀江 成
4	1	8	30	金	岩国・岩国錦・岩国桜・由宇	由宇	吉村 尊雄
	3	9	11	水	柳井・大島・田布施・柳井中央・大島オレンジ平生・大島中央	大島オレンジ	石川 春美
5	1	9	6	金	下松・徳山・光・新南陽・徳山東・徳山中央 下松中央・周南・新南陽若山	周南	寺岡 泰成
	3	9	7	土	防府・防府中央・防府ゴールデン	防府ゴールデン	平井 一正
	4	9	12	木	山口・山口西京・山口中央	山口	志賀 八郎
6	1	9	30	月	宇部・宇部ときわ・宇部新川・宇部かたばみ・宇部サルビア・宇部ハーモニー	宇部	石原 哲男
	2	9	28	土	小野田・美弥・山陽・楠	山陽	村口 達美
	3	9	29	日	萩・長門・秋芳・田万川	田万川	城一 芳文
7	1	9	20	金	下関・下関東・下関西・下関長府・下関北・下関響灘・下関新下関下・関維新	下関響灘	古谷 好敏
	2	9	21	土	豊浦・豊田山口・菊川・豊北・下関中央	下関中央	穴見 春美

R	Z	事務局名	入会				退会				増減	R	Z	事務局名	入会				退会				増減	R	Z	事務局名	入会				退会				増減	
			7月	8月	9月	10月	7月	8月	9月	10月					7月	8月	9月	10月	7月	8月	9月	10月					7月	8月	9月	10月						
1	1	安来	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4	1	岩国	0	0	2	0	0	0	1	0	1	6	1	字部	0	0	0	1	0	0	0	1	0
		出雲広瀬	0	0	0	0	0	1	0	0	0	-1			岩国錦	1	0	0	0	0	0	0	0	1			字部ときわ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		東出雲	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1			岩国桜	0	0	0	1	1	0	0	0	0			字部新川	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		安来十神	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0			由宇	0	0	0	0	0	0	0	0	0			字部かたばみ	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		伯太	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			小計	1	0	2	1	1	0	1	0	2			字部サルビア	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		八雲	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0			柳井	0	0	1	0	0	0	0	0	1			字部ハーモニー	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3	2	0	0	2	2	0	0	1	4	大島	3	0	0	0	0	0	0	0	3	小計	2	0	0	1	0	0	0	1	2					
	2	2	松江	0	0	0	2	0	1	1	0	0	3	3	田布施	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	小野田	2	0	0	0	1	0	0	0	1
			松江湖城	0	4	0	2	1	1	0	0	4			柳井中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0			美祢	1	0	0	0	2	0	0	0	-1
			大東	1	0	0	0	0	0	0	0	1			大島オレンジ	2	0	0	0	1	0	0	0	1			山陽	0	2	0	0	1	0	0	0	1
宍道			2	2	0	0	2	0	0	0	2	平生			0	0	0	0	1	0	0	0	-1	楠			1	0	0	0	0	0	0	0	1	
鹿島島根			0	0	0	0	0	0	0	0	0	大島中央			0	0	0	0	0	0	0	0	0	小計			4	2	0	0	4	0	0	0	2	
美保関			1	0	0	0	1	1	0	2	-3	小計			6	0	1	0	2	0	0	0	5	萩			0	0	0	1	1	0	1	0	-1	
松江葵		1	0	0	1	0	0	0	0	2	R合計	7	0	3	1	3	0	1	0	7	長門	0	0	0	0	4	0	0	0	-4						
隠岐海士		2	0	0	0	1	0	0	0	1	下松	0	0	0	0	0	0	0	0	0	秋芳	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
小計		7	6	0	5	5	3	1	2	7	徳山	1	0	0	0	1	0	0	0	0	田万川	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
R合計		10	8	0	5	7	5	1	2	8	光	2	0	0	0	3	0	0	0	-1	小計	0	0	0	1	5	0	1	0	-5						
2	1	出雲	1	1	0	1	0	1	0	0	2	5	1	新南陽	2	0	1	0	3	0	0	0	7	1	下関	0	0	0	1	0	0	0	1	0		
		平田	0	0	0	1	0	0	0	0	1			徳山東	0	0	0	0	4	0	0	0			-4	下関東	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
		大社	0	0	0	1	0	0	0	1	0			徳山中央	0	0	0	1	0	0	0	1			0	下関西	2	2	0	0	0	0	0	0	4	
		佐田	0	0	0	0	0	0	0	0	0			下松中央	0	0	0	0	0	0	0	0			0	下関長府	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
		多伎町	0	0	0	1	0	0	0	0	1			周南	0	0	0	0	1	0	0	0			-1	下関北	1	0	1	0	0	0	0	0	2	
		小計	1	1	0	4	0	1	0	1	4			新南陽若山	1	0	0	0	0	0	0	0			1	下関響灘	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	2	出雲中央	3	0	1	0	1	0	0	1	2	小計	6	0	1	1	12	0	0	1	-5	下関新下関	0	0	0	1	0	0	1	0	0					
		斐川	1	0	0	1	2	0	0	0	0	防府	0	0	1	4	1	0	0	0	4	下関維新	0	3	0	0	2	0	1	0	0					
		出雲南	0	1	0	0	0	2	0	0	-1	防府中央	0	0	0	0	0	0	0	1	-1	小計	5	6	1	2	2	0	2	1	9					
		出雲レークヘル	2	0	0	0	0	0	1	1	0	防府ゴールデン	0	0	0	1	0	0	0	0	1	豊浦	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
小計		6	1	1	1	3	2	1	2	1	小計	0	0	1	5	1	0	0	1	4	豊田山口	0	0	0	0	0	0	1	0	-1						
木次		0	0	0	0	0	0	0	0	0	山口	0	0	0	1	0	0	0	0	1	菊川	0	1	0	0	0	0	0	0	1						
3	三刀屋	0	0	0	1	0	0	0	1	0	山口西京	0	1	0	0	0	0	0	0	1	豊北	0	0	0	0	0	0	0	1	-1						
	加茂島根	3	0	0	0	0	0	0	0	3	山口中央	0	0	0	1	0	0	0	0	1	下関中央	0	0	0	0	1	0	1	0	-2						
	仁多	0	0	0	0	0	0	0	0	0	小計	0	1	0	2	0	0	0	0	3	小計	0	1	0	0	1	0	2	1	-3						
	掛合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	R合計	6	1	2	8	13	0	0	2	2	R合計	5	7	1	2	3	0	4	2	6						
	赤来	0	0	0	0	0	0	0	1	-1	大田	1	0	0	1	1	0	0	1	0	石見	1	0	0	0	1	0	0	0	0						
	頼原	0	1	0	0	1	1	0	0	-1	邑智大和	0	0	0	0	0	0	1	0	-1	瑞穂	0	0	1	0	0	0	0	0	1						
横田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	小計	2	0	1	1	2	0	1	1	0	浜田	0	1	0	0	1	0	0	0	0							
小計	3	1	0	1	1	1	0	2	1	江津	2	2	0	0	3	0	1	0	0	益田	2	0	0	0	0	0	0	0	2							
R合計	10	3	1	6	4	4	1	5	6	益田亀山	4	0	0	2	2	0	0	0	4	益田あけぼの	1	0	0	0	0	0	0	0	1							
3	1	大田	1	0	0	1	1	0	0	1	0	2	2	金城抱月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	桜江	0	0	0	1	1	0	0	1	-1	
		石見	1	0	0	0	1	0	0	0	0			濱田マリン	0	0	0	0	0	0	0	0	0			小計	9	3	0	3	7	0	1	1	6	
		邑智大和	0	0	0	0	0	0	1	0	-1			小計	9	3	0	3	7	0	1	1	6			R合計	11	3	1	4	9	0	2	2	6	
		瑞穂	0	0	1	0	0	0	0	0	1			R合計	11	3	1	4	9	0	2	2	6													
		小計	2	0	1	1	2	0	1	1	0																									
		濱田	0	1	0	0	1	0	0	0	0																									

総計表	クラブ数	会員数
期首	96	3,066
今期10月末	96	3,100

報告4号

クラブ別LCIF/MJF合計拠出

2013年7月1日～10月31日提出分(円)

R	Z	クラブ名	MJF数	LCIF総合計	R	Z	クラブ名	MJF数	LCIF総合計	R	Z	クラブ名	MJF数	LCIF総合計			
1	1	安来	0	0	1	1	岩国	1	170,280	6	1	宇部	0	0			
		出雲広瀬	0	0			岩国錦	2	284,200			宇部ときわ	0	39,200			
		東出雲	1	196,000			岩国桜	1	168,300			宇部新川	1	99,000			
		安来十神	1	155,430			由宇	0	0			宇部かたばみ	0	82,320			
		伯太	0	0	小計	4	622,780	宇部サルビア	2			198,000					
		八雲	0	0	柳井	0	0	宇部ハーモニー	1			98,000					
	小計	2	351,430	4	4	0	0	0	516,520								
	2	2	松江	10	1,222,900	2	2	大島	0			0	6	2	小野田	0	0
			松江湖城	0	174,240			田布施	0			0			美祢	0	0
			大東	0	0			柳井中央	0			23,760			山陽	0	0
			宍道	0	100,089			大島オレンジ	0	0	楠	0			0		
			鹿島島根	0	0	平生	0	0	小計	0	0						
			美保関	0	0	大島中央	0	0	萩	0	126,720						
			松江葵	4	401,900	小計	0	23,760	長門	0	0						
			隠岐海士	0	34,200	R合計	4	646,540	秋芳	0	0						
			小計	14	1,933,329	3	3	0	0	田万川	0	0					
R合計			16	2,284,759	4	4	0	0	小計	0	126,720						
2	1	出雲	3	297,000	5	1	下松	0	0	7	1	下関	1	98,000			
		平田	1	158,400			徳山	0	0			下関東	0	0			
		大社	0	39,600			新南陽	0	0			下関西	0	0			
		佐田	0	0			徳山東	0	0			下関長府	0	0			
	多伎町	0	0	徳山中央			0	0	下関北			2	197,000				
	小計	4	495,000	下松中央			0	0	下関響灘			0	0				
	2	2	出雲中央	2			197,000	周南	0			0	下関新下関	0	0		
			斐川	0			108,900	新南陽若山	0			0	下関維新	0	4,900		
			出雲南	0			0	小計	1			98,000	小計	3	299,900		
			出雲レークヒル	0			0	3	3			0	0	0			
	小計	2	305,900	防府	0	95,040	豊浦	0	0								
	3	3	木次	0	61,380	防府中央	0	69,300	豊田山口	0	0						
			三刀屋	0	0	防府ゴールドデン	0	31,680	菊川	0	0						
			加茂島根	0	0	小計	0	196,020	豊北	0	0						
			仁多	0	0	4	4	0	0	0							
			楸合	0	0	山口	1	214,000	下関中央	0	0						
赤来			0	0	山口西京	0	0	小計	0	0							
頓原			0	0	山口中央	0	0	R合計	3	299,900							
横田			0	0	小計	1	214,000	地区合計	43	6,389,419							
小計	0	61,380	R合計	2	508,020												
R合計	6	862,280															
3	1	大田	0	0	3	2	濱田	0	0	3	2	江津	4	471,200			
		石見	0	0			益田	1	198,000			益田あけぼの	1	152,880			
		邑智大和	0	0			濱田亀山	1	186,200			金城抱月	0	0			
		瑞穂	0	0			益田あけぼの	1	152,880			桜江	0	0			
	小計	0	0	金城抱月			0	0	濱田マリン			1	136,400				
	2	2	濱田	0			0	小計	8			1,144,680	R合計	8	1,144,680		
			江津	4			471,200										
			益田	1			198,000										
			濱田亀山	1			186,200										
			益田あけぼの	1			152,880										
金城抱月			0	0													

報告事項 4号

クラブ別献血者数

2013年7月1日～10月31日(人)

R	Z	クラブ名	200cc	400cc	成分献血	R	Z	クラブ名	200cc	400cc	成分献血	R	Z	クラブ名	200cc	400cc	成分献血			
1	1	安来	0	0	0	4	1	岩国	5	35	0	6	1	宇部	5	760	0			
		出雲広瀬	0	0	0			岩国錦	16	115	0			宇部ときわ	0	28	0			
		東出雲	0	44	0			岩国桜	11	76	0			宇部新川	0	19	0			
		安来十神	0	0	0			由宇	0	53	0			宇部かたばみ	0	57	0			
		伯太	0	0	0			小計	32	279	0			宇部サルビア	5	73	0			
	八雲	0	32	0	柳井		0	0	0	宇部ハーモニー	0		28	0						
	小計	0	76	0	大島		0	66	0	小計	10		965	0						
	2	2	松江	0	239		10	田布施	0	28	0		2	2	小野田	4	65	0		
			松江湖城	0	118		0	柳井中央	0	0	0				美祢	9	61	0		
			大東	0	0		0	大島オレンジ	0	0	0				山陽	0	0	0		
宍道			0	47	0	平生	0	0	0	楠	0	0			0					
鹿島島根			0	40	0	大島中央	0	0	0	小計	13	126		0						
美保関			0	0	0	小計	0	94	0	3	萩	0		0	0					
松江葵			0	104	0	R合計	32	373	0		長門	0		0	0					
隠岐海士			0	0	0	下松	0	0	0		秋芳	0		0	0					
小計	0	548	10	徳山	0	68	0	田万川	0		0	0								
R合計	0	624	10	光	0	0	0	小計	0	0	0									
2	1	出雲	0	0	0	5	1	新南陽	0	0	0	7	1	下関	6	96	106			
		平田	0	41	0			徳山東	0	68	0			下関東	0	40	0			
		大社	0	69	1			徳山中央	0	68	0			下関西	0	0	0			
		佐田	0	0	0			下松中央	0	75	0			下関長府	0	55	0			
		多伎町	0	0	0			周南	0	33	5			下関北	3	71	87			
	小計	0	110	1	新南陽若山		0	57	0	下関響灘	0		55	0						
	2	2	出雲中央	0	79		0	小計	0	369	5		下関新下関	0	76	0				
			斐川	0	56		0	防府	0	1	0		下関維新	0	56	0				
			出雲南	0	16		0	防府中央	0	1	0		小計	9	449	193				
			出雲レークヒル	0	0		0	防府ゴールデン	0	0	0		豊浦	0	26	0				
小計			0	151	0	小計	0	2	0	豊田山口	0	26	0							
3	3	木次	0	59	0	4	4	山口	13	114	0	2	2	菊川	0	17	0			
		三刀屋	0	50	0			山口西京	0	0	0			豊北	0	53	0			
		加茂島根	0	55	0			山口中央	0	35	0			下関中央	11	87	0			
		仁多	0	194	0			小計	13	149	0			小計	11	209	0			
		掛合	0	0	0		R合計	13	520	5	R合計		20	658	193					
		赤来	0	61	0		山口	0	1	0	地区合計		88	4,398	209					
		頼原	0	45	0		防府中央	0	1	0										
横田	0	74	0	防府ゴールデン	0	0	0													
小計	0	538	0	小計	0	2	0													
R合計	0	799	1																	
3	1	大田	0	93	0	3	1	大田	0	93	0	3	1	大田	0	93	0			
		石見	0	51	0			石見	0	51	0			石見	0	51	0			
		邑智大和	0	9	0			邑智大和	0	9	0			邑智大和	0	9	0			
		瑞穂	0	0	0			瑞穂	0	0	0			瑞穂	0	0	0			
	小計	0	153	0	小計		0	153	0	小計	0		153	0						
	2	2	浜田	0	0		0	2	2	浜田	0		0	0	2	2	浜田	0	0	0
			江津	0	0		0			江津	0		0	0			江津	0	0	0
			益田	0	47		0			益田	0		47	0			益田	0	47	0
			浜田亀山	0	0		0			浜田亀山	0		0	0			浜田亀山	0	0	0
			益田あけぼの	0	46		0			益田あけぼの	0		46	0			益田あけぼの	0	46	0
金城抱月			0	31	0	金城抱月	0			31	0	金城抱月	0	31			0			
桜江			0	0	0	桜江	0			0	0	桜江	0	0			0			
浜田マリン	0	56	0	浜田マリン	0	56	0	浜田マリン	0	56	0									
小計	0	180	0	小計	0	180	0	小計	0	180	0									
R合計	0	333	0	R合計	0	333	0	R合計	0	333	0									

献眼登録者数

2013年7月1日～10月31日届出分(人)

R	Z	クラブ名	献眼登録者数				R	Z	クラブ名	献眼登録者数				R	Z	クラブ名	献眼登録者数				
			7月	8月	9月	10月				7月	8月	9月	10月				7月	8月	9月	10月	
1	1	安来	0	0	0	0	4	1	岩国	0	0	0	0	6	1	宇部	0	0	0	0	
		出雲広瀬	0	0	0	0			岩国錦	0	0	0	0			27	宇部ときわ	0	0	0	0
		東出雲	0	0	0	40			岩国桜	0	0	0	0			28	宇部新川	0	0	0	0
		安来十神	0	0	0	0			由宇	0	0	0	0			1	宇部かたばみ	0	0	0	0
		伯太	0	0	0	0			小計	0	0	0	0			63	宇部サルビア	0	0	0	0
		八雲	0	0	0	0			柳井	0	0	0	0			0	宇部ハーモニー	0	0	0	0
		小計	0	0	0	40			大島	0	0	0	0			0	小計	0	0	0	0
	2	松江	0	0	0	0		2	田布施	0	0	0	0		2	小野田	0	0	0	0	
		松江湖城	0	0	0	0			柳井中央	0	0	0	0			0	美祢	0	0	0	2
		大東	0	0	0	21			大島オレンジ	0	0	0	0			0	山陽	3	0	0	0
		宍道	0	0	0	0			平生	0	0	0	0			0	楠	0	0	0	0
		鹿島島根	24	0	0	0			大島中央	0	0	0	0			0	小計	3	0	0	2
		美保関	0	0	0	0			小計	0	0	0	0			0	萩	0	0	0	0
		松江葵	0	0	0	37			R合計	0	0	0	63			3	長門	0	0	0	0
		隠岐海士	0	0	0	0			下松	0	0	0	0			0	秋芳	0	0	0	0
小計	24	0	0	58	徳山	0	0	0	0	0	田万川	0	0	0	0						
R合計	24	0	0	98	光	0	0	0	0	0	小計	0	0	0	0						
2	1	出雲	0	0	0	0	5	1	新南陽	0	0	0	0	7	1	下関	0	0	0	0	
		平田	0	0	56	0			徳山東	0	0	0	0			0	下関東	0	0	0	0
		大社	0	0	0	0			徳山中央	0	0	0	0			0	下関西	0	0	0	0
		佐田	0	0	0	0			下松中央	0	0	0	0			0	下関長府	0	14	0	0
		多伎町	0	0	0	0			周南	0	0	0	0			0	下関北	0	0	0	0
		小計	0	0	56	0			新南陽若山	0	0	0	0			0	下関響灘	0	0	0	0
	2	出雲中央	0	0	0	0		小計	0	0	0	0	0		下関新下関	0	0	0	0		
		斐川	0	0	0	16		3	防府	0	0	0	0		0	下関維新	0	0	0	0	
		出雲南	0	0	0	4		防府中央	0	0	0	0	0		小計	0	14	0	0		
		出雲レークヒル	0	0	0	0		防府ゴールデン	0	0	0	58	0		0	14	0	0			
		小計	0	0	0	20		小計	0	0	0	58	0		0	0	0	0			
	3	木次	0	0	0	0		4	山口	0	0	0	0		2	豊浦	0	0	0	0	
		三刀屋	0	49	0	0			山口西京	0	0	0	0			0	豊田山口	0	0	0	0
		加茂島根	0	0	0	3			山口中央	0	1	0	0			0	菊川	0	0	0	0
		仁多	0	0	0	1			小計	0	1	0	0			0	豊北	0	0	0	0
掛合		0	0	0	0	R合計	0		1	0	58	0	0	0		0					
赤来		0	0	0	0	山口	0		0	0	0	0	下関中央	0		0	0	0			
頼原		0	0	0	0	小計	0		0	0	0	0	小計	0		0	0	0			
横田		0	0	0	0	R合計	0		49	56	24	0	14	0		0					
小計	0	49	0	4	R合計	0	49	56	24	地区合計	27	64	68	313							
3	1	大田	0	0	12	3	3	1	大田	0	0	12	3	3	1	大田	0	0	12	3	
		石見	0	0	0	0			石見	0	0	0	0			石見	0	0	0	0	
		邑智大和	0	0	0	0			邑智大和	0	0	0	0			邑智大和	0	0	0	0	
		瑞徳	0	0	0	0			瑞徳	0	0	0	0			瑞徳	0	0	0	0	
	小計	0	0	12	3	小計		0	0	12	3	小計	0		0	12	3				
	2	浜田	0	0	0	55		2	浜田	0	0	0	55		2	浜田	0	0	0	55	
		江津	0	0	0	10			江津	0	0	0	10			江津	0	0	0	10	
		益田	0	0	0	0			益田	0	0	0	0			益田	0	0	0	0	
		浜田亀山	0	0	0	0			浜田亀山	0	0	0	0			浜田亀山	0	0	0	0	
		益田あけぼの	0	0	0	0			益田あけぼの	0	0	0	0			益田あけぼの	0	0	0	0	
金城抱月		0	0	0	0	金城抱月	0		0	0	0	金城抱月	0	0		0	0				
桜江	0	0	0	0	桜江	0	0	0	0	桜江	0	0	0	0							
小計	0	0	0	65	小計	0	0	0	65	小計	0	0	0	65							
R合計	0	0	12	68	R合計	0	0	12	68	R合計	0	0	12	68							

2013～2014年ガバナー諮問委員会開催状況

(第1回ガバナー諮問委員会開催状況一覧)

R	Z	Z C 氏名	開催日時			開催場所	クラブ数
			日	曜日	開催時刻		
1	1	川上 博之 (安来十神)	8月 20日	火	14:00～	安来市	6クラブ
	2	森山 浩吉 (松江湖城)	9月 5日	木	14:30～	松江市	8クラブ
2	1	内藤 和雄 (出雲)	8月 24日	土	15:00～	出雲市	5クラブ
	2	高橋 義孝 (斐川)	8月 3日	土	15:00～	出雲市	4クラブ
	3	赤名 憲一 (赤来)	8月 4日	日	14:30～	飯南町	8クラブ
3	1	上原 謙二 (邑智大和)	8月 17日	土	13:20～	美郷町	4クラブ
	2	堀江 成 (江津)	8月 18日	日	13:30～	江津市	8クラブ
4	1	吉村 尊雄 (由宇)	8月 30日	金	16:00～	岩国市	4クラブ
	3	石川 春美 (大島オレンジ)	9月 11日	水	15:00～	周防大島町	7クラブ
5	1	寺岡 泰成 (周南)	7月 26日	金	17:00～	光市	9クラブ
	3	平井 一正 (防府ゴールデン)	8月 3日	土	19:00～	防府市	4クラブ
	4	志賀 八郎 (山口)	8月 23日	金	18:30～	山口市	3クラブ
6	1	石原 哲男 (宇部)	8月 10日	土	16:30～	宇部市	6クラブ
	2	村口 達美 (山陽)	8月 18日	日	16:30～	宇部市	4クラブ
	3	城一 芳文 (田万川)	8月 10日	土	16:30～	宇部市	4クラブ
7	1	古谷 好敏 (下関響灘)	8月 26日	月	18:00～	下関市	8クラブ
	2	穴見 春美 (下関中央)	9月 21日	土	15:30～	下関市	5クラブ

2013～2014年 各委員会研修会・開催状況

委員会名	1 R	2 R	3 R	4 R	5 R	6 R	7 R
PR・情報	第1回獅子吼編集委員会 第3回獅子吼編集委員会	2013年7月2日 2013年11月	第2回獅子吼編集委員会 第4回獅子吼編集委員会	2013年8月6日 2014年5月			
GMT・GLT	1 R内クラブ会員委員長会議	2013年8月31日(土) 松江市	5R第1回1～4Z GMT・GLT 委員長会議 5R1～4Z 新会員オリエンテーション 4～7R 会員増強 強化ワークショップ 第1回7R.クラブ GMT・GLT 委員長会議 4～7R.会員増強 強化ワークショップ	2013年8月 日() 防府市 2013年9月7日(土) 防府市 2013年10月13日(日) 防府市 2013年8月19日(月) 下関市 2013年10月13日(日) 防府市			
国際関係・LCIF							
YCE					第1回5RYCE 委員長会議 第2回5RYCE 委員長会議	2013年9月9日(月) 山口市 2013年11月29日(金) 山口市	
保健福祉 環境保全		1～3R 献眼・献血研修会 2013年10月12日(土) 出雲市			4～7R 献眼・献血研修会 2013年11月28日(木) 周南市		
青少年健全育成		ライオンズクエストプログラム・ワークショップ 2014年1月6日(月)・7日(火) 9:00～17:00 松江市東出雲ふれあい会館(東出雲LC 主体) 校内型 主に初任者研修			ライオンズクエストプログラム・ワークショップ 2013年12月26日(木)・27日(金) 9:00～17:00 邑南町出羽公民館(瑞穂LC 主体) 公募型 邑南町教育委員会後援		
		薬物乱用防止教育認定講師養成講座 2014年2月または3月 出雲市開催予定			薬物乱用防止教育認定講師養成講座 2014年2月または3月 柳井市開催予定		

地区ガバナー及び副地区ガバナー

立候補予定者届出規則

1. ライオンズクラブ国際協会 336 - D地区に於ける地区ガバナー及び第一、第二副地区ガバナー候補者の立候補届出は、この規則による。
2. 地区ガバナー及び第一、第二副地区ガバナー候補者の資格は、それぞれ国際会則付則第9条4項及び第9条6項 (b) (c) に定められている通りで、その他の資格要件を付すことはできない。
3. 地区ガバナー及び第一、第二副地区ガバナー候補者の所属クラブは、候補者本人の申出を受け、その資格を確認の上クラブ理事会及び例会の推薦決議を得て、それぞれ立候補届けを行うものとする。
4. 地区ガバナー及び第一、第二副地区ガバナー候補届出は、別紙様式による候補者本人それぞれの届出書に必要な推薦状を付して、336 - D地区キャビネット事務局宛に、候補者本人または推薦クラブが送付あるいは持参する。
5. 地区ガバナー及び第一、第二副地区ガバナー候補届出の締切りは、毎年度1月15日午後5時とする。
但し、このそれぞれの届出書は、336 - D地区第3回キャビネット会議に於いて資格審査の上正式に受理される。
6. この規則の改廃はキャビネット会議の決議を以って行われる。

1998年2月8日制定

<付則>

次期第一、第二副地区ガバナーは、第2回キャビネット会議に於いてローテーションどおり選出することを確認すること。

20 年 月 日

地区ガバナー候補者推薦状

20 年～20 年 336 地区ガバナーの候補者として、当クラブ会員 を
推薦致します。

リジョン ゾーン ライオンズクラブ

会 長 署名

幹 事 署名

会 計 署名

地区ガバナー立候補者	
氏名(ふりがな)	
自宅住所	〒
勤務先	
役職	
勤務先所在地	
所属クラブ名	

キャビネット幹事 予定者氏名(ふりがな)	
自宅住所	〒
所属クラブ名	

キャビネット会計 予定者氏名(ふりがな)	
自宅住所	〒
所属クラブ名	

20 年 月 日

第1副地区ガバナー候補者推薦状

20 年～20 年度336- 地区ガバナーの候補者として、当クラブ会員 を
推薦致します。

リジョン ゾーン ライオンズクラブ

会 長 署名

幹 事 署名

会 計 署名

地区ガバナー立候補者	
氏名(ふりがな)	
自 宅 住 所	〒
勤 務 先	
役 職	
勤 務 先 所 在 地	
所 属 ク ラ ブ 名	

キャビネット幹事 予定者氏名(ふりがな)	
自 宅 住 所	〒
所 属 ク ラ ブ 名	

キャビネット会計 予定者氏名(ふりがな)	
自 宅 住 所	〒
所 属 ク ラ ブ 名	

20 年 月 日

第2副地区ガバナー候補者推薦状

20 ～20 年度336— 地区ガバナーの候補者として、当クラブ会員 を
推薦致します。

リジョン

ゾーン

ライオンズクラブ

会 長 署名

幹 事 署名

会 計 署名

地区ガバナー立候補者	
氏名(ふりがな)	
自 宅 住 所	〒
勤 務 先	
役 職	
勤 務 先 所 在 地	
所 属 ク ラ ブ 名	

キャビネット幹事 予定者氏名(ふりがな)	
自 宅 住 所	〒
所 属 ク ラ ブ 名	

キャビネット会計 予定者氏名(ふりがな)	
自 宅 住 所	〒
所 属 ク ラ ブ 名	

20 ~ 20 年度 336- 地区
地区ガバナー立候補者届出書

ライオンズクラブ国際協会336- _____ 地区

地区ガバナー _____ 殿

整理No.		届出年月日		年	月	日
リジョン		ゾーン		ライオンズクラブ		
氏名 <small>ふりがな</small>						
生年月日	年	月	日	生	(歳)	
住所 <small>ふりがな</small>	〒					
電話・FAX	TEL:		FAX:			
ライオン歴						
学歴						
家族						
公職・受位・受賞・罰						
現在勤務している法人・団体などの内容						
私儀、ライオンズクラブ国際協会336- _____ 地区20 ~ 20 年度地区ガバナー(副地区ガバナー)として立候補いたしたく、クラブ推薦状を添え上記の通り届出いたします。						
20 _____ 年 _____ 月 _____ 日						
_____ ライオンズクラブ						
署名 _____						印

20__ ~ 20__ 年度 336- 地区
第一副地区ガバナー立候補者届出書

ライオンズクラブ国際協会336- ____ 地区

地区ガバナー _____ 殿

整理No.		届出年月日		年	月	日
リジョン		ゾーン		ライオンズクラブ		
氏名 <small>ふりがな</small>						
生年月日	年	月	日	生	(歳)	
住所 <small>ふりがな</small>	〒					
電話・FAX	TEL:		FAX:			
ライオン歴						
学歴						
家族						
公職・受位・受賞・罰						
現在勤務している法人・団体などの内容						
私儀、ライオンズクラブ国際協会336- ____ 地区20__ ~ 20__ 年度地区ガバナー(副地区ガバナー)として立候補いたしたく、クラブ推薦状を添え上記の通り届出いたします。						
20__ 年 ____ 月 ____ 日						
_____ ライオンズクラブ						
署名						印

20__ ~ 20__ 年度 336- 地区
第二副地区ガバナー立候補者届出書

ライオンズクラブ国際協会336- ____ 地区

地区ガバナー _____ 殿

整理No.		届出年月日		年 月 日	
リジョン		ゾーン		ライオンズクラブ	
氏名					
生年月日	年	月	日	生	(歳)
住所	〒				
電話・FAX	TEL:		FAX:		
ライオン歴					
学歴					
家族					
公職・受位・受賞・罰					
現在勤務している法人・団体などの内容					
私儀、ライオンズクラブ国際協会336- ____ 地区20__ ~ 20__ 年度地区ガバナー(副地区ガバナー)として立候補いたしたく、クラブ推薦状を添え上記の通り届出いたします。					
20__ 年 ____ 月 ____ 日					
_____ ライオンズクラブ					
署名 _____ 印					

緊急援助資金会計について

去る7月28日萩・津和野方面、8月24日江津・浜田方面に過去に経験したこともないような豪雨が襲い、大きな被害をもたらしました。何れも激甚災害に指定されています。直ちにRC・ZCを通じて被害調査をするとともに、LCIF国際財団へ二度にわたり緊急援助交付金の申請をし、計20,000ドル(1,960,000円)の交付を受けました。またMD336を始め各地より義援金が届きました。8月19日と9月24日に緊急援助資金委員会を開催し、336-D地区の緊急援助資金の取り崩し(8/23 2,000,000 9/25 500,000)および配分方について下記の通り決定し交付致しました。

支 出			収 入		
8/23	津和野へ義援金交付	1,396,000	7/9	前キャビネットより引継	5,140,417
〃	徳佐へ義援金交付	1,396,000	8/5	MD336より援助資金	2,000,000
〃	田万川へ義援金交付	1,396,000	8/6	LCIF交付金(\$10,000)	980,000
〃	須佐へ義援金交付	1,396,000	8/9	MD332より援助資金	2,000,000
〃	阿武へ義援金交付	1,396,000	8/18	利息	96
〃	振込手数料	3,360	8/22	MD335より援助資金	1,500,000
9/25	邑南へ義援金交付	1,246,232	9/6	336-C地区より援助資金	1,000,000
〃	美郷へ義援金交付	1,246,233	9/18	LCIF交付金(\$10,000)	980,000
〃	江津へ義援金交付	1,246,232	9/19	八尾菊川LCより援助資金	504,930
〃	浜田へ義援金交付	1,246,233	9/25	MD336より援助資金	500,000
〃	振込手数料	840	10/1	7Rより緊急援助資金会計への助成	736,000
			10/30	6R1Zより緊急援助資金会計への助成	286,783
		11,969,130			15,628,226
残		3,659,096			

この結果現在の特別会計の残高は次の通りです。

10月31日現在 残高 3,659,096円

なお、この緊急援助資金は常時500万以上の基金を保つことが義務づけられていますので、別途、補填計画を立案する必要があることを報告します。

第 23 回世界スカウトジャンボリーへの協賛について

前年度（岡村ガバナー）からの引き継ぎ事項として、準地区 336-A・B・C・D 其々予定通り決定して頂いておりますが、日本レベルではまだ若干の時間を要します。

8 月 28 日、第 2 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議が開催されました。前年度から引継ぎの MD336 から提案された標記の件につき協議され、MD330～MD337（MD336 は除く）は其々複合に持ち帰り、各ガバナーの意見を聴取して決する旨の連絡をいただきました。

10 月 29 日、第 4 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議が開催されました。未だ第 2 回のガバナー協議会が開催されていない複合地区があり、意見が集約されていません。

12 月 4 日第 5 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議が開催される予定です。この時点では全ての複合地区で第 2 回のガバナー協議会が終了していますので、日本レベルでの共産が決するものと思量されます。

事務の専属化・事務の固定化

第一回の協議会では事務局の固定化は困難と思われるが、事務専属化については前向きに取り組むと、意志表示致しましたが、次期キャビネット要員とも協議の結果下記の通りとなりました。

[結論]

キャビネットの固定化及び事務の固定化は次期キャビネットでは出来ない。

[理由]

事務の固定化をするには2年3年をかけて前キャビネット及び副地区ガバナーとの打合せをしてシステム作りが必要と思われます。

今の段階ではまだ準備が整っていないと思われます。

キャビネットの固定化については、その場所の選定をどうするのが決まらなないと話になりません。我々336-Dでは、山口・島根を有する広域な地域となっている為、場所の選定に時間がかかると、思われます。

[メリット]

キャビネット・事務の固定化をした場合	<p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ※経費節減 ※事務の引き継ぎがいない
固定化をしない場合	<p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ※地域の活性化 ※ライオンズが浸透できる ※地域のクラブの活性化 ※一般の人々にライオンズをPR出来る。

336-D地区ガバナー
坂根 勝 様
2013年11月6日

第一副地区ガバナー
竹下雅雄

協議提案事項

提案号数	提案事項	ページ
1	山田国際第二副会長提案の会員倍増計画について	139～149
2	336-D 地区緊急援助資金補填について	150
3	336-D 地区費値上げについて	151
4	第 60 回地区年次大会代議員分科会 3 分科会について	152
5	第 60 回地区年次大会プログラム (案)	153
6	第 60 回地区年次大会議事規則 (案)	154,155
7	地区年次大会での指名・選挙委員会について	156,157
8	第 60 回地区年次大会代議員会役員構成表 (案)	158
9	第 60 回地区年次大会代議員会提出議案について	159

2013～2014 年度 336 複合地区第 4 回臨時ガバナー協議会要録

日 時 : 2013 年 10 月 19 日 (土) 11:00～12:00 及び 16:30～16:40

場 所 : 紅梅亭 5F「東雲」
香川県仲多度郡琴平町 556-1

出席者 :

ガバナー協議会 議長		渡部 雅文	○
ガバナー協議会 副議長	336-A 地区ガバナー	松前 龍宗	○
ガバナー協議会 副議長	336-B 地区ガバナー	井上 亮二	○
ガバナー協議会 幹事	336-D 地区ガバナー	坂根 勝	○
ガバナー協議会 会計	336-C 地区ガバナー	池田 康彦	○
事務局運営委員長		宗像 慶夫	○
事務局運営委員	336-A 地区キャビネット幹事	平賀 将則	○
事務局運営委員	336-B 地区キャビネット幹事	斉藤 悟	○
事務局運営委員	336-C 地区キャビネット幹事	久保 行夫	○
事務局運営委員	336-D 地区キャビネット幹事	大野 美雄	○

次 第 :

1. 議長挨拶

昨日の全国ガバナー連絡会を受け、会員倍増計画について 336 複合地区としてどのように対応するか、意見交換を行いたいと思います。午後からの第 2 回ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議で複合地区役員のご意見も伺い、ガバナー協議会としての対応を早急に決定したいと思います。

2. 協議事項

(1) 次年度 LCIF 地区コーディネーターの選任について

LCIF では、地区コーディネーターは現・元ガバナーから選任されるよう通達があり、他複合地区では現・元ガバナーが地区コーディネーターとして選任されている。大羽複合地区 LCIF コーディネーターより、336 複合地区においても次年度 LCIF 地区コーディネーターを選任する際には、LCIF の通達に従っていただきたいとの依頼があった旨、報告された。

(2) 国際会長公式訪問協力金について

1 複合地区 40 万円とされている協力金について、各地区 10 万円ずつ負担することを申し合わせた。

(3) トロント国際大会登録案内について

案内文書一式を了承した。各地区キャビネットを通じてクラブヘメール配信する。

(4) 家族会員の複合地区会費減免について

山田国際第二副会長による会員倍増計画のための「日本家族会員プログラム」が3年間のパイロットプログラムとしてオーストラリア・ポートダグラス国際理事会（2013.10.6-10）で承認され、2013年10月9日から即日実行された。

複合地区としては、国際理事会の決定に従い、プログラムを推進しなければならないとの認識で一致した。

クラブがプログラムを採用する際に、複合地区としてどのように対応するか方向性を決定すべきであるとし、家族会員の複合地区会費は2014年1月1日から2016年12月31日までの3年間、徴収しないことを申し合わせた。

この複合地区会費の変更は、ガバナー協議会の決定により今期途中からの実行とし、第60回複合地区年次大会代議員総会で追認される手順とする。

また、地区会費についても徴収しない方向で統一されるよう議長より要請された。

なお本件は、第2回ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議前に意見交換を行い、第2回ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議で伺った複合地区役員各位の意見を参考にし、再度臨時ガバナー協議会を開催して申し合わせたものである。

3. 閉 会

2013年10月21日

各地区キャビネット事務局御中

パーマー国際会長からの文書の配布についてのお願い

日頃から大変お世話になっております。

先にご案内しましたとおり、日本における家族会員招請の推進を目的に国際理事会でパイロットプログラムが承認されましたが、これにあわせて、パーマー国際会長から日本ライオンズに対する文書が送られました。同封いたしましたのは、この文書（英語原文と日本語訳）と、関連するエクステンション及び会員部長からの文書です。

特に重要なこのメッセージは、地区ガバナーまたは地区 GMT リーダーのご支援とともに、確実に各クラブ会長にお渡しいただきたいとパーマー会長と山田副会長は考えていらっしゃいます。そのため、国際協会からの文書は近年コスト等の問題から電子メールで送付するのが通常であります。クラブレベルですと国際協会からの電子メールが届かない場合もあることも考慮し、地区内クラブ数（プラス予備）の文書と封筒を、各地区キャビネット事務局に送付させていただきました。お忙しい各地区事務局の皆様にはご面倒をおかけすることになり誠に恐縮ですが、ご配慮くださいますようお願い致します。

直接ガバナーからお渡し頂いても、郵送していただいても、各地区において最も適切な方法で、クラブ会長にお渡しください。封筒については、ご都合により、ご使用いただいてもいただかなくとも構いません。

本件について、あるいは家族会員日本パイロットプログラムまたは家族会員プログラム全般についてご質問等ありましたらお知らせください。

ライオンズクラブ国際協会
地区及びクラブ行政部
太平洋アジア課
課長 佐子マーズ
Yoshiko.merz@lionsclubs.org
電話 1-630-468-6953 (直通)

Coverletter-DG-family membersJA



Lions Clubs International

300 W 22ND STREET • OAK BROOK ILLINOIS 60523-8842 USA • 630.571.5466

Barry J. Palmer
INTERNATIONAL PRESIDENT

2013年10月

日本ライオンズのリーダー各位

今年度、山田實紘第二副会長と私は、日本の会員数を二倍にするという夢を共有しています。そこで、ぜひ日本のすべてのライオンズ会員にこのこの夢を叶えるために全力で立ち向かっていただきたいのです。

過去20年間に渡り、日本のライオンズ会員数はおよそ6万5千人減少しました。これは日本全体の会員数として、実に40%の減少ということになります。一方、ライオンズの会員数が減少しているにも関わらず、日本での奉仕へのニーズは常に増加しています。しかし、幸運なことに、日本にはまだたくさんの会員増強の可能性が残されています。今こそ、行動の時です。

日本ライオンズの会員増強とクラブの強化を推進するため、私は日本だけを対象とした特別な3年間のパイロットプログラムとして、「日本家族会員パイロットプログラム」を導入いたします。このプログラムは日本において家族会員をクラブに招請するために設けられたものです。

御存知の通り、現在のライオンズクラブ家族会員プログラムは、

- 一人目の家族会員（世帯主）は国際会費を全額支払い、4名までの家族会員（世帯主は含めない）は国際会費の半額を支払う。
- すべての家族会員は、入会時には入会費を支払う。
- 家族会員としての資格を得るには、（1）ライオンズクラブへの入会資格があり、（2）在籍またはこれから入会するクラブが同一のクラブであり、（3）同一の世帯に暮らしている

という規定内容です。

今回導入された「日本家族会員パイロットプログラム」では、家族会員として加えられる会員（子会員）は、同一のクラブに所属して活動し、同一又は隣接する都道府県に居住している限り異なる住所であっても家族会員として国際会費半額免除を受けられることとなります。

このプログラムによって家族会員としての入会をさらに意義あるものにするため、ローカルレベルでの各会費制度をさらに家族会員が入会しやすいものへと減額または免除し、例会への出席に関しても柔軟な対応が必要であることを、ぜひ皆さんのクラブに伝えていただきたいと思います。女性と若い世代がクラブに入会することは、どんな形であれ、クラブと会員全体が力強く維持されるためには必要不可欠です。

この挑戦を受け容れ、今日こそ、皆さんの家族をクラブに入会するための行動を起こしてみてください。そして、クラブの仲間にも一緒に行動するように促していただきたいのです。日本ライオンズが世界中のモデルとして再び立ち上がるために、一緒に行動を起こしましょう！

国際会長

バリー・J・パーマー





Lions Clubs International

300 W 22ND STREET • OAK BROOK ILLINOIS 60523-8842 USA • 630.571.5466

2013年10月

ライオン各位様

家族会員の例会出席に関する質問について

標記の件に関し、多くのご質問が寄せられていることから、ライオンズクラブ国際協会の会則及び方針上の考え方について、以下のとおりご説明いたします。

1. 国際協会理事会方針および会則における規定

「正会員」について

ライオンズクラブ国際付則添付紙 A-会員種別（理事会方針書第 18 章「会員」B 項 3 および標準版クラブ付則第 1 条第 1 項）において、以下のとおり規定されています。

- a. 正会員：ライオンズクラブの会員であることから生ずるすべての権利と特権を持ち、又すべての義務を負う会員。この権利には、他に規定される資格を有していることを条件にクラブ、地区、及び国際協会の役職に就く権利、並びにあらゆる事項に対する投票権が含まれる。義務には、定期的な出席、速やかな会費納入、クラブ活動参加、並びに地域社会に対してクラブが良い印象を与えるような言動が含まれる。家族会員プログラムの基準に定められる通り、有資格の家族会員は正会員であり、正会員としてのすべての権利及び特権を有するものとする。学生会員プログラムの基準に定められる通り、有資格の学生、元レオ及び若年成人会員は正会員であり、正会員としてのすべての権利及び特権を有するものとする。

ACTIVE: A member entitled to all rights and privileges and subject to all obligations which membership in a Lions club confers or implies. Without limiting such rights and obligations, such rights shall include eligibility to seek, if otherwise qualified, any office in this club, district or association and the right to vote on all matters requiring a vote of the membership; **and such obligation shall include regular attendance, prompt payment of dues, participation in club activities and conduct reflecting a favorable image of this Lions club in the community. As provided in the Family Membership Program criteria, qualifying family members shall be Active Members and be entitled to all rights and privileges thereof.** As provided in the Student Member Program criteria, qualifying student, former Leo and young adult members shall be Active Members and be entitled to all rights and privileges thereof. This membership category shall be included in the club delegate formula calculation.

「出席」について

標準版クラブ付則第1条第8項は以下のとおり規定しています。

第1条第8項出席。クラブは、会議及び活動への定期的参加を奨励する。会員が連続して会議又は活動に参加しなかった場合には、クラブはあらゆる手をつくしてその会員に連絡し、定期的参加を奨励及び推進する。12ヶ月間続けてすべての定例会議に出席した会員、もしくはクラ

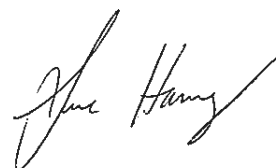
ブがメイクアップの規則を有する場合その規則に従い欠席したすべての例会についてメイクアップをした会員は、年間皆勤賞を受賞することができる。

Article I Section 8. ATTENDANCE. **The club shall encourage regular attendance at club meetings and activities.** Where a member misses consecutive meetings or activities, the club will make every effort to contact the member to encourage and promote regular attendance. Annual perfect attendance awards are available to members who have attended every regularly scheduled meeting of this club for any twelve consecutive months, otherwise making up and missed meetings in accordance with the attendance make-up rules of the club, if any.

会員のライフスタイルの多様化と、サイバークラブやスペシャル・インタレスト・クラブなど、それに応じてクラブの在り方も多様化した今日、国際理事会方針及び国際会則においては、何をもってして「定期出席」と見なすかはあえて定義せず、クラブは会員に対して定期的出席を奨励すべきであるとはしていますが、それを強制とする規定は含まれておりません。

以上の情報が、本件についてご理解いただく上でお役に立ち、家族会員プログラムを通じた会員会員増強の促進につながることを願っております。

ライオンズクラブ国際協会
エクステンションおよび会員部
部長 スーザン・ヘイニー



家族会員プログラム Q&A

① 家族会員プログラムの目的は何ですか

家族と共にボランティア活動を地域社会に広め、奉仕の精神を涵養することに有ります。世界ではこのプログラムが広く認知され、実施され、成功しています。

② 日本家族会員プログラムとは何ですか

山田国際第二副会長が提案し、国際協会で認められた日本独自の会員増強(日本のメンバーを10万人から20万人)プログラムです。

③ 日本家族会員プログラムは決定事項ですか

2013.10.6~10 オーストラリア・ポートダグラス国際理事会で承認され、2013.10.9から即日施行された国際協会の決定事項です。

④ なぜ家族会員による倍増計画が立案されたのですか

世界中で会員が減少しています。特にアメリカ、日本でその傾向が顕著です。山田国際第二副会長は“My Family My Club” “家族で会員倍増を”をテーマに掲げ、減少傾向に歯止めを掛けようとしています。ライオンズクラブ国際協会が4年後に100周年を迎えるに当たり、今後も世界に冠たる奉仕団体であるためには、是が非でも日本でも家族会員プログラムによる会員増強が必要であるとの認識から立案されました。

⑤ 何時までに実行するのですか

計画達成期限は2014.6.30と定められています。

⑥ この倍増計画に取り組まなかったらペナルティーがありますか

ペナルティーはありませんが、キャビネットとしては積極的に取り組んで頂くことを強く希望します。

⑦ 家族会員になれる人はどんな人ですか

非常に広義になりますが「親」「子供」「配偶者」「叔父」「叔母」「従兄」等々です。現実的には「子供」「配偶者」でしょうか。何れも成人と定められています。同一世帯でなくても、隣の町内、隣の市町村、隣の県に居住していてもOKです。

⑧ 家族会員は何人までは入れますか

4名まで入会できます。従って現在在籍中の正会員を含めて最大5名まで可能です。

⑨ 家族会員のメリットは何ですか

一例として、奥様のライオンズクラブに対する理解と関心は必ずや深まることによ

うし、共通の話題もできます。家族のきずなを深めることにも繋がります。現在家族会員でなくても「家族例会」等の特別例会に出席していることと思いますが、家族会員になれば一層の参加意欲も高まることでしょう。

⑩家族会員のデメリットは何ですか

その心配はゼロだと確信しています。例会やアクティビティの参加は都合の良い時だけで良いのですから負担に感じることも無いでしょう。

⑪単なる「数合わせ」ではないでしょうか

当初はそのようなことも危惧しましたが、家族を入れて何か困ることがあるのでしょうか。ライオンズに全く無関係無関心な人を入れれば単なる「数合わせ」という批判も甘受しなければなりません。しかし、家族を入れるのですから「数合わせ」と批判するよりも、その良さや利点を理解すべきでありましょう。

⑫日本全体はどのような取り組みをしていますか

330～337の8複合地区ガバナー協議会議長連絡会議では、国際協会の方針に沿って進めることを申し合わせています。既に積極的に取り組み、会員増強を果している複合地区も有ります。

⑬他地区はどのような取り組みをしていますか

336-A～C地区其々温度差はありますが、336複合地区としては国際協会の決定に従い、このプログラムを推進しなければならないとの認識で一致しています。

⑭336-D地区としての取り組みはどのようになりますか

10/30に地区名誉顧問会を開催し協議して頂きました。さまざまな意見がある中で、やはり国際協会及び336複合地区の決定事項であり、方針に沿って推進して行くのも止むなしとの答申をいただきました。坂根カバナーの思いでもあります。これに基づき各クラブで「日本家族会員プログラム」による倍增計画に積極的に取り組んで頂くことを強く希望しますが、最終的には各クラブの自主判断に委ねます。

⑮家族会員の会員種別はどのようになりますか

正会員になります。

⑯家族会員も正会員としてガバナー等の地区役員にも就任できますか

正会員としての権利を全て有します。従って投票権も有りますし、条件を満たせば地区役員にも就任できます。しかし、如何に権利を有するとしても、例えば家族会員である奥様がクラブ役員を、地区役員を、地区ガバナーをと案ずるのは日本に於いては現実的では無く、むしろ杞憂でありましょう。

⑰家族会員の権利は一般会員と同様でも、義務は殆ど無いと言うのは矛盾があるのではないのでしょうか

その通りだと思います。家族会員は正会員であるので条件を満たせば地区役員にも就任できますし、投票権も有ります。一方、例会やアクティビティには年1回の参加でも良いのですから矛盾しているのは明らかです。しかし、その矛盾を糾弾するよりも、いろいろな利点を尊重した柔軟な制度が家族会員プログラムだと肯定的にとらえた方が現実的でありましょう。

⑱家族会員の支払うべき経費にはどのようなものがありますか

- ・国際協会入会金・・・・・・・・・・25ドル(一般正会員と同じ 但し入会時のみ)
- ・国際協会年会費・・・・・・・・・・年額21.5ドル(一般正会員43ドルの半額)
(2013.11のレート1ドル=98円)
- ・336複合地区費・・・・・・・・・・2014.1.1～2016.12.31まで徴収しない。
- ・336複合地区年次大会費・・・・2014.1.1～2016.12.31まで徴収しない。
- ・336-D地区費・・・・・・・・・・2014.1.1～2016.12.31まで徴収しない。
- ・336-D地区年次大会費・・・・2014.1.1～2016.12.31まで徴収しない。
- ・クラブ入会金・・・・・・・・・・家族会員の負担を軽減するために徴収しないのがベストですが、各クラブの自主判断に委ねます。
- ・クラブ会費・・・・・・・・・・上に同じ

⑲家族会員の例会出席はどのようになりますか

標準版クラブ付則第1条第8項で定期的な参加を奨励していますが、今日ではインターネットで例会を行なうサイバークラブの誕生等クラブのあり方も多様化し、国際協会では「定期的な参加」の定義を定めていません。其々のクラブで現在行っておられるであろう「忘年例会」「花見例会」「納涼例会」「最終年次例会」「月見例会」等々への参加も「定期的な参加」と見なされます。要は年一回の出席でもOKと言うことになります。

⑳家族会員のアクティビティ参加はどのようになりますか

クラブ主催のアクティビティに参加をしていただきますが、例会と同じく「定期的な参加」の定義を定めていません。要は年一回の参加でもOKと言うことになります。しかし、せめて年一回程度の奉仕活動への参加は是非して頂きたいものです。

㉑例会出席時及びアクティビティ参加時の経費はどうなりますか

クラブ独自で家族会員から会費を徴収しない場合は、その都度徴収するという方法も有ります。

㉒「獅子吼」「ライオン誌」「クラブ会報」等の配布はどうなりますか

「獅子吼」「ライオン誌」については一世帯に一冊お渡しします。
「クラブ会報」については各クラブのご自由です。

㉓現在は会員の招請方式をとっていますが、家族会員はどうなりますか

家族会員は敢えて招請しなくてもマンスリーを用いて個人で入会登録出来ますが、招請

とまでは行かなくても少なくとも各クラブで会員委員会、理事会等での協議は必要ではないでしょうか。現時点においてキャビネットとしても検討中です。

②④家族会員の入会式はどうすればよいのですか

各クラブで決めれば結構ですが、可能であるならば入会式を行った方が、自覚を促すという点から見てもより効果的でありましょう。

②⑤坂根ガバナー方針のクラブ支部との関連はどうなりますか

坂根カバナーは当初の計画通り 1 R 1 支部結成に意欲を持っています。並行して進めていただきたいのですが、家族会員で支部を結成するのも一つの方法でしょう。

②⑥クラブ支部会員の支払うべき経費にはどのようなものがありますか

【支部会員=家族会員の場合】

- ・ 上記①⑧に同じ(但し下記下線の通り文言の相違あり)
- ・ クラブ支部入会金・・・各クラブ支部の自主判断に委ねます。
- ・ クラブ支部会費・・・上に同じ

【支部会員が家族会員ではない場合】

- ・ 国際協会入会金・・・25 ドル(一般正会員と同じ 但し入会時のみ)
- ・ 国際協会年会費・・・年額 43 ドル(一般正会員と同じ)
(2013.11 のレート 1 ドル=98 円)
- ・ 336 複合地区費・・・月額 150 円
- ・ 336 複合地区年次大会費・・・月額 80 円
- ・ 336-D 地区費・・・月額 800 円
- ・ 336-D 地区年次大会費・・・月額 180 円
- ・ クラブ支部入会金・・・各クラブ支部の自主判断に委ねます。
- ・ クラブ支部会費・・・上に同じ

緊急援助資金会計について

去る 7 月 28 日萩・津和野方面、8 月 24 日江津・浜田方面に過去に経験したこともないような豪雨が襲い、大きな被害をもたらしました。何れも激甚災害に指定されています。直ちに RC・ZC を通じて被害調査をするとともに、LCIF 国際財団へ二度にわたり緊急援助交付金の申請をし、計 20,000 ドル（1,960,000 円）の交付を受けました。また MD336 を始め各地より義援金が届きました。8 月 19 日と 9 月 24 日に緊急援助資金委員会を開催し、336-D 地区の緊急援助資金の取り崩し（8/23 2,000,000 9/25 500,000）および配分方について下記の通り決定し交付致しました。

支 出			収 入		
8/23	津和野へ義援金交付	1,396,000	7/9	前キャビネットより引継	5,140,417
〃	徳佐へ義援金交付	1,396,000	8/5	MD336 より援助資金	2,000,000
〃	田万川へ義援金交付	1,396,000	8/6	LCIF 交付金（\$10,000）	980,000
〃	須佐へ義援金交付	1,396,000	8/9	MD332 より援助資金	2,000,000
〃	阿武へ義援金交付	1,396,000	8/18	利息	96
〃	振込手数料	3,360	8/22	MD335 より援助資金	1,500,000
9/25	邑南へ義援金交付	1,246,232	9/6	336-C 地区より援助資金	1,000,000
〃	美郷へ義援金交付	1,246,233	9/18	LCIF 交付金（\$10,000）	980,000
〃	江津へ義援金交付	1,246,232	9/19	八尾菊川 LC より援助資金	504,930
〃	浜田へ義援金交付	1,246,233	9/25	MD336 より援助資金	500,000
〃	振込手数料	840	10/1	7R より緊急援助資金会計への助成	736,000
			10/30	6R 1Z より緊急援助資金会計への助成	286,783
		11,969,130			15,628,226
残		3,659,096			

この結果現在の特別会計の残高は次の通りです。

10 月 31 日現在 残高 3,659,096 円

なお、この緊急援助資金は常時 500 万以上の基金を保つことが義務づけられていますので、別途、補填計画を立案する必要があることを報告します。

要望書

先日の緊急顧問会議のその他の項で簡単にお話し致しました、次年度地区会費（運営費・年次大会費）値上げの件ですが、第二回キャビネット会議にて、提案して頂ければ幸いです。

（会費値上げ理由）

ここ数年、会員の激減によりキャビネット運営が厳しくなり、歴代のガバナーは経費節減並びに合理化に努めて参りましたが、合理化もほぼ到達感がして来ましたし、依然として、会員減少の下げ止まりには至っておりません。

過度な経費節減・合理化はキャビネット運営に支障をきたすと共に地区役員及び各クラブにも迷惑を及ぼす事となります。

これからの10年を考慮し、会費値上げは避けられないと考えて居りましたところ、来年4月より消費税が3%の値上げに又再来年度から更に2%の増税となりますので、ここに値上げ要請を決意致しました。

適正な会費で健全なキャビネット運営こそが、各クラブにも、会員皆様にもプライドの持てるライオンズライフを約束すると信じております。

336-D地区ガバナー

坂根 勝 様

2013年11月6日

第一副地区ガバナー

竹下雅雄

第 60 回地区年次大会代議員決議委員会分科会 3 分科会について

年次大会議事規則 4 の(5)を「議長は決議委員会を次の 3 分科会に分ける」と変更したい。

第 1 分科会	PR・情報 GMT・GLT
第 2 分科会	国際関係・LCIF YCE
第 3 分科会	保健福祉環境保全 青少年健全育成

336-D 地区 第 60 回地区年次大会プログラム (案)

<p>2014 年 4 月 19 日 (土)</p>	<p>1. 年次大会記念ゴルフ大会 場 所：玉造温泉カントリークラブ 受 付： 7:00～ 開 始： 7:30～ 登 録 料： 5,000 円 競技方法： 18 ホールストロークプレイ ダブルペリア方式</p> <p>登録人数： 50 組 200 名</p> <p>1. 代議員分科会・代議員総会 場 所： くにびきメッセ</p> <table border="0"> <tr> <td>登録受付</td> <td>13:00～14:00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>投 票</td> <td>13:00～14:00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>資格審査委員会</td> <td></td> <td rowspan="4">} 14:00～14:15</td> </tr> <tr> <td>議事運営委員会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指名選挙委員会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国際理事候補者推薦委員会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代議員分科会</td> <td></td> <td>14:25～15:35</td> </tr> <tr> <td>代議員総会</td> <td></td> <td>15:50～17:00</td> </tr> </table> <p>2. 年次大会前夜祭 場 所： くにびきメッセ 時 間： 登録 17:00 ～18:00 開宴 18:00 ～20:00</p>	登録受付	13:00～14:00		投 票	13:00～14:00		資格審査委員会		} 14:00～14:15	議事運営委員会		指名選挙委員会		国際理事候補者推薦委員会		代議員分科会		14:25～15:35	代議員総会		15:50～17:00
登録受付	13:00～14:00																					
投 票	13:00～14:00																					
資格審査委員会		} 14:00～14:15																				
議事運営委員会																						
指名選挙委員会																						
国際理事候補者推薦委員会																						
代議員分科会		14:25～15:35																				
代議員総会		15:50～17:00																				
<p>2014 年 4 月 20 日 (日)</p>	<p>1. 年次大会式典 場 所： くにびきメッセ 登録受付： 8 時 30 分～9 時 30 分 式 典： 9 時 30 分～11 時 30 分 登 録 料： L: 10,000 円 LL: 8,000 円 (前夜祭プラス式典) 式典のみ 4,000 円 (弁当代含む)</p>																					

336-D 地区 第 60 回年次大会議事規則（案）

1. 336-D 地区第 60 回地区年次大会は大会に参加した、地区ガバナーその他の地区内現・元国際協会役員及びクラブ代議員をもって構成する。キャビネット役員は大会に参加し発言することはできるが、クラブ代議員でない限り投票することはできない。その他の会員及び同伴者は、大会に参加することは出来るが、発言したり投票したりすることはできない。
2. 代議員のうちクラブ代議員は、クラブ会長が署名した資格証明書を、公式プログラムに記載された登録時間内に資格審査委員会に提出し、資格を確認されなければならない。
3. 大会議長（以下議長という）には、地区ガバナー、大会副議長には第一、第二副地区ガバナー、大会幹事にはキャビネット幹事、大会会計にはキャビネット会計がこれにあたる。大会議長はその他の大会役員を任命する。
4. 議長は下記の委員会及び分科会を設け、その委員長及び副委員長（さらに、必要な場合は顧問）を任命する。
 - (1) 資格審査委員会
 - (2) 議事運営委員会
 - (3) 地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員会
 - (4) 国際理事候補者推薦委員会
 - (5) 決議委員会
 （ただし、議長は決議委員会を次の 3 分科会に分ける）

第 1 分科会	PR・情報 GMT・GLT
第 2 分科会	国際関係 LCIF YCE
第 3 分科会	保健福祉環境保全 青少年健全育成

5. 代議員及びキャビネット役員の委員会及び分科会の所属は議長がこれを定める。
6. 各委員会及び分科会の委員長はその議事を主導し、審議結果を大会に報告する。
7. 議決はすべて、出席し投票した代議員全員の過半数をもって決する。可否同数の場合は議長の裁定するところによる。クラブ代議員が投票できないときには補欠がこれに代わる。
8. 国際理事候補者推薦については、国際理事候補者推薦手続規則による。
9. 議案は、あらかじめ文書をもってキャビネットに提出する。キャビネットはそれを検討のうえ大会の議案を決定し、大会開催 2 週間前までに各クラブに通知する。それ以外の方法で提出された議案を審議しようとするときは、大会に出席した全ての代議員の 3 分の 2 以上の同意を必要とする。
ただし、その議案は前もって文書で議長に提出しなければならない。
10. 提案理由の説明及び発言は、一人 3 分を超えてはならない。ただし、大会では議長、委員長及び分科会では委員長がとくに必要と認めた場合は、この限りではない。
11. 次期地区ガバナー及び次期第一・第二副地区ガバナーの選出は次の方法によるものとし、

選挙は地区ガバナー、第一・第二副地区ガバナー指名・選挙委員会が管理する。

(1) 次期地区ガバナーの選出

- (a) 出席代議員の単記無記名投票選挙を行う。
- (b) 過半数の得票数をもって次期地区ガバナーとする。

(2) 次期第一・第二副地区ガバナーの選出

- (a) 出席代議員の単記無記名投票選挙を行う。
- (b) 過半数の得票数をもって次期第一・第二副地区ガバナーとする。
- (c) 過半数の得表がなかった場合は、空席が生じるものとし国際付則第9条6(e)項が適用される。
- (d) どの候補者も当選に必要な票が得られなかった場合は、候補者の一人が過半数の票を得るまで投票を行う。
ただし、いずれの候補者も過半数に満たない場合は、同日に上位2名で再度投票を行う。

12. 別に定めない限り、議事手続はロバート議事規則による。

【注】地区ガバナー及び第一・第二副地区ガバナーの立候補届出締め切り期限の目安を1月15日ごろ（国際大会閉会時までには6ヶ月以上ある）とすることが妥当である。

地区年次大会での指名・選挙委員会について

クラブの選挙はクラブ付則第 4 条に定められていますが、地区における選挙の方法は、日本の複合地区会則には記されていません。

しかし、国際理事会で定めた地区会則標準版の付則第 1 条に「指名および選挙」の条項が設けられ、詳しく取り決めてあります。

日本の複合地区会則に定められていないため、標準版会則に定められている事項は、標準版会則が優先するので、これを守らなければなりません。そこで、各地区においては、地区会則標準版の条項を守りながら、地区の実情を加味した指名・選挙のあり方を検討し、よりよい方法を定着させる必要があります。

地区会則標準版「指名及び選挙」の要点

1. 地区ガバナーは 5 人以下の指名委員を任命し、地区大会の 60 日前までに各委員に通知する。委員は地区内の異なるクラブの会員で、いかなる地区（複合地区）または国際協会の役員であってはならない。
委員の住所・氏名は、地区大会の 30 日前までに地区内の全クラブに送付されなければならない。
2. 地区ガバナー（および第一・第二副地区ガバナー）に立候補する者は、指名委員会が大会で報告する前日までに指名委員会に文書で知らせる。
指名委員会は資格が証明されたすべての候補者を地区大会で指名する。立候補者がいないか、いても有資格と認められなかった場合にのみ、地区大会の会場の席から指名推薦することができる。
3. 選挙は無記名投票とし、地区ガバナー候補者が当選するには、出席して投票した代議員の過半数の賛成投票を得なければならない。（国際付則第 9 条第 6 項(a)による）。また、第 1 副地区ガバナー及び第 2 副地区ガバナーの選挙も無記名投票とし、第 1 及び第 2 副地区ガバナー候補者がその選挙で当選したと宣言されるには、出席して投票した代議員の過半数の賛成投票を得なければならない。（国際付則第 9 条第 6 項(a)(b)(c)による）。

〔注釈〕

1. 「指名・選挙」はライオンズクラブにおける選挙の典型的あり方で、候補者を指名し、指名された候補者についてのみ選挙する方法。
2. 上記は地区の選挙についての規則であるから、地区ガバナーおよび第一・第二副地区ガバナー選挙に適用される。
3. 「指名委員」は地区大会の「指名・選挙委員」とすることができる。
4. 地区大会における選挙は「指名・選挙委員」が管理する。

地区における対応の例

1. 地区年次大会「指名・選挙委員会」の指名は、第3回キャビネット会議へ報告のうえ、本人へ任命状を送る。このことを地区年次大会議事規則にもりこむかどうか、また地区大会の他の委員会も同時に任命するかどうかは、地区ガバナーの判断による。
2. 地区ガバナーおよび第一・第二副地区ガバナー立候補者届出規則との関係
立候補者は1月中旬締切りで、地区キャビネット事務局へ届出て、第3回キャビネット会議で正式に受理する。「立候補届出書は直ちに地区年次大会指名・選挙委員会に送付する。指名・選挙委員会は立候補者の資格を審査したうえで、候補者として大会で指名する」を加筆する。
3. 地区年次大会議事規則との関係
下記を加えることを検討する。
 - (1) 指名・選挙委員会は、資格が証明されたすべての候補者を大会で指名する。
 - (2) 有資格の立候補者がいなかった場合は、大会の席から、指名推薦することができる。
 - (3) 同点得票の場合は、その一人が当選するまで同点者の間で選挙を繰り返す。
 - (4) 選挙は指名・選挙委員会が管理する。

第60回 地区年次大会代議員会役員構成表(案)

大会議長	地区ガバナー	坂根 勝
大会副議長	第一副地区ガバナー	竹下 雅雄
大会副議長	第二副地区ガバナー	矢野 敏明
大会幹事	キャビネット幹事	大野 美雄
大会会計	キャビネット会計	野口 泰男

委員会・分科会名	委員長	副委員長	委員	顧問
資格審査委員会	地区ガバナー 坂根 勝	第一副地区ガバナー 竹下 雅雄 第二副地区ガバナー 矢野 敏明 キャビネット幹事 大野 美雄	キャビネット会計 野口 泰男 2R1Z ZC 内藤 和雄 6R3Z ZC 城一 芳文	地区常任名誉顧問 大羽 義定 地区名誉顧問 岩田 篤明
議事運営委員会	1R RC 原田 瑞樹	キャビネット副幹事 齊藤 幸男	1R1Z ZC 川上 博之 2R2Z ZC 高橋 義孝	336複合地区 ガバナー協議会元議長 永井 義夫 地区名誉顧問 山下 薫
指名選挙委員会	前1R RC 古藤 年雄	前1R2Z ZC 津田 良和	前PR情報委員長 彼川 政勇 前国際関係委員長 秋田 千鶴	地区常任名誉顧問 光貞 正明 地区名誉顧問 浜村 悟郎
国際理事候補者 推薦委員会	2R RC 西村 正敏	1R2Z ZC 森山 浩吉	2R3Z ZC 赤穴 憲一 3R1Z ZC 上原 謙二	地区常任名誉顧問 組嶽 晶一 地区名誉顧問 前村 隆規
決議委員会	3R RC 喜多村 博明	7R RC 澤 辰水	3R2Z ZC 堀江 成 4R1Z ZC 吉村 尊雄	地区名誉顧問会議長 岡村 聖爾 地区会計監査委員 兼光 暘

第1分科会	4R RC 安永 一充	PR情報委員長 小田 隆弘 1~3R GMT委員長 北川 恵三 4~7R GMT委員長 松浦 正人 GLT委員長 平原 正軍	4R3Z ZC 石川 春美 5R1Z ZC 寺岡 泰成 キャビネット副幹事 古志野 功	地区名誉顧問 村上 昭治 地区名誉顧問 加藤 哲夫 地区会計監査委員 上ヶ山 慶市
第2分科会	5R RC 武内 節夫	国際関係委員長 平岡 泰彦 YCE委員長 野々村 一巳	5R3Z ZC 平井 一正 5R4Z ZC 志賀 八郎 7R1Z ZC 古谷 好敏 キャビネット副幹事 日野 修一	地区名誉顧問 山根 健 地区名誉顧問 緒方 正道
第3分科会	6R RC 鷺見 國嗣	保健福祉環境保全委員長 月森 和弘 青少年健全育成委員長 牛尾 尚義	6R1Z ZC 石原 哲男 6R2Z ZC 村口 達美 7R2Z ZC 穴見 春美 キャビネット副幹事 山根 健晃	地区名誉顧問 倉益 芳太 地区名誉顧問 向 正美

第 60 回地区年次大会代議員会提出議案について

1. 第 60 回地区年次大会代議員会提出
議案の締め切りは
2014 年 1 月 31 日（金）とする